

第9表 第1トレンチ出土 土器観察表

検出No.	遺物No.	出土地点	層位	器種	文様・調整	胎土	焼成	色調	備考
26	1-1	SK-1	甕	甕	甕指の下弦運弧文と横線	砂粒多量		灰黒色	
26	1-2	SK-1	甕	甕	甕指の下弦運弧文	砂粒多量		淡赤褐色	
26	1-3	SK-1	甕	甕	甕指の下弦運弧文	砂粒多し		淡赤褐色	
26	1-4	SK-1	甕	甕	甕指の横線の下弦の横線運弧文	砂粒多量		淡赤褐色	
26	1-5	SK-1	甕	甕	甕指の横線と波文	砂粒少量		暗褐色	
26	1-6	SK-1	高坏	高坏	甕指の横線が3段、縦ミガキ	砂粒少量		淡赤褐色	
26	1-7	SK-1	甕	甕	頸部突帯の上下に小円文列	砂粒なし	良好	淡褐色	黒垢、浅面36.8、頸径10.2、胴径10.2、底径8
26	1-8	SK-1	甕	甕	口縁上面に横線波文、口縁凹縁状	砂粒多量		淡赤褐色	
26	1-9	SK-1	甕	甕	口縁外角に刻目列	砂粒微量	良好	灰褐色	
26	1-10	SK-1	甕	甕	胴部に右下がりハケメ	砂粒微量	良好	灰褐色	外面に煤付着
26	1-11	SK-1	甕	甕	口縁に刻目列	砂粒多し		暗赤褐色	
26	1-12	SK-1	甕	甕	口縁部外面回転ナデ、内面ハケメ	砂粒なし		灰褐色	
26	1-13	SK-1	甕	甕	口縁部に横あり、頸部内面にハケメ	砂粒微量	良好	灰褐色	
26	1-14	SK-1	甕	甕	口縁部に横あり、頸部内面にハケメ	砂粒微量	良好	灰褐色	
26	1-15	SK-2	甕	甕	横線帯を横線縦線で切る	砂粒多し		灰黒色	
26	1-16	SK-2	甕	甕	口縁に連続縦線	砂粒少量	良好	淡赤褐色	
26	1-17	SK-2	甕	甕	下弦の二重弧文に横による連続斜交文を加える	細砂粒多し	良好	灰黒色	
26	1-18	SK-2	甕	甕	円孔あり	砂粒少量		灰褐色	別変れ、黒垢あり
26	1-19	SK-2	甕	高坏	甕指の横線2段	砂粒微量	良好	暗赤褐色	
26	1-20	SK-10	甕	甕	甕指の横線と波文	砂粒多し	良好	灰黒色	
26	1-21	SK-10	甕	甕	口縁に庄痕列、径部に右下がりの紫いミガキ	砂粒微量	良好	灰褐色	外面に煤付着
26	1-22	SK-10	甕	甕	口縁に庄痕列、径部に右下がりの紫いミガキ	砂粒少量	良好	淡赤褐色	
26	1-23	SK-10	甕	高坏	口縁にハケメ、外面ミガキ、3孔	砂粒少量	良好	淡赤褐色	器蓋赤み強し
26	1-24	SK-10	甕	高坏	口縁に刻目、外面にハケメと押引文列	砂粒微量	良好	灰褐色	
27	1-25	SK-11	甕	甕	甕指の横線4段	砂粒少量	良好	灰褐色	
27	1-26	SK-11	甕	甕	細い半截竹管による斜格子文帯と2条の横線	砂粒多し	良好	灰褐色	
27	1-27	SK-11	甕	甕	口縁外面に4条の太い横線	砂粒少量	良好	灰褐色	黒垢あり

28	1-57	SK-22	床面	変	平行線で直した横線帯を櫛描縦線で切り、下に垂直短弧文を加える	砂粒多し	良好	暗褐色	
28	1-58	SK-22	床面	変	櫛描の横線と断状文	砂粒微量	良好	暗褐色	
28	1-59	SK-23	透櫛埋土	変	頸部に櫛描横線帯	砂粒多し		灰赤褐色	
28	1-60	SK-23	透櫛埋土	変	櫛描斜線、上弦と右弦の垂直短弧文	砂粒多量		灰赤褐色	器影、あれ
28	1-61	SK-24	透櫛埋土	高坏		砂粒多量	良好	淡赤褐色	
28	1-62	SK-28	透櫛埋土	変	櫛描横線と斜位の点線縦短弧列	砂粒多し	良好	淡赤褐色	
28	1-63	SK-28	透櫛埋土	変	口端と上面に点線様の羽状短弧	砂粒少量		淡赤褐色	
28	1-64	SK-28	透櫛埋土	変	口端に連続短弧	砂粒微量	良好	灰褐色	
28	1-65	SK-34	透櫛埋土	変	斜格子文帯の下を平行横線で面す	砂粒少量		灰褐色	
28	1-66	SK-34	透櫛埋土	変	櫛描波文	砂粒多し	良好	灰褐色	
28	1-67	SK-37	透櫛埋土	高坏	櫛描横線と斜位の点線縦短弧列、円孔、あり	砂粒少量	良好	赤褐色	
28	1-68	SK-37	透櫛埋土	変	横線帯を櫛描縦線で切る	砂粒少量	良好	灰褐色	
28	1-69	SK-39	透櫛埋土	変	櫛描横線2段	砂粒少量	良好	暗灰色	
28	1-70	SK-42	透櫛埋土	変	細条痕上に平行線で面された斜格子文	砂粒微量	良好	暗灰色	
28	1-71	SK-42	透櫛埋土	高坏	頸部に横ハケメ、内面にハケメ	砂粒少量		赤褐色	
28	1-72	SK-44	透櫛埋土	変	櫛描斜線、半周り竹管状器具による断続横線、下弦の櫛描短弧文を配す	砂粒少量		灰褐色	
28	1-73	SK-44	透櫛埋土	高坏	斜位の点線短弧縦列の上下を太い横線で面す	砂粒微量	良好	淡赤褐色	
28	1-74	SK-48	床面	変	横線帯を櫛描斜線でハの字状に切る	砂粒微量	良好	灰褐色	
28	1-75	SK-48	床面	変	口端に短引文列、口縁上面に細条痕、横に連続短弧	砂粒微量	良好	灰褐色	
28	1-76	SK-51	透櫛埋土	変	口端と横に短引文列、口縁に櫛描横線と棒状添付文、口頸部に櫛描横線帯	砂粒多し	良好	灰褐色	
28	1-77	SK-51	透櫛埋土	変	口縁上面に櫛描横線、口頸部に短弧横線、外面に太い短弧列	砂粒微量	良好	灰褐色	
28	1-78	SK-51	透櫛埋土	変		砂粒多し	良好	灰褐色	
28	1-79	SK-51	透櫛埋土	変	横線帯を櫛描縦線で切る、口縁部に太い短弧	砂粒多し	良好	暗灰色	
28	1-80	SK-51	透櫛埋土	変	横線帯を櫛描縦線で切り、下弦の垂直短弧文を配す	細砂粒微量	良好	暗灰色	
28	1-81	SK-51	透櫛埋土	変	横線帯を櫛描縦線で切る	砂粒少量	良好	明褐色	
28	1-82	SK-51	透櫛埋土	変	横線帯に櫛描の縦線と垂直短弧を加える	砂粒多量	良好	灰褐色	
29	1-83	SK-51	透櫛埋土	変	横線帯を櫛描と短弧の縦線で切る	砂粒多し	良好	暗灰色	
29	1-84	SK-51	透櫛埋土	変	横線帯を櫛描縦線で切り垂直短弧を加える	砂粒微量	良好	灰褐色	

標型No.	遺物No.	出土地点	層位	器種	文様・調整	胎土	焼成	色調	備考
29	1-85	SK-51	遺構埋土	壺	横線帯を櫛描縦線で切る。胴下部には左下がり細条痕	砂粒多し	良好	灰褐色	
29	1-86	SK-51	遺構埋土	壺	横線帯と右下がり条痕を櫛描縦線で切る	砂粒多量	良好	暗褐色	
29	1-87	SK-51	遺構埋土	壺	横線帯を櫛描縦線で切り、下に重弧文を加える	砂粒多し	良好	灰黒色	
29	1-88	SK-51	遺構埋土	壺	横線帯を櫛描縦線で切り、上下を太横線で画した文様帯と無文帯	砂粒多し	良好	明褐色	
29	1-89	SK-51	遺構埋土	壺	円形貼付文を中心に波線で画した4条の半月形庄部文列	砂粒多し		赤褐色	
29	1-90	SK-51	遺構埋土	壺	横文しくR	砂粒微量	良好	明褐色	
29	1-91	SK-51	遺構埋土	壺	細条痕による斜線帯と横線帯	砂粒多量	良好	灰褐色	黒斑あり
29	1-92	SK-51	遺構埋土	壺	口縁・上面に櫛描線、外面に細条痕	砂粒多し	良好	灰黒色	
29	1-93	SK-51	遺構埋土	壺	口縁と外面に細い条痕、上面に櫛描波文	細粒砂少量	良好	暗褐色	
29	1-94	SK-51	遺構埋土	壺	口縁・櫛描線、上面に櫛描波文、外面に細条痕	砂粒少量	良好	灰褐色	黒斑あり
29	1-95	SK-51	遺構埋土	壺	口縁と外面に細い条痕、口縁上面に櫛描波文	砂粒多し	良好	明褐色	
29	1-96	SK-51	遺構埋土	壺	口縁から上面に櫛描唐状文7、外面に細条痕	砂粒多し	良好	暗褐色	
29	1-97	SK-51	遺構埋土	壺	口縁と外面に細い条痕	砂粒少量	良好	灰黒色	
29	1-98	SK-51	遺構埋土	壺	口縁に1条の波線、外面に細い条痕	砂粒微量	良好	灰褐色	外面に煤付着
29	1-99	SK-51	遺構埋土	壺		砂粒微量	良好	灰褐色	外面に煤付着
29	1-100	SK-51	遺構埋土	壺	外面に右下がりの細条痕	砂粒・雲母	良好	黒褐色	
29	1-101	SK-53	遺構埋土	壺	横線で画された横線帯を櫛描縦線で切る	砂粒多し		淡赤褐色	
29	1-102	SK-53	遺構埋土	壺	2列の半月形庄部文列	砂粒微量		淡赤褐色	
29	1-103	SK-53	遺構埋土	壺	口縁に2列の押引文列、外面に横位の細条痕	砂粒・雲母	良好	灰褐色	
29	1-104	SK-53	遺構埋土	壺	口縁・外面に細条痕	砂粒微量	良好	灰褐色	黒斑あり
30	1-105	SK-53	遺構埋土	壺	口縁に刻目列、胴部に横位の条痕にハケメを加える	砂粒多し	良好	淡赤褐色	
30	1-106	SK-54	遺構埋土	高杯	上面に突帯、口縁面に細い横線帯	細粒砂微量	良好	暗赤褐色	
30	1-107	SK-54	遺構埋土	壺	櫛描の横線と波文	砂粒少量	良好	暗赤褐色	
30	1-108	SK-54	遺構埋土	壺	櫛描の横線と波文	砂粒多し	良好	赤褐色	
30	1-109	SK-54	遺構埋土	壺	口縁・上面に櫛描唐状文列	砂粒少量	良好	灰褐色	黒斑あり
30	1-110	SK-54	遺構埋土	壺	口縁に櫛状貼付文、上面に櫛描唐状文、	砂粒多し	良好	淡赤褐色	

30	1-111	SK-54	連棟埴土	高坏	彫頭部に樹描模線、赤彩 口縁外角に刻目列	砂粒少量	灰褐色		砂粒少量
30	1-112	SK-54	連棟埴土	壺		細砂粒少量	赤褐色		
30	1-113	SK-54	連棟埴土	壺	模線帯の間に梵端語文、一部赤彩	砂粒少量	良好 灰褐色	黒斑	
30	1-114	SK-55	連棟埴土	壺	樹描の波文と簾状文、一部丹彩	砂粒少量	良好 灰褐色		
30	1-115	SK-55	連棟埴土	壺	樹描の模線と波文	砂粒少量	良好 淡赤褐色		
30	1-116	SK-55	連棟埴土	壺	縄文 L < R	砂粒多し	良好 灰褐色		
30	1-117	SK-55	連棟埴土	壺	口縁部外面に右下がりハケメ	砂粒多し	良好 灰褐色		
30	1-118	SK-55	連棟埴土	壺	口縁部に棘、胴部に縦ハケメ	細砂粒少量	良好 灰褐色		
30	1-119	SK-55	連棟埴土	無台碗	底面に糸切痕	砂粒少量	良好 淡赤褐色	瓷器、底面に糸切痕	
30	1-120	SK-55	連棟埴土	山茶碗		砂粒多し	良好 灰色		
30	1-121	SK-56	連棟埴土	長頸壺	1ヶ所に把手、口縁部内面と上腹部に施釉	砂粒多し	良好 淡褐色		
30	1-122	SK-57	連棟埴土	壺	樹描波文	砂粒・雲母	良好 灰褐色		
30	1-123	SK-57	連棟埴土	高坏	樹描の模線と波文	細砂粒少量	良好 灰赤褐色		
30	1-124	SK-57	連棟埴土	高坏	樹描模線と二枚貝の圖様による鋸歯文と斜線列	細砂粒多し	良好 赤褐色	円孔あり	
30	1-125	SK-57	連棟埴土	鉢?	口縁部外角に圧痕列	細砂粒少量	良好 灰褐色		
30	1-126	SK-57	連棟埴土	壺	口縁の内角を肥厚させ要口状に作る	砂粒・雲母	良好 淡赤褐色		
30	1-127	SK-57	連棟埴土	無台碗		砂粒多し	良好 淡青灰色	瓷器、底面ナテ、高台端に砂粒痕	
30	1-128	SK-57	連棟埴土	山茶碗		砂粒多し	良好 灰褐色		
31	1-129	SK-59	連棟埴土	壺	樹描の模線と波文	細砂粒少量	良好 灰褐色		
31	1-130	SK-59	連棟埴土	高坏	樹描の模線、円孔あり	細砂粒少量	良好 赤褐色		
31	1-131	SK-63	連棟埴土	壺	樹描の模線帯を樹描斜線で切る	砂粒多し	良好 灰褐色		
31	1-132	SK-63	連棟埴土	壺	樹描波文	砂粒多し	良好 灰褐色		
31	1-133	SK-63	連棟埴土	壺	外面に細い横位の条痕	砂粒多し	良好 灰褐色		
31	1-134	SK-63	連棟埴土	壺	口縁部の内外に細い沈線	砂粒少量	良好 赤褐色		
31	1-135	SK-67	連棟埴土	無頸壺	口縁に刻目一列、口縁に斜格子文帯、模線で囲まれた刻目文列	砂粒少量	良好 灰赤褐色		
31	1-136	SK-67	連棟埴土	壺	口縁に押引文列、外面に楊上太線帯	砂粒多し	良好 灰褐色		
31	1-137	SK-67	連棟埴土	壺	口縁上面にミガキ、頸部に樹描模線帯	砂粒極少量	良好 淡赤褐色		
31	1-138	SK-67	連棟埴土	壺	模線帯を樹描模線で切る、無文帯にミガキ	砂粒極少量	良好 灰褐色		
31	1-139	SK-67	連棟埴土	壺	樹描模線で切る、模線帯の下に寛措の斜線	砂粒多し	良好 淡赤褐色		
31	1-140	SK-67	連棟埴土	壺	樹描模線で切った模線帯に押引文を施した棒状貼付文を加える	砂粒多し	良好 灰褐色		

神田No.	遺物No.	出土地点	層位	器種	文様・調整	胎土	焼成	色調	備考
31	1-141	SK-67	遺構埋土 壺	甕	竇指縦線を内蔵する円文列、下脚部は細条痕	砂粒多し	良好	暗赤褐色	
31	1-142	SK-67	遺構埋土 壺	甕	櫛歯の横線と斜線	砂粒極少量	良好	暗褐色	
31	1-143	SK-67	遺構埋土 壺	甕	櫛歯の斜線・上弦の連続重弧文・横線	砂粒極少量	良好	灰褐色	
31	1-144	SK-67	遺構埋土 壺	甕	櫛歯の斜線・上弦の連続重弧文・横線	砂粒極少量	良好	灰褐色	143と同一個体か
31	1-145	SK-67	遺構埋土 壺	甕	櫛歯の斜線・上弦の連続重弧文	砂粒極少量	良好	灰褐色	143と同一個体か
31	1-146	SK-67	遺構埋土 甕	甕	外面に細条痕・底面に穿孔	砂粒少量	良好	灰褐色	底部に円孔1
31	1-147	SK-67	遺構埋土 甕	甕	外面に細条痕	砂粒極少量	良好	灰褐色	
31	1-148	SK-67	遺構埋土 甕	甕	口端に圧痕列、内側に櫛歯連弧文・外面細条痕	細砂粒少量	良好	淡赤褐色	
31	1-149	SK-67	遺構埋土 甕	甕	口端・口端内面と外面に細条痕	砂粒・雲母	良好	赤褐色	
31	1-150	SK-67	遺構埋土 甕	甕	口端に細条痕	砂粒・雲母	良好	灰褐色	器高10.4、復元口径10.0
31	1-151	SK-69	遺構埋土 甕	甕	櫛歯帯を櫛歯斜線で切る	砂粒微量	良好	灰褐色	
31	1-152	SK-69	遺構埋土 甕	甕	櫛歯で画した櫛歯帯に、竇指の右下がり(左下がり)斜線群を加え、さらに下弦の重弧重弧文を加える	砂粒多し	良好	灰褐色	
31	1-153	SK-69	遺構埋土 甕	甕	口端部上面に櫛歯波文・外面に細条痕	砂粒少量	良好	灰褐色	
31	1-154	SK-69	遺構埋土 甕	甕	口端部上面に刻目列	砂粒微量	良好	灰褐色	
31	1-155	SK-69	遺構埋土 甕	甕	口端内角に刻目列	砂粒多し	良好	灰赤褐色	
31	1-156	SK-73	遺構埋土 甕	甕	口端外角に圧痕文列、外面に竇指斜格子文	砂粒微量	良好	淡褐色	
31	1-157	SK-73	遺構埋土 甕	甕	口端に刻目列、口端部外に細条痕・圧痕列	砂粒多量	良好	灰褐色	
32	1-158	SK-73	貝層	甕	口端に刻目列、口端部に横上本筋列	砂粒微量	良好	淡褐色	
32	1-159	SK-73	遺構埋土 甕	甕	口端に押し文列、外面の細条痕を半截竹管による縦線で切る	砂粒少量	良好	淡赤褐色	
32	1-160	SK-73	遺構床面	甕	口端に圧痕列、口端部に竇指横上線帯	細砂粒多量	良好	灰褐色	
32	1-161	SK-73	遺構埋土 甕	甕	口端にサルボウの腹線による刻目列、口端部外面に櫛歯帯と横上線帯	砂粒少量	良好	淡赤褐色	
32	1-162	SK-73	遺構埋土 甕	甕	櫛歯帯を竇指縦線で切り、竇指連弧文を加える	砂粒微量	良好	灰褐色	
32	1-163	SK-73	遺構埋土 甕	甕	櫛歯帯を竇指縦線で切る、赤彩	砂粒微量	良好	灰褐色	
32	1-164	SK-73	遺構埋土 甕	甕	櫛歯帯を竇指縦線で切る	砂粒少量	良好	灰褐色	
32	1-165	SK-73	遺構埋土 甕	甕	太線で画した櫛歯斜線、細条痕部に横面き重弧文	砂粒少量	良好	灰褐色	
32	1-166	SK-73	遺構埋土 甕	甕	櫛歯帯に櫛歯斜線、細条痕部に横面き重弧文	砂粒多し	良好	灰褐色	
32	1-167	SK-73	遺構埋土 甕	甕	線で画した櫛歯帯を櫛歯波線で切る	砂粒微量	良好	赤褐色	黒班あり

32	1-168	SK-73	遺構埋土	壘	横線帯を半截竹管の縦線で切る。無文帯にミガキ	砂粒少量	良好	灰褐色
32	1-169	SK-73	遺構埋土	壘	横線帯を笠描縦線と太線で切る。下部は細条横	砂粒多し	良好	灰褐色
32	1-170	SK-73	遺構埋土	壘	裾裾の横線に裾描縦線と笠描重弧文を加える	砂粒極少量	良好	灰褐色
32	1-171	SK-73	遺構埋土	壘	横線帯を裾描縦線で切る。無文帯にミガキ	砂粒多し	良好	灰褐色
32	1-172	SK-73	遺構埋土	壘	横線帯を裾描縦線で切る	砂粒微量	良好	灰褐色
32	1-173	SK-73	遺構埋土	壘	太線で面されたサルボウの腹縁による斜交文列	砂粒微量	良好	灰褐色
32	1-174	SK-73	遺構埋土	壘	太線で面された横線帯を横描縦線で切り下に無文帯しRをええる	砂粒多し	良好	灰褐色
32	1-175	SK-73	遺構埋土	壘	横線帯を裾描線で切る	砂粒少量	良好	灰褐色
32	1-176	SK-73	遺構埋土	壘	笠描重弧文	細砂粒微量	良好	灰褐色
32	1-177	SK-73	遺構埋土	壘	斜線帯を裾描線で切る	砂粒少量	良好	灰褐色
32	1-178	SK-73	遺構埋土	壘	太線と裾描横線、笠描重弧文?	細砂粒微量	良好	灰褐色
32	1-179	SK-73	遺構埋土	壘	外面に右下がり細条横	砂粒多し	良好	淡褐色
32	1-180	SK-73	遺構埋土	壘	口端・外面に細条横	細砂粒微量	良好	灰褐色
32	1-181	SK-73	遺構埋土	壘	外面に細条横	砂粒微量	良好	灰褐色
32	1-182	SK-73	遺構埋土	壘	口端・上面・外面に細条横	砂粒極微量	良好	灰褐色
32	1-183	SK-73	遺構埋土	壘	上面・外面に細条横	砂粒少量	良好	暗赤褐色
32	1-184	SK-73	遺構埋土	壘	外面に細条横	砂粒少量	良好	灰赤褐色
32	1-185	SK-73	遺構埋土	壘	口端・外面に細条横	細砂粒多し	良好	灰褐色
32	1-186	SK-73	遺構埋土	壘	外面細条横、口端部に半截竹管で画した2段の口端に伸引文列、頸部に半截竹管で画した2段の口端に伸引文列、下に棒子様文を配す	砂粒多し	良好	淡赤褐色
32	1-187	SK-73	遺構埋土	高坏	外面細条横、口端部に半截竹管で画した2段の口端に伸引文列、頸部に半截竹管で画した2段の口端に伸引文列、下に棒子様文を配す	砂粒多し	良好	淡赤褐色
32	1-188	SK-75	遺構埋土	壘	太線で面された横線帯を裾描縦線で切る	砂粒微量	良好	灰褐色
33	1-189	SK-75	床焼土面	壘	口端に伸引文列、頸部に半截竹管で画した2段の口端に伸引文列、下に棒子様文を配す	砂粒多し	良好	淡赤褐色
33	1-190	SK-75	遺構埋土	壘	横線帯の間に斜位の圧痕列	砂粒少量	良好	灰褐色
33	1-191	SK-75	遺構埋土	壘?	2条の突帯の間に丹彩を施し、上段の突帯の上に横線帯を加える	砂粒微量	良好	灰色
33	1-192	SK-75	遺構埋土	高坏	横線帯の波文と横線	砂粒少量	良好	灰褐色
33	1-193	SK-75	遺構埋土	高坏	外面縦ミガキ	砂粒微量	良好	淡赤褐色
33	1-194	SK-75	遺構埋土	高坏	外面縦ミガキ	砂粒微量	良好	淡赤褐色
33	1-195	SK-75	遺構埋土	壘	口端部内外面と胴部外面縦ミガキ	無由あり	良好	赤褐色
33	1-196	SK-76	遺構埋土	壘	口端と唇に伸引文列、口端部に横線帯	砂粒少量	良好	灰褐色

押印No.	遺物No.	出土地点	層位	器種	文様・調整	胎土	焼成	色調	備考
33	1-197	SK-76	遺構埋土	壺	横線で面した横線帯に下弦の櫛描連弧文を加え、下の細条線帯に下弦の常連連弧文を配す	砂粒多し	良好	灰黒色	
33	1-198	SK-76	遺構埋土	壺	横線に細条線・口縁上に重連弧文	砂粒多し	良好	灰黒色	
33	1-199	SK-76	遺構埋土	壺	横線に細条線・口縁上に重連弧文	砂粒少量	良好	灰褐色	
33	1-200	SK-76	遺構埋土	壺	横線に細条線・口縁上に重連弧文	砂粒少量	良好	灰褐色	黒班あり
33	1-201	SK-78	遺構埋土	壺	口縁に押引文列と庄底、口縁外面に櫛描上弦連弧文と特状貼付文、口縁部に櫛描上線帯	砂粒多し	良好	灰褐色	
33	1-202	SK-78	遺構埋土	壺	口縁に刺突文列、口縁部に櫛描上線帯	砂粒少量	良好	灰褐色	
33	1-203	SK-78	遺構埋土	壺	口縁に刺突文列、口縁部に櫛描上線帯	細砂粒微量	良好	灰褐色	
33	1-204	SK-78	遺構埋土	壺	櫛描上線帯と横線帯、横線帯を櫛描上線帯で切る	砂粒多し	良好	灰赤褐色	
34	1-205	SK-78	遺構埋土	壺	櫛描上線帯・波文帯、肩状文帯の下に円形貼付文	砂粒少量	良好	淡赤褐色	
34	1-206	SK-78	遺構埋土	壺	口縁に細斜線列、肩外面にハケメ	砂粒少量	良好	赤褐色	胴部に煤付量
34	1-207	SK-79	遺構埋土	壺	口縁の内外に横ナデ、胴部にハケメ	砂粒多し	良好	灰色	
34	1-208	SK-79	遺構埋土	壺	口縁に羽状文、口縁部に右下リハケメ	砂粒微量	良好	淡赤褐色	
34	1-209	SK-79	遺構埋土	壺	口縁に刻目列、口縁部内面に横ハケメ、外面に縦ハケメ	砂粒微量	良好	赤褐色	
34	1-210	SK-79	遺構埋土	壺	口縁部の内面に横ハケメ、外面に縦ハケメ	細砂粒微量	良好	淡赤褐色	平底、器高4.8、復元口径7.6、復元底径4.2
34	1-211	SK-79	遺構埋土	小碗	体部に縦ハケメ	細砂粒微量	良好	灰色	
34	1-212	SK-79	遺構埋土	壺	口縁外面に細い点線状庄底列	細砂粒微量	良好	灰褐色	
34	1-213	SK-79	遺構埋土	高杯	口縁に横線4段、底ミガキ	砂粒微量	良好	淡赤褐色	
34	1-214	SK-80	遺構埋土	壺	口縁に連続庄底文、口縁内面にハケメ	細砂粒微量	良好	淡褐色	
34	1-215	SK-82	遺構埋土	壺	口縁に連続庄底文・ハケメをすり潰す	砂粒微量	良好	淡赤褐色	
34	1-216	SK-82	遺構埋土	壺	頸部に突帯1条、上肩部に2個1組の円形添付文を3箇所に配す、口縁部の内外に縦ミガキ、胴部に横ミガキ	砂粒なし	良好	赤褐色	
34	1-217	SK-82	遺構埋土	瓢形壺	口縁部の内外と肩外面に縦ミガキ	細砂粒微量	良好	赤褐色	残高10.8、胴径11.7、底径3.8
34	1-218	SK-82	遺構埋土	壺	口縁に庄底列、頸部に突帯1条、口縁部外面にハケメ、胴部外面に横ミガキ	砂粒少量	良好	赤褐色	残高17.9、口径13.9、胴径9.5、胴径23.2
34	1-219	SK-82	遺構埋土	瓢形壺	肩腹縁による点線状の連弧文2段、外面に縦ミガキ	砂粒なし	良好	淡赤褐色	
34	1-220	SK-82	遺構埋土	瓢形壺	外面・口縁部内面に縦ミガキ	砂粒多し	良好	淡赤褐色	残高10.8、胴径10.4、底径3.8

35	1-221	SK-82	遺構埋土	高坏	櫛形模線、3孔、外面縦ミガキ、杯内面縦ミガキ	砂粒少量	良好	淡褐色	
35	1-222	SK-82	遺構埋土	高坏	櫛形模線3段、3孔あり	砂粒少量	良好	赤褐色	黒斑あり
35	1-223	SK-82	遺構埋土	高坏	杯部内外と櫛形面縦ミガキ、側面3孔内面ハケメ	砂粒なし	良好	赤褐色	器高21.5、口径27.9、底径13.2
35	1-224	SK-82	遺構埋土	高坏	側面櫛形模線、杯部内外と櫛形面縦ミガキ、3孔	砂粒少量	良好	赤褐色	器高14.4、口径17.6、底径14.3
35	1-225	SK-82	遺構埋土	壺	上胴部右下がりハケメ、中胴部ハケメ	砂粒少量	良好	灰褐色	黒斑あり
35	1-226	SK-82	遺構埋土	壺		砂粒多し	良好	淡赤褐色	
35	1-227	SK-83	遺構埋土	壺	櫛形の模線3段と波線2段、模線を櫛形模線で切る	砂粒なし、雲母多し	良好	灰黑色	
35	1-228	SK-83	埋土上層	高坏	櫛形模線、円孔あり	細砂粒微量		赤褐色	
35	1-229	SK-84	遺構埋土	櫛	外面に右下がり左下がりハケメ	砂粒少量	良好	暗灰色	
35	1-230	SK-84	遺構埋土	壺	櫛形模線を櫛形短波線で切り、下に羽状の窪痕列を加える	砂粒多し		灰黑色	
35	1-231	SK-86	遺構埋土	壺	模線を櫛形模線で切る、無文帯にミガキ	砂粒多し	良好	灰黑色	
35	1-232	SK-87	遺構埋土	壺	口端に刻目列	砂粒少量	良好	灰褐色	
35	1-233	SK-90	遺構埋土	壺	模線を櫛形模線で切る	砂粒微量	良好	淡赤褐色	
35	1-234	SK-90	遺構埋土	壺	模線を櫛形模線で切る	砂粒少量	良好	灰黑色	
35	1-235	SK-90	遺構埋土	壺	口端部に3条の模線、口端・外面に赤彩	砂粒多し	良好	灰褐色	
35	1-236	SK-90	遺構埋土	高坏	太模線4条	砂粒微量	良好	淡灰褐色	黒斑あり
35	1-237	SK-95	遺構埋土	壺	口端に4条の波線、上面に円形刻文2列	砂粒多し	良好	淡赤褐色	
35	1-238	SK-90	遺構埋土	壺	櫛形の波文と模線	砂粒なし	良好	淡赤褐色	
36	1-239	SK-90	遺構埋土	高坏	櫛形の波文と模線、口端部内面縦ミガキ	砂粒微量	良好	淡赤褐色	
36	1-240	SK-90	遺構埋土	壺	口端に窪痕列、口端上面に3条の細線	砂粒微量	良好	灰褐色	
36	1-241	SK-90	遺構埋土	壺	複合口端の上半部に刻目を加えた棒状貼付文2本を配す	砂粒なし	良好	淡赤褐色	口端部内外に縦ミガキ
36	1-242	SK-93	遺構埋土	壺	櫛形波線刻文	砂粒多し	良好	暗褐色	
36	1-243	SK-93	遺構埋土	壺	ミガキを施した太線で画した無文帯と縦位の刻文列	砂粒多し	良好	灰褐色	
36	1-244	SK-93	遺構埋土	壺	口端と外面に細条痕	細砂粒微量	良好	灰褐色	
36	1-245	SK-93	遺構埋土	壺	口端部上面・口端と外面に細条痕	砂粒少量	良好	灰褐色	
36	1-246	SK-93	遺構埋土	壺	外面に細条痕	細砂粒微量	良好	灰褐色	
36	1-247	SK-93	遺構埋土	壺	口端と外面に細条痕	細砂粒微量	良好	灰褐色	
36	1-248	SK-95	遺構埋土	壺	模線で画した模線を櫛形模線で切る	砂粒微量	良好	灰褐色	

検型No.	遺物No.	出土地点	層位	器種	文様・調整	胎土	焼成	色調	備考
36	1-249	SK-95	貝層	壺	横線で面された櫛歯線帯	砂粒多し	良好	灰黒色	
36	1-250	SK-95	貝層	壺	横線で面した櫛歯線を貫通縦線で切る	砂粒微量	良好	灰褐色	
36	1-251	SK-95	通横床面	壺	横線で面した斜格子文帯	砂粒少量	良好	灰褐色	
36	1-252	SK-95	通横床面	壺	四重円と線で面したサルボウ型線による刺突文列	砂粒少量	良好	灰褐色	
36	1-253	SK-95	貝層	壺	横線で面されたサルボウの型線による刺突文列、無文帯にミガキ	砂粒少量	良好	灰褐色	
36	1-254	SK-95	通横埋土	壺	底面以外細条通	細砂粒少量	良好	灰黒色	
36	1-255	SK-95	通横埋土	高坏	櫛歯横線3段	砂粒微量	良好	淡赤褐色	
36	1-256	SK-95	通横埋土	壺	櫛歯の横線と波文	含砂粒	良好	灰褐色	
36	1-257	SK-95	通横埋土	壺	口端に斜位の圧低列・口縁の内外面に細条横	砂粒少量	良好	灰褐色	
36	1-258	SK-97	通横埋土	壺	櫛歯の横線と刺突文	砂粒多し	良好	灰褐色	
36	1-259	SK-97	通横埋土	壺	口縁上面に櫛歯横文列	砂粒微量	良好	淡赤褐色	黒斑あり
36	1-260	SK-97	通横埋土	瓶	口端に圧痕1、器表に右下がりの細条横、底面に穿孔	含砂粒	良好	淡赤褐色	器表にスス付着
36	1-261	SK-98	通横埋土	壺	横線帯を櫛歯縦線で切る	細砂粒少量	良好	灰褐色	
36	1-262	SK-98	通横埋土	壺	横線帯を櫛歯縦線で切る	砂粒微量	良好	灰黒色	
36	1-263	SK-98	通横埋土	壺	横線帯を櫛歯縦線で切る	砂粒微量	良好	灰黒色	
36	1-264	SK-98	通横埋土	壺	口端・口縁内面・外面に細条横	砂粒微量	良好	灰褐色	
36	1-265	SK-98	通横埋土	壺	口端に圧痕1、外面に細条横	砂粒多量		灰褐色	
37	1-266	SK-98	通横埋土	壺	櫛歯の縦波文	砂粒多し	良好	灰褐色	
37	1-267	SK-98	通横埋土	壺	櫛歯の縦波文	砂粒多量	良好	灰褐色	
37	1-268	SK-98	通横埋土	壺		砂粒多し	良好	灰褐色	
37	1-269	SK-98	通横埋土	壺	口端と口縁内面に羽状の圧痕列、頸部に尖帯	砂粒多し	良好	灰褐色	口径26.0
37	1-270	SK-98	通横埋土	壺	櫛歯の横線と波文、波文の下に円形刺突文列	砂粒多し	良好	灰褐色	
37	1-271	SK-98	通横埋土	壺	頸部に尖帯2段、櫛歯の横線と波文	砂粒多し	良好	灰褐色	
37	1-272	SK-98	通横埋土	高坏	丹彩	砂粒微量	良好	淡赤褐色	
37	1-273	SK-98	通横埋土	壺		砂粒微量	良好	灰褐色	黒斑あり
37	1-274	SK-98	通横埋土	壺	口縁部内面回転ナデ	砂粒微量	良好	灰褐色	
37	1-275	SK-98	通横埋土	壺	外面横ナデ	砂粒少量	良好	淡赤褐色	頸部の縁状の痕跡は調整用板の端?
37	1-276	SK-98	通横埋土	鉢	外面横ミガキ	砂粒微量	良好	淡赤褐色	

37	1-277	SK-98	透構埋土	鉢	口縁外面横ハケメ、胴外面縦ハケメ	砂粒微量	良好	灰褐色	黒班あり
37	1-278	SK-98	透構埋土	瓢形壺	上胴部に貝殻の腹縁による連文列3段、縦ミガキ	砂粒不含有	良好	淡赤褐色	焼高13.1、胴径5.2、胴径14.5、底径4.0
37	1-279	SK-98	透構埋土	瓢形壺	貝殻による横線2段、同じ斜線列1段、縦ミガキ	砂粒少量	良好	淡灰褐色	
37	1-280	SK-98	透構埋土	瓢形壺		砂粒微量	良好	淡赤褐色	
37	1-281	SK-98	透構埋土	高杯	内外面に縦ミガキ	砂粒微量	良好	灰褐色	
37	1-282	SK-98	透構埋土	高杯	内外面に縦ミガキ	砂粒微量	良好	灰褐色	
37	1-283	SK-98	透構埋土	高杯	胴部に横線	砂粒微量	良好	灰褐色	
37	1-284	SK-102	透構埋土	壺	胴部と口縁に平行する刻目列、横状貼付文	砂粒少量	良好	淡赤褐色	黒班あり
37	1-285	SK-102	透構埋土	壺	口頸部に縦線、上縁部	砂粒多し	良好	淡赤褐色	
37	1-286	SK-102	透構埋土	壺	口頸部に縦線、上縁部	砂粒微量	良好	灰褐色	
37	1-287	SK-102	透構埋土	壺	横線帯を横線縦線で切り、縦線縦線で面した重文を配す	砂粒少量	良好	暗赤褐色	
37	1-288	SK-102	透構埋土	壺	外面に右下がりハケメ	砂粒多し	良好	灰褐色	上下で胎土の色が異なる
37	1-289	SK-103	透構埋土	壺	横線帯に横線短縦線を加える、丹彩	砂粒少量	良好	灰褐色	
37	1-290	SK-108	透構埋土	壺	口縁の上部に刻目列、頸部に細横線帯	砂粒少量	良好	明赤褐色	
37	1-291	SK-108	透構埋土	壺	横線帯の横線と縦線	砂粒微量	良好	灰褐色	
38	1-292	SK-108	透構埋土	壺	横線帯の横線と上縁の弧文	砂粒なし	良好	灰褐色	
38	1-293	SK-108	透構埋土	壺	横線帯と横線と上縁の弧文	砂粒多し	良好	灰赤褐色	黒班あり
38	1-294	SK-108	透構埋土	壺	横線斜格子文の上下を横線縦線を内蔵する平行線で面す	砂粒多し	良好	灰褐色	
38	1-295	SK-108	透構埋土	壺	線で面した細い、縦赤文帯、無文帯に丹彩	砂粒なし	良好	灰黒色	
38	1-296	SK-109	透構埋土	壺	3本1組の横線横線5段	砂粒微量	良好	灰褐色	
38	1-297	SK-109	透構埋土	壺	平行横線と横線波文	砂粒少量	良好	灰色	
38	1-298	SK-109	透構埋土	壺	口端に庄儀列	砂粒多し	良好	灰褐色	外面に横付蓋
38	1-299	SK-112	透構埋土	高杯	3孔あり	砂粒微量	良好	灰色	黒班あり
38	1-300	SK-114	透構埋土	壺	横線帯を横線縦線で切る	細砂粒量	良好	赤褐色	
38	1-301	SK-114	透構埋土	壺		砂粒なし	良好	淡赤褐色	口端を軽く肥厚
38	1-302	SK-114	透構埋土	壺	口端に刻目列、上面に横線帯状文列	砂粒微量	良好	淡赤褐色	
38	1-303	SK-114	透構埋土	壺	口端に刻目列	細砂粒微量	良好	淡褐色	
38	1-304	SK-114	透構埋土	壺	口端外角に刻目列	砂粒少量	良好	灰褐色	
38	1-305	SK-114	透構埋土	高杯	外面縦ミガキ	細砂粒少量	良好	淡赤褐色	
38	1-306	SK-114	透構埋土	器台?		細砂粒少量	良好	淡赤褐色	

韓国No.	遺物No.	出土地点	層位	器種	文様・調整	胎土	焼成	色調	備考
38	1-305	SK-114	遺構埋土	高坏	外面縦ミガキ	細砂粒少量	良好	淡赤褐色	
38	1-306	SK-114	遺構埋土	器台?		細砂粒少量	良好	淡赤褐色	
38	1-307	SK-116	遺構床面	甕	横総帯を飾描縦線で切る	砂粒多し		灰黒色	
38	1-308	SK-116	遺構床面	甕	太鼓で面した横総帯を飾描縦線で切る	砂粒多し		灰黒色	307と同一個体?
38	1-309	SK-116	遺構埋土	甕	4段に重ねた割突文帯、太鼓帯、1列の割突文、横総帯に下弦の寛帯重弧文を加える	砂粒多し		赤褐色	黒斑あり
38	1-310	SK-117	遺構埋土	甕	口端に押引文列、口縁上面の飾描縦帯に太い下弦重弧文、縁に押引文列、口頸部に斜総帯	砂粒少量		淡赤褐色	SK-117出土と連続、SK-116から同一個体
38	1-311	SK-120	遺構埋土	高坏	縦ミガキ	砂粒少量		灰白色	
38	1-312	SK-121	遺構埋土	甕	縦ミガキ	砂粒微量		淡灰褐色	
38	1-313	SK-121	遺構埋土	甕	口頸部に圧痕列を加えた横、頸部にハケメ	砂粒微量	良好	灰色	黒斑あり
38	1-314	SK-122	遺構埋土	甕	横総帯を飾描縦線で切る	砂粒少量	良好	灰黒色	
38	1-315	SK-122	遺構埋土	甕	横総帯を寛帯重弧線と横無縁線で切る	砂粒多量	良好	灰黒色	
39	1-316	SK-124	遺構埋土	高坏	3孔あり	砂粒多し	良好	赤褐色	
39	1-317	SK-128	遺構埋土	甕	横総帯を飾描縦線で切り押引文を加えた突帯を配す	砂粒多し	良好	灰黒色	
39	1-318	SK-128	遺構埋土	甕	口端と外面に細条痕、口縁上面に横描横線と波文	砂粒多し		灰褐色	
39	1-319	SK-129	遺構埋土	甕	口端にハケメ、口頸部に浅い縦条痕	砂粒多し	良好	暗褐色	
39	1-320	SK-129	遺構埋土	甕	口端に2条の浅い太線、口頸部に縦ハケメ	砂粒少量	良好	明灰褐色	
39	1-321	SK-129	遺構埋土	甕	口頸部外面に縦ハケメ、口縁上面に回転ハケメ	砂粒多し	良好	灰褐色	
39	1-322	SK-129	遺構埋土	甕	頸部の2条の突帯、その間に円形割突文を2列	砂粒少量	良好	明灰褐色	
39	1-323	SK-129	遺構埋土	高坏	口縁部に胴の押圧による3条の横線	砂粒微量			
39	1-324	SK-129	遺構埋土	高坏	梅の押圧による3条の横線の下に横描高文を配す	砂粒微量	良好	赤褐色	
39	1-325	SK-129	遺構埋土	高坏	梅の押圧による3条の横線の下に横描高文を配す	砂粒微量		黒褐色	324と同一個体?
39	1-326	SK-129	遺構埋土	高坏?	胴部に3条の横線、円孔8?	砂粒少量		灰黒色	
39	1-327	SK-129	遺構埋土	高坏		砂粒少量	良好	灰褐色	赤斑あり
39	1-328	SK-129	遺構埋土	高坏	赤彩	砂粒少量		灰褐色	
39	1-329	SK-129	遺構埋土	甕		砂粒少量		淡赤褐色	赤斑あり
39	1-330	SK-131	遺構埋土	甕		砂粒多し	良好	灰褐色	

検出No.	遺物No.	出土地点	層位	器種	文様・調整	胎土	焼成	色調	備考
40	1-358	50m	包含層	壺	口縁に押引文列、口縁外面に帯指線、口縁下端に圧痕列	細砂粒多し		暗灰褐色	
40	1-359	66m	包含層	壺	帯指線等を帯指線でハ字状に切る	砂粒少量	良好	灰黒色	
40	1-360	102m	貝層	壺	帯指線等を帯指線波線で切る	砂粒微量	良好	灰黒色	
40	1-361	40m	包含層	壺	横線等を帯指線波線と帯指線で切る	砂粒多量	良好	灰黒色	
40	1-362	11m	包含層	壺	ハケメ状横線等を帯指線波線で切る	砂粒少量	良好	黒色	
40	1-363		包含層	壺	横線等を帯指線波線で切る	砂粒少量	良好	灰黒色	
40	1-364	102m	貝層	壺	横線等を帯指線波線で切る	砂粒少量	良好	灰褐色	
40	1-365	28.8m	包含層	壺	横線等を帯指線波線で切る	砂粒少量	良好	灰褐色	
40	1-366	11m	包含層	壺	ハケメ状横線等を帯指線波線で切る	細砂粒多し	良好	灰黒色	
40	1-367	101m	包含層	壺	ハケメ状横線等を帯指線波線で切る	砂粒多量	良好	灰黒色	
40	1-368	102m	貝層	壺	横線等を帯指線波線と帯指線で切る	砂粒微量	良好	灰褐色	黒斑あり
40	1-369		包含層	壺	横線等を帯指線波線と帯指線で切る	砂粒少量	良好	暗褐色	
40	1-370		包含層	壺	連続横線等を帯指線波線で切る	砂粒多し	良好	淡褐色	
40	1-371		包含層	壺	横線等を帯指線波線と帯指線で切る	砂粒少量	良好	淡褐色	黒斑あり
40	1-372		包含層	壺	帯指線等を帯指線波線で切る	砂粒少量	良好	灰黒色	
40	1-373		貝層上面	壺	横線等を帯指線波線で切る	砂粒少量	良好	灰黒色	
40	1-374		包含層	壺	横線等を帯指線波線で切る	砂粒微量	良好	灰黒色	
40	1-375		包含層	壺	4段の帯指線波線を帯指線波線で切る	砂粒少量	良好	淡褐色	
40	1-376	102m	貝層	壺	横線等を帯指線波線で切る、下部に右下り細条状上下を横線で画した横線等を帯指線波線と帯指線波線と文様で画す、文様はミガキ、下部に帯指線と文様の間はミガキを加える	砂粒なし	良好	灰黒色	
40	1-377		包含層	壺	横線等を帯指線波線で切り、上下を波線で画す、文様と文様の間はミガキを加える	砂粒微量	良好	淡褐色	黒斑あり
41	1-378		包含層	壺	横線で画した斜格子文様を記す	砂粒少量	良好	灰黒色	
41	1-379	91m	包含層	壺	横線等を帯指線波線で切り、上下を波線で画す、文様と文様の間はミガキを加える	細砂粒微量	良好	青灰色	
41	1-380	80m	貝層	壺	横線等を帯指線波線で切り、上下を波線で画す、文様と文様の間はミガキを加える	砂粒微量	良好	灰黒色	
41	1-381		包含層	壺	横線斜格子文様の上下を太い横線で画す	砂粒微量	良好	淡赤褐色	
41	1-382	78m	貝層	壺	頸部に押引文を加えた文様を流し上下を2条1組の波線で画す、口縁部には下部に連続文を配した横線と帯指線波線と帯指線波線と文様を、胴部には横線を配している	砂粒多し	良好	淡赤褐色	

41	1-383	77m	包含層	変	左下がり条痕に横線帯を加え、横指斜線で横線帯を切り、上部に横指垂直線文を配す	砂粒多し	良好	灰黒色
41	1-384	143m	包含層	変	横線帯を横指斜線で切り、横指垂直線文を配す	砂粒少量	良好	灰黒色
41	1-385	102m	貝層	変	上部に横指斜線に下弦の太い垂直線文、下部には横指横線帯に細い垂直線文を配す	砂粒微量	良好	灰黒色
41	1-386		包含層	変	細条痕に下弦の横指垂直線文を加える	砂粒微量	良好	灰黒色
41	1-387		包含層	変	下弦の横指垂直線文、横線帯を横指斜線で切る	砂粒少量	良好	淡褐色
41	1-388	143m	包含層	変	横線帯を横指斜線で切り、下弦の横指垂直線文を配す	砂粒多し	良好	暗灰色
41	1-389	90m	包含層	変	太い横線と垂直線文に横指斜線による連続斜線文を加える	砂粒少量	良好	淡赤褐色
41	1-390	47m	包含層	変	横線帯に巡らした平行沈線の間に斜目列を加え、縦線帯には下弦の垂直線文を配す	砂粒微量	良好	灰黒色
41	1-391	92m	包含層	変	横線帯に斜指十字文帯の下に横線帯を切る縦線帯	砂粒多し	良好	灰黒色
41	1-392		包含層	変	幾何横線帯に横指斜線を沈線帯で囲んだ円形文を配す	砂粒多し	良好	淡赤褐色
41	1-393		包含層	無頭蓋	口端に連続縦線、口縁部に沈線を中心にした斜線列	砂粒多量		灰黒色
41	1-394		包含層	変	横指斜線帯の間に連続斜線文を加えた突帯と横指斜線を巡らす	砂粒多し	良好	灰褐色
41	1-395	113m	包含層	変	横線帯を縦線帯で切り、上下に横指垂直線文を配す	砂粒多量	良好	灰黒色 SK-98?
41	1-396	91m	包含層	変	横線帯で画された横指横線帯を横指斜線で切り、横指垂直線文を配す	細砂粒微量	良好	暗赤褐色
41	1-397	77m	ベース上	変	口端に連続斜線文、口縁部の内外に横線帯を巡らし横指垂直線文を加える	砂粒少量	良好	灰黒色
41	1-398	80m	貝層	変	口端と外面に細い条痕、口縁部内面に横指波文	砂粒なし	良好	淡褐色
41	1-399	80m	貝層下	変	外面に右下がりの細い条痕、口縁部内面に細い条痕	細砂粒微量	良好	淡赤褐色 外面に煤付着
41	1-400		包含層	変	口端に斜線文列と圧痕、外面に左下がりの細い条痕、口縁部内面に横指の連続線と波文	砂粒少量	良好	灰褐色
41	1-401	50m	包含層	変	口端と口縁部の内外に細い条痕	砂粒微量		褐色
41	1-402		包含層	変	外面に横位の細い条痕、口縁部内面に横指の連続線と波文	砂粒微量	良好	暗褐色
41	1-403	77m	包含層	変	口縁上面に横指波文、外面に細い条痕	砂粒多し	良好	灰黒色

棟号No	遺物No	出土地点	層位	器種	文様・調整	胎土	焼成	色調	備考
42	1-404	包含層	変	口端・上面・外面に細い条痕	口端・上面・外面に細い条痕	砂粒少量	良好	暗褐色	
42	1-405	包含層	変	口端と口端内面に横ハケメ	口端と口端内面に横ハケメ	細砂粒微量	良好	灰黒色	
42	1-406	包含層	変	口端に1条の沈線、上面に連弧文、外面に細い条痕	口端に1条の沈線、上面に連弧文、外面に細い条痕	砂粒少量	良好	淡赤褐色	
42	1-407	包含層	変	外面に横位の細い条痕、口端部内面に櫛描の直線と連弧文	外面に横位の細い条痕、口端部内面に櫛描の直線と連弧文	砂粒微量	良好	青灰色	
42	1-408	包含層	変	外面に横位の細い条痕	外面に横位の細い条痕	砂粒微量	良好	灰褐色	口端部上面を平坦に仕上げる
42	1-409	包含層	変	口端・外面に細い条痕	口端・外面に細い条痕	砂粒少量	良好	暗赤褐色	黒斑あり
42	1-410	包含層	変	口端・外面に細い条痕	口端・外面に細い条痕	砂粒少量	良好	赤褐色	外面に煤付着
42	1-411	包含層	変	口端に2条の沈線、外面に横位の細い条痕	口端に2条の沈線、外面に横位の細い条痕	砂粒少量	良好	灰褐色	黒斑あり
42	1-412	包含層	変	口端に細い条痕、同一端文具による内面に重連弧文、外面に横位の細い条痕	口端に細い条痕、同一端文具による内面に重連弧文、外面に横位の細い条痕	細砂粒微量	良好	灰褐色	
42	1-413	包含層	変	口端と外面に細い条痕	口端と外面に細い条痕	細砂粒微量		灰褐色	
42	1-414	包含層	変	口端・外面に細い条痕	口端・外面に細い条痕	砂粒少量	良好	灰褐色	
42	1-415	包含層	変	外面に横位の細い条痕	外面に横位の細い条痕	砂粒多し		灰黒色	
42	1-416	包含層	変	口端と外面に細い条痕	口端と外面に細い条痕	砂粒少量	良好	灰黒色	SK-98 ?
42	1-417	包含層	変	外面に細い条痕	外面に細い条痕	細砂粒少量		暗褐色	
42	1-418	包含層	変	口端に任意、外面に細い条痕	口端に任意、外面に細い条痕	砂粒微量	良好	灰褐色	黒斑あり
42	1-419	包含層	変	口端外角に任意列、外面に細い条痕	口端外角に任意列、外面に細い条痕	細砂粒少量	良好	灰褐色	
42	1-420	包含層	変			砂粒多し	良好	暗褐色	
42	1-421	包含層	変			砂粒微量	良好	灰黒色	
42	1-422	包含層	変			細砂粒少量	良好	暗褐色	
42	1-423	貝層	変	口端と外面に細い条痕	口端と外面に細い条痕	砂粒少量	良好	灰褐色	SK-98 ?
43	1-424	包含層	変	櫛描横線	櫛描横線	砂粒少量	良好	赤褐色	
43	1-425	包含層	変	連続する左下がり斜線を上弦の櫛描連弧文で切る	連続する左下がり斜線を上弦の櫛描連弧文で切る	砂粒多し	良好	灰褐色	黒斑あり
43	1-426	包含層	変	連続する縦線と左下がり斜線を櫛描横線で切る	連続する縦線と左下がり斜線を櫛描横線で切る	砂粒多し	良好	灰褐色	
43	1-427	包含層	変	連続する右下がり斜線を櫛描横線で切る	連続する右下がり斜線を櫛描横線で切る	砂粒少量		灰黒色	
43	1-428	包含層	変	櫛描の左下がり斜線、上弦の浅い連弧文・横線	櫛描の左下がり斜線、上弦の浅い連弧文・横線	砂粒少量	良好	灰褐色	
43	1-429	包含層	変	櫛描横線帯と左下がり斜線帯	櫛描横線帯と左下がり斜線帯	砂粒少量	良好	灰褐色	
43	1-430	包含層	変	櫛描の左下がり斜線、上弦の浅い連弧文・横線	櫛描の左下がり斜線、上弦の浅い連弧文・横線	砂粒少量	良好	灰褐色	

43	1-431		包含層	変	左下がりの斜線帯を構線帯で切る	砂粒微量	良好	灰黒色	
43	1-432	116m	包含層	変	右下がりの細条帯に構描横線を加える	砂粒少量	良好	灰褐色	
43	1-433	80m	貝層	変	縦線で切った斜格子文帯の下部に下弦の短描帯を配す	砂粒少量	良好	灰黒色	
43	1-434	36m	包含層	変	構描横線に下弦の通弧文	砂粒多量		灰褐色	
43	1-435	36m	包含層	変	下弦の構描通弧文2段	砂粒多量		淡赤褐色	
43	1-436	52m	包含層	変	下弦の構描通弧文2段	砂粒多し	良好	黒褐色	
43	1-437	70m	包含層	変	下弦の構描通弧文	砂粒多し	良好	淡褐色	
43	1-438	28.8m	包含層	変	下弦の構描通弧文が2段	砂粒多量		灰黒色	
43	1-439	52m	包含層	変	下弦の構描通弧文	砂粒少量		灰褐色	
43	1-440	20.5m	包含層	変	5条よりなる下弦の通弧文	砂粒少量	良好	灰黒色	
43	1-441	38m	包含層	変	構描横線に下弦の構描通弧文	砂粒微量	良好	黒色	
43	1-442	36m	包含層	変	下弦の構描通弧文	砂粒少量		淡赤褐色	
43	1-443	36m	包含層	変	構描波文と下弦の構描通弧文	砂粒少量		淡赤褐色	黒垢あり
43	1-444	116m	包含層	変	下弦の二重通弧文に肩紋の頸線による刻目を加える	砂粒少量	良好	灰褐色	通弧文と通弧文の間をミガキ
44	1-445	P-48	包含層	変	平行構線の上に肩紋列、下弦の構描通弧文	細砂粒微量	良好	灰褐色	
44	1-446		包含層	変	下弦の二重通弧文に刻目を加える	砂粒少量		灰褐色	
44	1-447		包含層	変	下弦の二重通弧文と縦の平行線に刻目を加える	砂粒多量		灰褐色	
44	1-448	91m	包含層	変	縦平行線の上に肩紋列	砂粒少量		灰褐色	
44	1-449	142m	包含層	変	斜線群と肩紋列を内蔵した下弦の重弧文	細砂粒微量	良好	灰褐色	
44	1-450	142m	包含層	変	縦の構描波線の脇に下弦の構描通弧文を配す	砂粒少量	良好	灰褐色	
44	1-451	28.8m	包含層	変	構描の通弧文と縦波線	砂粒多量	良好	灰褐色	
44	1-452	66m	包含層	変	平行構線と断続する縦平行線	砂粒微量		淡灰褐色	
44	1-453	113m	包含層	変	平行構線の下に構描の縦線	砂粒少量	良好	灰黒色	SK-98?
44	1-454	142m	包含層	変	3列の縦位の構描波文と短い構描横線	砂粒少量	良好	灰褐色	黒垢あり
44	1-455	28.8m	包含層	変	縦位の構描波文	砂粒微量	良好	灰褐色	
44	1-456	18.9m	包含層	変	口端を平坦に仕上げ外角に連続縦波	砂粒少量	良好	灰褐色	
44	1-457		包含層	変	口端に肩紋列、口端部内面と胴部にハケメ	砂粒少量	良好	淡赤褐色	P-21
44	1-458	38m	包含層	変	口端に連続刻目	砂粒微量	良好	灰黒色	
44	1-459	43m	包含層	変	口端内面に縦波、頸部、頸部	砂粒少量	良好	淡赤褐色	
44	1-460		包含層	変	口端部外面に2集の波線	砂粒少量		淡赤褐色	

標号No.	遺物No.	出土地点	層位	器種	文様・調整	胎土	焼成	色調	備考
44	1-461	155m	包含層	壺	口縁部にハケメと櫛歯文、頸部に櫛歯横線	砂粒少量	良好	灰褐色	
44	1-462	161~175m	包含層	壺	口縁外面に3本の沈線、頸部に斜位の丘面列	砂粒少量	良好	灰褐色	
44	1-463	113m	包含層	壺	口縁に太横線と刻目列	砂粒微量	良好	灰褐色	SK-987
44	1-464		包含層	壺	角張った口縁の上下に丘面列	砂粒多し		赤褐色	
44	1-465		包含層	壺	口縁に4本の沈線、上面にハケメ	細砂粒微量	良好	暗褐色	黒斑あり
44	1-466	61m	包含層	壺	黒文	砂粒多し		暗褐色	
44	1-467	126m	包含層	壺	口縁外角に丘面列、頸部に沈線で面された斜格子文帯	砂粒少量	良好	淡赤褐色	
44	1-468	139m	包含層	壺	沈線で面された斜格子文帯	砂粒微量		暗褐色	
44	1-469	140m	包含層	壺	口縁に3本の沈線、外面に縦ハケメ	砂粒少量	良好	灰褐色	
44	1-470	34m	包含層	壺	口縁に5本の沈線、頸部に横線帯	砂粒多し		淡赤褐色	黒斑あり
44	1-471	91m	包含層	壺	上下を櫛歯横線で面した2段の斜格子文帯の下に顔面状に配した刻突文列	砂粒多し	良好	淡赤褐色	
44	1-472	96m	包含層	壺	横線で面した斜格子文帯の間に櫛歯横線に刻みを加えた顔面状を配す	砂粒少量	良好	灰褐色	
44	1-473		包含層	壺	櫛歯横線で区切られた2段の斜格子文と顔面文	砂粒多し	良好	灰褐色	
44	1-474	91m	包含層	壺	櫛歯横線で区切られた2段の斜格子文の下に円形刻突文列と顔面状に配した刻突文列	砂粒微量	良好	灰褐色	
44	1-475	113m	包含層	壺	頸部に上下を櫛歯横線で面した斜格子文帯	砂粒少量	良好	灰褐色	
44	1-476	161~175m	包含層	壺	頸部の斜格子文帯を5本の横線で4段に区切る	砂粒多し	良好	灰褐色	
45	1-477		包含層	壺	横線で面された斜格子文帯	砂粒多し	良好	灰褐色	
45	1-478	38m	包含層	壺	櫛歯横線で面された斜格子文帯	砂粒多し	良好	暗褐色	SK-217
45	1-479	152m	包含層	壺	平行沈線による斜格子文	砂粒多し	良好	灰褐色	
45	1-480		包含層	壺	縦線で切った櫛歯横線帯の間に下弦通弧文を配す	砂粒多し	良好	灰褐色	
45	1-481	113m	包含層	壺	櫛歯の平行線に異常通弧文を加える	砂粒少量	良好	灰褐色	SK-987
45	1-482	155m	包含層	壺	頸部に平行沈線、上腹部の沈線上に通弧文を配す	細砂粒少量	良好	淡灰褐色	
45	1-483	102m	包含層	壺	口縁部外面に櫛歯帯文帯、頸部には上下を横線で面した貝紋による幾何の刻突文列	砂粒微量	良好	灰褐色	
45	1-484	160m	包含層	壺	上腹部に櫛歯横線帯、下部に斜格子文?	砂粒少量	良好	淡赤褐色	
45	1-485		包含層	壺	櫛歯横線帯と横線帯の間を赤彩	砂粒多し	良好	暗褐色	
45	1-486	69m	包含層	壺	頸部に連続短線、胴部に横線帯を3段	砂粒少量	良好	灰褐色	

45	1-487	包含層	変	簾状文2段、平行横線3条を切る4本の櫛描縦線	砂粒多し	良好	淡灰褐色	
45	1-488	包含層	変	櫛描横線帯と櫛描横線帯の間に櫛描波文	砂粒多し	良好	灰褐色	
45	1-489	包含層	変	上下の櫛描横線帯の間に櫛描波線	砂粒微量	良好	淡灰褐色	黒斑あり
45	1-490	包含層	変	櫛描の波文と横線	砂粒微量	良好	淡赤褐色	SK-95?
45	1-491	包含層	変	下側を横線で面された3段の櫛描波文	砂粒少量	良好	灰褐色	
45	1-492	包含層	変	櫛描の波文と横線	砂粒少量	良好	灰褐色	黒斑あり
45	1-493	包含層	変	櫛描の波文帯を櫛描縦線で切る	砂粒少量	良好	灰色	
45	1-494	包含層	変	櫛描波文帯を横線で面し無文帯にミガキを加える	砂粒少量	良好	淡褐色	
45	1-495	包含層	変	櫛描波文	砂粒多量	良好	褐色	黒斑あり
45	1-496	包含層	変	櫛描の縦波文と横線	砂粒多し	良好	灰褐色	
45	1-487	包含層	高坏?	口縁部に横線帯と3本1組の棒状貼付文、丹彩	砂粒多し	良好	褐色	口縁部内面ミガキ、口端も丹彩
45	1-488	包含層	高坏?	口縁部に4条の太沈線	砂粒多し	良好	赤褐色	
45	1-489	包含層	高坏	口縁部に3条の太沈線	細砂粒微量	良好	灰褐色	
45	1-500	包含層	高坏	口縁部に2段の刺突文列	砂粒なし	良好	淡赤褐色	
45	1-501	包含層	高坏	縦ハケメの中央横ナデ、側面に斜位の丘重列	砂粒多し	良好	淡褐色	
45	1-502	包含層	高坏	口端に刺目列	砂粒多量	良好	淡赤褐色	
45	1-503	包含層	変	口端に連続丘重	砂粒微量	良好	灰褐色	
45	1-504	包含層	変	口端に連続丘重	砂粒少量	良好	暗褐色	
46	1-505	包含層	変	口縁に3条の沈線、口縁上面に羽状の刺突文列	砂粒少量	良好	淡赤褐色	
46	1-506	包含層	変	口縁に3条の沈線、口縁上面に櫛描扇状文列	砂粒微量	良好	淡灰褐色	
46	1-507	包含層	変	口縁に3条の沈線と棒状文、口縁上面に扇状文列	砂粒多し	良好	淡赤褐色	
46	1-508	包含層	変	口縁に3条の沈線、口縁上面に羽状の刺突文列	砂粒少量	良好	淡赤褐色	
46	1-509	包含層	変	口縁に3条の沈線、口縁上面に櫛描扇状文列	砂粒多し	良好	褐色	黒斑あり
46	1-510	包含層	変	口縁に4条の浅い平行沈線、口縁上面に丘重列	砂粒少量	良好	淡灰褐色	
46	1-511	包含層	変	櫛描波文列を口縁に1段上面に2段	砂粒少量	良好	淡灰褐色	
46	1-512	包含層	変	口縁上面に櫛描扇状文列	砂粒少量	良好	暗褐色	
46	1-513	包含層	変	口縁上面に櫛描扇状文	細砂粒少量	良好	淡赤褐色	
46	1-514	包含層	変	口縁上面に櫛描扇状文列	砂粒多量	良好	淡赤褐色	
46	1-515	包含層	変	口縁に左下がり斜線列、口縁上面に半円文列	砂粒微量	良好	淡灰褐色	
46	1-516	包含層	変	口縁に丘重列、口縁部の内外に回転ナデとハケメ	砂粒少量	良好	淡灰褐色	
46	1-517	包含層	変	口縁部内面に斜位の点線状刺突文列	砂粒少量	良好	淡赤褐色	

検出No.	遺物No.	出土地点	層位	器種	文様・調整	胎土	焼成	色調	備考
46	1-518	49m	包含層	壺	頸部に2条の突帯、帯描の横線と波文	砂粒微量		淡赤褐色	
46	1-519		包含層	壺	頸部に突帯と横線帯	砂粒少量	良好	灰褐色	
46	1-520		包含層	壺	頸部に丹彩の突帯	砂粒多し	良好	灰褐色	521と同一個体?
46	1-521	161~175m	包含層	壺	頸部に丹彩の突帯、上腹部に赤彩を加えた波曲文	砂粒多し	良好	灰褐色	
46	1-522		包含層	壺	帯描横線の間に二枚貝の腹縁による斜位の圧痕列	砂粒少量	良好	淡褐色	
46	1-523	59m	包含層	壺	帯描横線と波文	砂粒多量		暗褐色	黒斑あり
46	1-524	18.9m	包含層	壺	下弦の帯描環状文と横線	砂粒少量	良好	灰褐色	
46	1-525	161~175m	包含層	壺	上腹部に帯描横線と横線波文	細砂粒少量	良好	灰褐色	
46	1-526	66m	包含層	壺	帯描横線の間に横線波文	砂粒少量	良好	暗褐色	
46	1-527	93m	包含層	壺	帯描横線の間に横線波文	砂粒多し	良好	淡褐色	
46	1-528		包含層	壺	環状文にそって赤彩	砂粒多し		灰褐色	
46	1-529		包含層	壺	帯描の波文4段と横線2段	砂粒多し		灰褐色	黒斑あり
46	1-530	92m	包含層	壺	帯描の波文と横線	砂粒少量	良好	淡赤褐色	
47	1-531	100m	包含層	壺	帯描横線と波文帯に円筒状貼付文を加える	細砂粒微量	良好	灰褐色	
47	1-532	160m	包含層	壺	上腹部に帯描横線と波文帯	細砂粒微量	良好	灰褐色	
47	1-533		包含層	壺	帯描横線の間に横線波文	砂粒多量		淡赤褐色	
47	1-534		包含層	壺?	虫状圧痕列とハケメ、全面丹彩、内面ハケメ	砂粒多し	良好	灰白色	
47	1-535	34m	包含層	壺	帯描横線の間に1~2段の帯描環状文列	砂粒多量		褐色	肌荒れ
47	1-536	110m	包含層	壺	帯描横線と横線を挟む帯状の圧痕列	砂粒多量	良好	灰褐色	
47	1-537		包含層	壺	帯描環状文列	砂粒多し	良好	灰褐色	
47	1-538	57m	包含層	高坏	帯描波文2段と横線1段	砂粒微量	良好	灰褐色	
47	1-539	139m	包含層	高坏	口縁部に横線波文と横線を各1段	砂粒微量	良好	灰褐色	
47	1-540		包含層	高坏	無文	砂粒多し	良好	暗灰褐色	
47	1-541		包含層	高坏	口縁部外面に帯描の波文と横線を各1段	砂粒少量		淡赤褐色	
47	1-542	143m	包含層	高坏	口縁と口縁部に横ハケメ	砂粒少量	良好	淡褐色	
47	1-543	59m	包含層	高坏	帯描横線を間隔を置いて3段巡らす	砂粒多し	良好	淡褐色	
47	1-544	62m	包含層	高坏	縦ミカキ、3孔	砂粒少量	良好	淡赤褐色	表裏から穿孔した彫形円孔
47	1-545		包含層	鉢	口縁部に横文帯L<R	砂粒少量		淡赤褐色	
47	1-546	161~175m	包含層	壺	口縁部外面に横ハケメ	砂粒微量	良好	灰褐色	

47	1-547	95m	包含層	鉢?	外面縦ミガキ	砂粒少量	淡赤褐色	黒斑あり
47	1-548		包含層	鉢?		細砂粒微量	淡赤褐色	
47	1-549	935m	包含層	変	口縁に斜位の圧痕列、口縁内外面に横ハケメ	砂粒少量	良好 淡灰褐色	SK-79?
47	1-550	118m	包含層	変	口縁に斜位の圧痕列	砂粒少量	良好 淡赤褐色	
47	1-551	38m	包含層	変	口縁に斜目、外面に右下がりのハケメ	砂粒少量	良好 淡赤褐色	外面に煤付層、黒斑あり
47	1-552		包含層	変	口縁に斜目、外面に右下がりのハケメ	砂粒多し	良好 淡褐色	
47	1-553	109m	包含層	変	口縁に斜目、上唇部に半割り竹箸状器具による押引文と波文が横3段、内外面にハケメ	無砂粒微量	良好 淡赤褐色	外面に煤付層、黒斑あり
47	1-554	95m	包含層	変	角張らせた口縁に斜縁列	砂粒少量	良好 褐色	黒斑あり
47	1-555	107m	貝層	変	上唇部にミガキ	砂粒微量	良好 赤褐色	黒斑あり
48	1-556	120m	包含層	変	口縁に6条の沈線を送らし4本1組の棒状貼付文を4箇所配す、内外面に赤彩を施す	砂粒少量	灰白色	
48	1-557	96m	包含層	変	口縁部外面ハケメ後回転ナデ	砂粒微量	灰褐色	
48	1-558	127m	包含層	変	上唇部に横描機線帯と斜位の圧痕列	砂粒多し	良好 灰褐色	
48	1-559	93m	包含層	変	上唇部に横描機線帯と斜位の圧痕列	砂粒微量	良好 淡赤褐色	
48	1-560		包含層	変	浅い横描機線と點描器通文、丹彩	砂粒少量	淡赤褐色	
48	1-561	143m	包含層	変	斜位の点線状圧痕列を口縁部に2段階部に1段、口縁部と肩部に数条の細沈線、外面縦ミガキ	砂粒少量	良好 淡赤褐色	黒斑あり
48	1-562	100m	包含層	瓢形壺	外面ハケメ後ミガキ	砂粒微量	赤褐色	黒斑あり
48	1-563	93m	包含層	壺	外面縦ミガキ	砂粒少量	淡赤褐色	
48	1-564	39m	包含層	瓢形壺	外面縦ミガキ、内面横ナデ	砂粒少量	淡赤褐色	
48	1-565		包含層	瓢形壺	外面縦ミガキ	砂粒微量	淡赤褐色	
48	1-566	92m	包含層	壺	外面縦ミガキ	砂粒少量	良好 淡灰褐色	運く破あり
48	1-567		包含層	変	肌荒れ調整不明	砂粒多し	淡赤褐色	残高12.3、頸径7.1、胴径15、底径5?
48	1-568	132m	包含層	小碗	底面に細い沈線による円	細砂粒少量	良好 淡灰褐色	
48	1-569	155m	包含層	小碗	縦ミガキ	砂粒少量	良好 淡灰褐色	
48	1-570	28.8m	包含層	高坏		砂粒なし	良好 淡灰褐色	黒斑あり
48	1-571	100m	包含層	高坏	内外面縦ミガキ	砂粒なし	良好 赤褐色	
48	1-572		包含層	高坏	上部に横描機沈線、外面縦ミガキ、3孔	砂粒多し	良好 淡赤褐色	
48	1-573	49m	包含層	高坏	外面縦ミガキ、胴上部に横描機線、3孔	砂粒少量	良好 淡赤褐色	
48	1-574	59m	包含層	高坏	上部に横描機沈線、下部に斜位の横描沈線を間隔をおいて巡らす、縦ミガキ、3孔	砂粒微量	良好 淡赤褐色	円孔

検体No	遺物No	出土地点	層位	器種	文様・調整	胎土	焼成	色調	備考
48	1-575	31m	包含層	高坏	上部に帯描横沈線、縦ミガキ、内面ハケメ	砂粒少量	良好	赤褐色	
48	1-576	10m	包含層	高坏	上部に帯描横沈線、縦ミガキ、3孔	細砂粒微量		淡赤褐色	脚高10.2、脚底径11.6
48	1-577		包含層	高坏	内外面縦ミガキ、脚上部に帯描横線、3孔	細砂粒微量	良好	赤褐色	
49	1-578	92m	包含層	高坏	坏部内外と脚外面ミガキ	砂粒少量	良好	淡赤褐色	
49	1-579		包含層	高坏	3孔	砂粒微量		灰白色	赤斑あり
49	1-580		包含層	高坏	坏部内外と脚外面ミガキ、脚に3孔内面横ハケメ	砂粒なし	良好	茶褐色	脚高6.2、脚底径13.6
49	1-581	5m	包含層	高坏	脚上部に帯描横線、縦ミガキ、3孔	砂粒少量	良好	暗褐色	
49	1-582		包含層	高坏	脚上部に帯描横線、縦ミガキ、3孔	砂粒なし	良好	茶褐色	
49	1-583	13.7m	包含層	高坏	平行横線の間に斜線列	砂粒多量	良好	赤褐色	
49	1-584	31m	包含層	高坏	2段の横線帯の間に帯による斜線列	細砂粒少量	良好	淡赤褐色	
49	1-585	26m	包含層	高坏	平行横線で面した斜線列4段	砂粒微量		淡赤褐色	
49	1-586		包含層	小碗	器表にハケメ、内底にへう痕	砂粒多し	良好	灰色	黒斑、器高5.8、口径11、底径4.2
49	1-587		包含層	小碗	底部へう痕あり	砂粒なし	良好	淡赤褐色	黒斑あり
49	1-588	142m	包含層	小碗	側面と底ミガキ	砂粒少量	良好	暗褐色	黒斑あり、器高5.1、底径2.8
49	1-589	121m	包含層	小碗		砂粒多し		暗褐色	黒斑あり、底径3.5
49	1-590	160m	包含層	甕	口縁部の横に斜位の丘面列、上胴部に上下がりのハケメを切る帯描横線、頸内面に横位のハケメ	砂粒・頸部あり	良好	灰褐色	復元口径27.7
49	1-591	10m	包含層	甕	口縁部が壊状をなす、総ハケメ	砂粒微量		暗灰褐色	
49	1-592	10m	包含層	甕	口縁上部に斜位の帯状列、口縁下部にハケメ	砂粒微量	良好	灰褐色	
49	1-593		包含層	甕	口縁部外面の間に脚引文列、頸部に右がりのハケメ	砂粒微量		暗褐色	
49	1-594	10m	包含層	甕	口縁部外面の間に斜線の横線による斜線列	砂粒多し	良好	灰褐色	外面に横竹書
49	1-595	160m	包含層	甕	口縁部に横、上胴部にハケメ	細砂粒微量	良好	淡褐色	山陰型S字
49	1-596		包含層	甕	縦ハケメ、胴部に横ハケメ	砂粒少量	良好	灰褐色	
49	1-597		包含層	甕	内面にハケメ	砂粒少量	良好	赤褐色	肌あれ
49	1-598		包含層	甕	外面にハケメ、内面右下がりハケメ	砂粒少量	良好	灰白色	黒斑あり
50	1-599	161~175m	包含層	甕	口縁外面に羽状丘面列、上面に2段の羽状丘面列、頸部外面に縦ハケメ	細砂粒多量	良好	灰褐色	
46	1-600	161~175m	包含層	甕	口縁部外面に羽状の丘面列、上面に羽状丘面列	砂粒少量	良好	灰色	
46	1-601	111m	包含層	甕	口縁と上面に貫通羽状文、口頸部に縦ハケメ	砂粒少量	良好	淡赤褐色	

46	1-602	59m	包含層	変	口縁と口縁上に羽状圧痕列、外面にハケメ	口縁なし、 砂粒あり	良好	淡灰色	
46	1-603	604m	包含層	変	口縁に羽状圧痕列、外面に層上ハケメ	砂粒なし	良好	淡灰色	
50	1-604	155m	包含層	変	複合口縁の縁上側に竹管の刺突を加えた円形粘土文3個1組を配す	砂粒なし、 雲母あり	良好	淡赤褐色	
50	1-605	152m	包含層	変	複合口縁の縁上側に細い斜線列	砂粒微量	良好	灰褐色	
50	1-606	ST 2	包含層	変	外面ミガキ、上胴部に一対の穿孔	砂粒微量		淡赤褐色	黒炭あり、焼存高8.5、胴最大径15.6
50	1-607		包含層	変	縦描顔文と樹形模線、一部に赤彩	細砂粒微量		灰褐色	黒炭あり
50	1-608	10m	包含層	変	樹形模線と刺突文列、一部に丹彩	細砂粒微量		淡青灰色	
50	1-609	128m	包含層	変	上面に縦描円文・顔文・内文、短斜線列の準に配す、縦描文、顔部、側面・内面に丹彩	砂粒少量	良好	灰褐色	
50	1-610	ST 2	包含層	高坏	内外面縦ミガキ、	細砂粒少量	良好	赤褐色	
50	1-611	143m	包含層	高坏	樹形模線、縦ミガキ、3孔	砂粒少量	良好	淡赤褐色	黒炭あり
50	1-612	93m	包含層	高坏	外面縦ミガキ、3孔	砂粒微量	良好	淡赤褐色	
50	1-613	62m	包含層	高坏	縦ミガキ、3孔	砂粒なし	良好	淡赤褐色	円孔3
50	1-614	93m	包含層	高坏	外面縦ミガキ、内面ハケメ、4孔	砂粒微量	良好	灰褐色	
50	1-615	85m	包含層	高坏	樹形模線、外面縦ミガキ、円孔あり	細砂粒微量	良好	赤褐色	
50	1-616	10m	包含層	小型甕	S字口縁、上胴部に左下がりのハケメ	砂粒少量	良好	灰褐色	
50	1-617	160m	包含層	甕	S字口縁、上胴部に左下がりのハケメ、胴内面に横位のハケメ	細砂粒微量	良好	淡赤褐色	
50	1-618	160m	包含層	甕	S字口縁、上胴部に左下がりのハケメ	細砂粒あり	良好	灰褐色	
50	1-619	160m	包含層	甕	S字口縁	細砂粒微量	良好	灰褐色	
50	1-620	161~175m	包含層	甕	S字口縁、上胴部に左下がりのハケメ	細砂粒あり	良好	灰褐色	外面に煤付層
50	1-621	160m	包含層	甕	S字口縁、上胴部に左下がりのハケメ、胴内面に横位のハケメ	細砂粒少量	良好	灰褐色	
50	1-622	161~175m	包含層	甕	S字口縁、上胴部に左下がりのハケメ	細砂粒あり	良好	灰褐色	
50	1-623	20m	包含層	甕	外面に右下がりのハケメ	砂粒少量		灰褐色	口縁部が軽く内測して受け口状をなす
50	1-624	50m	包含層	甕	外面に右下がりのハケメ	砂粒微量	良好	灰褐色	口縁部が軽く内測して受け口状をなす
50	1-625		包含層	甕	器表に縦条痕	砂粒少量	良好	灰色	
50	1-626	935m	包含層	甕	外面に縦ハケメ、下端に横ハケメ	砂粒少量	良好	灰色	SK-79?
51	1-627	100m	包含層	甕	口縁部の内外面に横ハケメ	砂粒微量	良好	赤褐色	
51	1-628	160m	包含層	甕	上胴部に右下がりのハケメ	細砂粒あり	良好	灰色	
51	1-629	160m	包含層	甕	上胴部に右下がりのハケメ	砂粒少量	良好	灰色	

検体No.	遺物No.	出土地点	層位	器種	文様・調整	胎土	焼成	色調	備考
51	1-630	35.1m	包含層	壺	口縁部外右下がりハケメ	砂粒微量	良好	灰色	
51	1-631	35.1m	包含層	壺	口縁部外面横ナデ	砂粒あり	良好	灰褐色	
51	1-632	34m	包含層	壺	口縁部外面に右下がりのハケメ、頸部に太い横線	砂粒少量	良好	灰褐色	
51	1-633		包含層	壺	外面に右下がり条痕、内面口縁部横ナデ調整ハケメ	砂粒微量	良好	褐色	外面に煤付着、口径23.0
51	1-634	50m	包含層	壺	外面に右下がりのハケメ	砂粒少量	良好	淡褐色	
51	1-635	22m	包含層	壺	外面に右下がりのハケメ、口縁部内面横ハケメ	砂粒少量	良好	淡褐色	
51	1-636	100m	包含層	壺	外面横ハケメと右下がりハケメ	砂粒少量	良好	淡褐色	外面に煤付着
51	1-637		包含層	碗		細砂粒多量	良好	暗灰色	
51	1-638	110m	包含層	碗	浸蝕	細砂粒少量	良好	灰色	復元口径15.6
51	1-639	68m	包含層	碗	底面ナデ	砂粒少量	良好	灰色	復元器高4.2、口径15、高台径7.6
51	1-640	57m	包含層	高坏	坏部に1本の沈線	砂粒微量	良好	青灰色	
51	1-641	66m	包含層	碗	底面の糸切痕をナデ消し	砂粒少量	良好	灰色	付け高台
51	1-642	68.5m	包含層	無台碗	底面の糸切痕	砂粒微量		淡赤褐色	内外面に塗釉
51	1-643	61m	包含層	碗	灰釉?、底面ナデ	細砂粒少量	良好	灰色	
51	1-644	8.5m	包含層	碗	底面ナデ	細砂粒少量	良好	青灰色	付け高台
51	1-645	62m	包含層	碗	底面ナデ	砂粒少量	良好	青灰色	
51	1-646	161~175m	包含層	碗	底面の糸切痕をナデ消し	砂粒少量	良好	灰色	付け高台
51	1-647	161~175m	包含層	碗	底面ナデ	砂粒微量	良好	灰色	付け高台
51	1-648	86m	包含層	碗	底面回転ナデ	砂粒少量	良好	灰色	付け高台
51	1-649	42m	包含層	碗	底面ナデ	砂粒微量	良好	灰色	付け高台
51	1-650		包含層	碗	底面ナデ	砂粒微量	良好	灰色	
51	1-651	161~175m	包含層	碗		細砂粒少量	良好	灰色	糸切底、付け高台
51	1-652		包含層	碗	底面回転ナデ	砂粒微量	良好	灰色	
51	1-653	68m	包含層	碗	底面回転ナデ	砂粒少量	良好	灰色	内外面に塗釉
51	1-654	160m	包含層	小皿		細砂粒少量	良好	灰色	糸切底、付け高台
51	1-655	161~175m	包含層	碗	底面ナデ	細砂粒少量	良好	灰色	糸切底、付け高台
51	1-656		包含層	碗		砂粒あり	良好	淡青灰色	
51	1-657	0~10m	包含層	碗		細砂粒微量	良好	淡青灰色	付け高台
51	1-658		包含層	碗		細砂粒微量	良好	淡青灰色	糸切り痕

52	1-659	17m	包含層	鉢	内面に灰釉	砂粒あり	良好	淡青灰色	SK-11?
52	1-660	68m	包含層	壺?	把手?の割落處1対	砂粒少量	良好	青灰色	
52	1-661	28.8m	包含層	甌		砂粒少量		灰褐色	把手
52	1-662		包含層	甌	外面朱處狀印、内面青海波文	砂粒なし			
52	1-663	160m	包含層	甌		砂粒あり	良好	赤褐色	
52	1-664		包含層	甌		砂粒あり	良好	灰褐色	
52	1-665	152m	包含層	甌		砂粒少量	良好	赤褐色	黒斑あり
52	1-666		包含層	甌		砂粒少量	良好	淡赤褐色	
52	1-667	10m	包含層	山茶碗	4箇所蓋押さえの輪花碗	砂粒微量	良好	暗灰色	高台下端に粉粒痕、内面に霰
52	1-668		包含層	山茶碗		細砂粒微量	良好	灰色	
52	1-669	25.5m	包含層	山茶碗	内底回転ナデ、外底糸切り痕をナデ消し	砂粒少量	良好	灰色	高台下端砂粒痕
52	1-670	0~10m	包含層	山茶碗	外底糸切り痕をナデ消し	細砂粒微量	良好	灰色	高台下端砂粒痕
52	1-671		包含層	山茶碗	底面ナデ	細砂粒微量	良好	淡青灰色	高台端に砂粒痕
52	1-672	22.6m	包含層	山茶碗		砂粒あり	良好	灰色	高台端に砂粒痕
52	1-673		包含層	山茶碗	底面ナデ	砂粒微量	良好	灰色	高台端に砂粒痕
52	1-674	10~18m	包含層	山茶碗		細砂粒少量	良好	灰色	付け高台
52	1-675	10~18m	包含層	山茶碗	底面ナデ	細砂粒微量	良好	灰色	付け高台、高台端に粉粒痕
52	1-676	49m	包含層	山茶碗		細砂粒微量	良好	灰色	高台削落
52	1-677	8.5m	包含層	鉢	胴下部・底面ケズリ	砂粒多量	良好	青灰色	付け高台
52	1-678	66m	包含層	小皿	底面糸切後ナデ	細砂粒微量	良好	青灰色	
52	1-679	161~175m	包含層	小皿		細砂粒微量	良好	灰色	糸切底、器高2.2、口径8.2、底径4.0
52	1-680	161~175m	包含層	小皿		細砂粒微量	良好	灰褐色	
52	1-681		包含層	小皿	内底にシャクリ	砂粒微量	良好	灰色	糸切底、器高1.5、口径6.4、底径5.1
52	1-682		包含層	小皿		砂粒少量	良好	灰色	糸切底、器高1.5、口径9.0、底径5.2
52	1-683	24.5m	包含層	かわらけ		砂粒なし	良好	淡赤褐色	
52	1-684	22m	包含層	甌	格子目の叩文、障灰	砂粒少量	良好	灰色	
52	1-685	139m	包含層	甌	格子目の叩文	細砂粒微量	良好	暗灰色	
52	1-686	22m	包含層	甌	格子目の叩文、障灰	砂粒少量	良好	灰色	

第10表 第2トレンチ出土 土器観察表

標型No.	遺物No.	出土地点	層位	器種	文様・調整	胎土	焼成	色調	備考
53	2-1	SK-1	遺構埋土	壺	横線帯を飾描縦線で切り、飾描蓮弧文を加える	細砂粒微量	良好	灰黒色	
53	2-2	SK-1	遺構埋土	壺	横線帯を飾描縦線で切る、右下がり細条痕	砂粒少量	良好	灰黒色	
53	2-3	SK-1	遺構埋土	壺	口端に刻目列、口縁と頸部に菱格斜格子文	砂粒少量		暗灰褐色	
53	2-4	SK-1	包含層	壺	口頸部に飾描線上縁帯	細砂粒多量	良好	灰黒色	
53	2-5	SK-1	包含層	壺	横線帯を飾描縦線で切る	砂粒少量	良好	灰黒色	
53	2-6	SD-2	包含層	壺	横線帯を飾描縦線で切り、梵描蓮弧文を加える	細砂粒少量	良好	灰黒色	
53	2-7	SD-2	包含層	壺	横線帯を飾描縦線で切る、下部は右下がり細条痕	砂粒少量		灰褐色	
53	2-8	SD-2	包含層	壺	斜格子文帯に太横線と太縦線を加える	砂粒少量	良好	灰褐色	
53	2-9	SD-2	包含層	壺	短総列を内蔵する二重弧文と飾描横線	砂粒微量	良好	灰褐色	
53	2-10	SD-2	包含層	壺		砂粒微量	良好	淡赤褐色	
53	2-11	SD-2	包含層	壺	飾描の横線と波文	砂粒微量	良好	淡赤褐色	
53	2-12	SD-2	包含層	壺	飾描の横線と波文	砂粒微量	良好	淡赤褐色	
53	2-13	SD-2	包含層	壺	飾描の横線と波文	砂粒微量	良好	暗赤褐色	
53	2-14	SD-2	包含層	壺		砂粒少量	良好	灰褐色	
53	2-15	SD-2	包含層	高坏	縦ハケメ、円孔あり	砂粒少量	良好	灰褐色	
53	2-16	SK-3	遺構埋土	壺	飾描の横線3段を飾描縦波線で切る	砂粒多量	良好	灰褐色	
53	2-17	SK-3	遺構埋土	壺	飾描の波文	砂粒少量	良好	灰黒色	
53	2-18	SK-3	遺構埋土	壺	飾描の横線と波文	細砂粒微量	良好	淡赤褐色	
53	2-19	SK-3	遺構埋土	壺	飾描の波文	細砂粒少量	良好	淡赤褐色	
53	2-20	SK-3	遺構埋土	壺	口端に圧痕列、口縁部に右下がりハケメ	細砂粒少量	良好	灰褐色	
53	2-21	SK-3	遺構埋土	壺		砂粒少量		灰褐色	
53	2-22	SK-4	遺構埋土	壺	半截竹管による横線で画した斜格子文帯を飾描縦線で切る、無文帯にはミガキを加える	細砂粒少量	良好	灰褐色	
53	2-23	SK-4	遺構埋土	壺	平行線で画した横線帯に飾描蓮弧文を加え、飾描縦線で切る	細砂粒微量	良好	灰褐色	
53	2-24	SK-4	遺構埋土	壺	飾描横線2段	細砂粒少量	良好	灰褐色	
53	2-25	SK-5	遺構埋土	高坏	外面縦ミガキ	砂粒微量		淡赤褐色	
53	2-26	SK-5	遺構埋土	高坏	脚部部に飾描横線、3孔あり	砂粒少量	良好	灰褐色	
53	2-27		包含層	壺	頸部に太線で画した短斜斜線帯、胴上部に斜線帯	砂粒多し	良好	淡赤褐色	

53	2-28		包含層	変	頸部に本構線、上胴部に構線の構線と波文	細砂粒多量	良好	暗赤褐色	
53	2-29		包含層	変	構線で画された帯指波文	砂粒少し		灰褐色	
53	2-30		包含層	変	左下がりハケメに構線の構線と波文を加える	砂粒少し	良好	淡赤褐色	
53	2-31		包含層	変	胴部に縦ハケメ、口縁部と胴部上端にヨコハケメ	細砂粒少量	良好	淡赤褐色	
53	2-32		包含層	変	構線による構線と波文・左下がり圧痕列	細砂粒少量	良好	赤褐色	
53	2-33		包含層	変	口端上面に斜位の圧痕列	砂粒少し	良好	淡赤褐色	
53	2-34		包含層	変	右下がりハケメ	砂粒少し		淡赤褐色	肌荒れ
54	2-35	SK-5	通構埋土	変	S字口縁、口縁部に横、胴部にハケメ	細砂粒微量		灰褐色	
54	2-36	SK-7	床面	変	無文帯の上下に横線で画した斜格子文帯	砂粒少量		灰褐色	
54	2-37	SK-9	床面	変	ハの字状に配された帯指斜線	砂粒少量		灰褐色	
54	2-38	SK-9	通構埋土	変	胴部に右下がりハケメ	砂粒少量	良好	灰褐色	
54	2-39	SK-13	通構埋土	高坏	構線の波文と構線	砂粒少量	良好	赤褐色	
54	2-40	SK-14	通構埋土	変		砂粒微量		暗灰褐色	
54	2-41	SK-15	通構埋土	高坏		砂粒少し	良好	暗赤褐色	
54	2-42	SK-15	通構埋土	高坏	縦ハケメ	砂粒少量	良好	赤褐色	
54	2-43	SK-15	通構埋土	変		細砂粒少量		赤褐色	肌荒れ
54	2-44	SK-16	通構埋土	高坏	胴部に縦ハケメ、口縁部内面にヨコハケメ	細砂粒少量		淡赤褐色	肌荒れ
54	2-45	SK-16	通構埋土	変	口端に刻目列	砂粒多量	良好	暗褐色	
54	2-46	SK-20	通構埋土	変	平行線で画した斜線帯を帯指縦線で切る	砂粒少量	良好	暗褐色	黒斑あり
54	2-47	SK-22	通構埋土	変	平行線で画した斜線帯を帯指縦線で切る	砂粒少量	良好	暗褐色	
54	2-48	SK-22	通構埋土	変	構線で画された左下がり・右下がりを含めた斜線帯	砂粒少量	良好	暗褐色	2-64と同一個体?
54	2-49	SK-22	通構埋土	変		細砂粒少量		淡赤褐色	
54	2-50	SK-22	通構埋土	変	構線帯を帯指縦線と波線で切る	砂粒多量	良好	灰褐色	
54	2-51	SD-1	通構埋土	変	構線帯を帯指縦線で切る	砂粒少量	良好	暗褐色	
54	2-52	SD-1	通構埋土	変	平行線で画した斜線帯を帯指縦線で切る	砂粒少量	良好	灰褐色	
54	2-53	SD-1	通構埋土	変	刺突文列を内蔵した帯指波文	砂粒少量	良好	灰褐色	
54	2-54	SD-1	通構埋土	変	構線で画された斜格子文帯	砂粒少し	良好	暗褐色	
54	2-55	SD-1	通構埋土	高坏		砂粒多量		淡赤褐色	
54	2-56	SD-1	通構埋土	変	口端に圧痕列	砂粒微量		赤褐色	
55	2-57	SD-1	通構埋土	変	口縁部に圧痕	砂粒少量		淡赤褐色	
55	2-58	SD-1	通構埋土	変	口端に刻目列、胴上部に帯指波文	砂粒少量	良好	淡赤褐色	

標頭No.	遺物No.	出土地点	層位	器種	文様・調整	胎土	焼成	色調	備考
55	2-59	SD-1	遺構埋土	鉢?		砂粒微量		淡赤褐色	
55	2-60	SD-1	遺構埋土	高坏	口縁部縦ミガキ	砂粒多し	良好	明褐色	
55	2-61	SD-1	遺構埋土	高坏	脚部に樹描模線	砂粒少	良好	暗赤褐色	
55	2-62	SD-1	遺構埋土	高坏	内外面に縦ミガキ	砂粒微量	良好	暗赤褐色	
55	2-63	SD-1	遺構埋土	脚付盤		砂粒微量	良好	灰褐色	
55	2-64	4区	包含層	壺	樹描輪上線帯	砂粒少	良好	淡赤褐色	黒斑あり
55	2-65	4区	包含層	壺	樹描輪上線帯	砂粒少	良好	淡赤褐色	
55	2-66	5区	包含層	壺	樹描帯を樹描模線で切る	砂粒微量	良好	灰褐色	
55	2-67	5区	包含層	壺	樹描模線帯と波文を樹描模線で切る	細砂粒微量		淡赤褐色	74と同一個体
55	2-68	1区	包含層	壺	樹描模線帯十?	砂粒多量		灰褐色	
55	2-69	1区	包含層	壺	樹描模線	細砂粒少量	良好	暗褐色	
55	2-70	3区	包含層	壺	口縁に2条の浅い太線	細砂粒微量		淡赤褐色	
55	2-71	1区	包含層	壺	樹描模線	砂粒少	良好	灰褐色	
55	2-72	5区	包含層	壺	頸部に樹描模線	砂粒少		淡赤褐色	
55	2-73	4区	包含層	壺	樹描模線	砂粒少		淡赤褐色	
55	2-74	4区	包含層	壺	樹描模線と波文を樹描模線で切る	細砂粒少量		淡赤褐色	肌荒れ
55	2-75	4区	包含層	壺	樹描模線と上弦の小波文	砂粒多し		灰褐色	
55	2-76	4区	包含層	壺	樹描の模線と波文	細砂粒少量		灰褐色	
55	2-77	4区	包含層	壺	樹描模線と波文	細砂粒少量		淡赤褐色	
55	2-78	5区	包含層	壺	模線帯と樹描波文	砂粒多し		灰褐色	
55	2-79	3区	包含層	壺	樹描の模線と波文	細砂粒微量		灰褐色	
55	2-80	4区	包含層	壺	口頸部に樹描輪上線帯、上腹部に蓮弧文	砂粒少		淡赤褐色	肌荒れて文様の一部不明
56	2-81	4区	包含層	壺	樹描波文	砂粒微量		灰褐色	
56	2-82	5区	包含層	壺	樹描波文	細砂粒少量		灰褐色	黒斑あり
56	2-83	4区	包含層	壺	樹描波文	砂粒多し		淡赤褐色	黒斑あり
56	2-84	4区	包含層	壺	外面全体に化粧土を塗り、縦ミガキを加える	砂粒少		淡赤褐色	黒斑あり、胴径17.4、底径4.4
56	2-85	3区	包含層	壺	樹描模線と波文	細砂粒多量	良好	灰褐色	黒斑あり、胴径16.6、底径4.4
56	2-86	4区	包含層	小型壺		細砂粒少量		灰褐色	器高7.9、口径3.6、胴径7.4、底径5.3
56	2-87	5区	包含層	高坏		細砂粒少量		灰褐色	
56	2-88	1区	包含層	高坏	口縁部に3条の太模線	砂粒少		淡赤褐色	

56	2-89	3区	包含層	高坏	外面縦ミガキ		砂粒多量	灰褐色	脚高10.4、底径9.4
56	2-90	4区	包含層	壺	口縁に刻目列		砂粒少量	淡赤褐色	
56	2-91	6区	包含層	壺			砂粒少量	灰褐色	黒斑あり
56	2-92	4区	包含層	壺	口縁に3条の浅い太線		砂粒微量	良好	淡赤褐色
56	2-93	4区	包含層	壺	口縁に短斜線列、口縁上面に羽状圧痕と2個1組の円形壓付文		砂粒少量	灰褐色	
56	2-94	4区	包含層	壺	口縁に2条の浅い太線		細砂粒微量	淡赤褐色	
56	2-95	2区	包含層	壺	口縁に刻目列、上面に円形刻文列		砂粒少量	淡赤褐色	
56	2-96	4区	包含層	壺	口縁に3条の太線、口縁上面に点線状刻文列、口頸部に横溝波文、頸部に1条の突帯を巡らし、その上下に雁状文を配す		細砂粒微量	淡赤褐色	
56	2-97	4区	包含層	壺	頸部に斜線帯		砂粒少量	良好	淡赤褐色
57	2-98	3区	包含層	壺			砂粒少量	良好	灰褐色
57	2-99	2区	包含層	高坏			砂粒少量	良好	淡赤褐色
57	2-100	7区	包含層	高坏	脚頸部に横溝線5段		砂粒微量	赤褐色	
57	2-101	1区	包含層	高坏	脚頸部に横溝線段		砂粒微量	灰褐色	
57	2-102	3区	包含層	壺	口縁に刻目列		砂粒少量	良好	脚灰色
57	2-103	1区	包含層	壺			砂粒少量	良好	淡赤褐色
57	2-104	SD-1	遺構埋土	壺	縦ハケメ		砂粒少量	良好	淡赤褐色
57	2-105	6区	包含層	壺	複合口縁、縁に刻目列		細砂粒微量	良好	淡褐色
57	2-106	5区	包含層	壺	右下がりハケメ		砂粒少量	良好	灰褐色
57	2-107	7区	包含層	壺	内面にハケメ		砂粒少量	良好	淡赤褐色
57	2-108	1区	包含層	山茶碗			砂粒少量	良好	青灰色
57	2-109	1区	包含層	山茶碗	底面ナデ		砂粒少量	良好	青灰色
									高台端に砂痕

第11表 第3トレンチ出土 土器観察表

検出No	遺物No	出土地点	層位	器種	文様・調整	胎土	焼成	色調	備考
58	3-1	SK-3	遺構埋土	壺	口縁に櫛の刺突による横線4条と羽状文	砂粒少量	焼成	灰褐色	注口あり
58	3-2	SK-3	遺構埋土	壺	縦位の櫛描波文	砂粒少量		灰褐色	
58	3-3	SK-1	遺構埋土	壺	器表ミガキ	砂粒多し		赤褐色	内面灰黒色
58	3-4	SK-4	包含層	壺	櫛描波文	砂粒多量		灰黒色	
58	3-5	SK-5	埋土上部	壺	口縁に4条の横線、口縁部上面に2列の円文	砂粒少量	良好	淡赤褐色	
58	3-6	SK-5	埋土上部	壺	櫛描の横線・波文・鳳状文・円形貼付文	砂粒多し		灰褐色	
58	3-7	SK-5	埋土上部	高坏	櫛描横線3段、縦ミガキ、円孔あり	砂粒少量	良好	淡赤褐色	
58	3-8	SK-5	埋土上部	壺	口縁・胴部に丹彩	砂粒微量	良好	灰褐色	
58	3-9	SK-5	埋土上部	壺	胴部に縦ハケメ	砂粒少量		淡赤褐色	
58	3-10	SK-9	遺構埋土	壺	口縁に3条の横線と4本1組の串状貼付文4箇所、口縁上面に羽状文、胴部に窓帯1条、胴部には横線帯の間に器面文2段、最下段に刺突文列、赤彩	砂粒多し	良好	灰褐色	黒斑あり、器高28.0、口径17.3、頸径10.12
58	3-11	SK-9	遺構埋土	高坏	3孔あり	砂粒微量		淡赤褐色	器高15.3、口径22.2、胴高7.3、底径10.4
58	3-12	SK-10	包含層	壺	口縁に櫛描波文、口縁部外面縦ハケメ内面縦ミガキ	砂粒多し		灰褐色	
58	3-13	SK-10	遺構埋土	高坏	縦ミガキ、3孔あり	砂粒少量	良好	淡赤褐色	
58	3-14	SK-10	包含層	高坏	3孔あり	砂粒少量		灰褐色	肌荒れ、黒斑あり、復元口径21.0
58	3-15	SK-11	包含層	壺	横線帯を櫛描縦線と切る、無文帯にミガキ	砂粒少量	良好	淡赤褐色	
58	3-16	SK-11	包含層	壺	櫛描横線と波文	砂粒多し		灰褐色	
58	3-17	SK-11	包含層	壺	櫛描の横線と波文	砂粒多し		灰褐色	
58	3-18	SK-11	包含層	壺	口縁外角に刻目列	砂粒微量		暗褐色	
58	3-19	SK-13	遺構埋土	壺	櫛描の横線と波文を単位文様帯として横線で区切る	砂粒微量		灰褐色	31は同一個体?
58	3-20	SK-13	遺構埋土	壺	櫛描の横線と波文を単位文様帯として横線で区切る	砂粒微量		灰褐色	胴上部に焼成前穿孔の円窓、黒斑あり
58	3-21	SK-14	遺構埋土	壺	口縁・外面・口縁部内面に横ハケメ	砂粒多量		茶褐色	
58	3-22	SK-14	遺構埋土	壺	櫛描の縦線と下弦連珠文	砂粒多量		灰褐色	
58	3-23	SK-14	遺構埋土	壺		砂粒多し		灰褐色	黒斑あり
58	3-24	SK-15	遺構埋土	壺	櫛描の縦波文	砂粒微量	良好	灰褐色	

59	3-25	SK-17	包含層	遺構	櫛溝横線と下弦直線	砂粒少量	灰褐色	
59	3-26	SK-17	包含層	遺構	口端に刻目列	砂粒微量	灰褐色	肌荒れ
59	3-27	SK-17	遺構埋土	高坏	同上端に細かな点線状圧痕3列、全面に赤影	砂粒少量	良好	
59	3-28	SK-17	遺構埋土	変		砂粒少し	赤褐色	肌荒れ
59	3-29	SK-17	遺構埋土	変	口端に6条の横線、口端部上面に顔による羽状文、頸部に2条の突帯、肩上面に櫛溝横線	砂粒多し	淡赤褐色	肌荒れ、黒斑あり
59	3-30	SK-17	ベース	変	口端外角に刻目列	砂粒微量	赤褐色	
59	3-31	SK-18	遺構埋土	変	口端に3本1組の棒状添付文、口端上面に菱格羽状文、頸部に突帯1条、丹砂	砂粒微量	良好	
59	3-32	SK-18	遺構埋土	高坏	坏部内外面・胸外面縦ミガキ3本あり	砂粒微量	赤褐色	器高14.7、口径22.6、脚高7.0、底径10.6
59	3-33	SK-1	遺構埋土	変	櫛溝横線と直線	砂粒少量	灰褐色	
59	3-34	SK-1	遺構埋土	変	櫛溝横線	砂粒少量	灰褐色	
59	3-35	SK-1	遺構埋土	変	菱格羽文に縦位の短線列を加える	砂粒少量	灰褐色	
59	3-36	SK-1	遺構埋土	変	菱格斜格子文	砂粒少量	灰褐色	
59	3-37	SK-1	遺構埋土	変	菱格斜格子文	砂粒少量	灰褐色	
59	3-38	SK-1	遺構埋土	変	櫛溝横線	砂粒微量	良好	
59	3-39	SK-1	遺構埋土	変	斜線帯を櫛溝横線で切る	砂粒多し	灰褐色	
59	3-40	SK-1	遺構埋土	変	口端に圧痕列	砂粒微量	灰褐色	
59	3-41	SK-1	遺構埋土	変	口端に圧痕列	砂粒多し	淡赤褐色	
59	3-42	SK-1	遺構埋土	変		砂粒多し	良好	
59	3-43	SK-1	遺構埋土	変	口端に圧痕列	砂粒微量	灰褐色	
59	3-44	SK-1	遺構埋土	変	口端に圧痕列	砂粒微量	灰褐色	
59	3-45	SK-1	埋土上面	高坏	脚端部に櫛の押圧による横線4条	砂粒多し	淡赤褐色	肌荒れ
60	3-46	SK-18	遺構埋土	変		砂粒多量	灰褐色	復元口径28.8
60	3-47	SK-18	遺構埋土	変	口端に4条の横線と3本1組の棒状添付文を4箇所、口端部上面に櫛溝横線の羽状文、脚部には3段の横線帯の間に2段の直線文、文様帯下端に短斜線列、口端と肩面文に丹砂	砂粒微量	淡赤褐色	肌荒れ
60	3-48	11区	包含層	変	口端部に菱格？横上輪帯、その上下に横線帯	砂粒少量	良好	
60	3-49	11区	包含層	変	口端に圧痕群、頸部には菱格斜格子文と横線を巡らす	砂粒多量	淡赤褐色	
60	3-50	3区	包含層	変	頸部に櫛溝横線を切る櫛溝横線	砂粒多量	良好	

押込No	遺物No	出土地点	層位	器種	文様・調整	胎土	焼成	色調	備考
60	3-51	3区	包含層	壺	口縁部上面に櫛描重弧文	砂粒少量	良好	灰褐色	
60	3-52	4区	ベース	壺	口縁の一部に刻目列、頸部に櫛描横線	砂粒微量	良好	灰黒色	
60	3-53	9区	包含層	壺	横線帯を彫描縦線で切る	砂粒少量	良好	灰褐色	
60	3-54	3区	包含層	壺	口縁外角に刻目列、頸部に横線で面された圧痕列	砂粒少量	良好	灰褐色	
60	3-55	3区	包含層	壺	口縁にニナ類の押圧痕、口頸部に右下がりハケメ	砂粒少量		灰褐色	
60	3-56	2区	包含層	壺	櫛描の縦線と下弦の重弧文	砂粒少量	良好	灰黒色	
60	3-57	2区	ベース	壺	縦位の櫛描波線を挟む櫛描下弦連弧文	砂粒少量	良好	灰黒色	
60	3-58	3区	包含層	壺	縦位の櫛描波線を挟む櫛描下弦連弧文	砂粒少量	良好	灰黒色	
60	3-59	2区	ベース	壺	縦位の点線列を挟む櫛描連弧文	砂粒微量	良好	灰黒色	
60	3-60	2区	包含層	壺	櫛描の横線と下弦の連弧文	砂粒少量	良好	灰黒色	
60	3-61	3区	包含層	壺	櫛描重弧文	砂粒多し		灰褐色	
60	3-62	3区	ベース	壺	縦位の櫛描波線を挟む櫛描下弦連弧文	砂粒少量	良好	灰黒色	
60	3-63	2区	ベース	壺	櫛描波文	細砂多し		灰黒色	
60	3-64	1～6区	包含層	壺	櫛描の横線・波文・連弧文に円文列を加える	砂粒あり		灰褐色	
60	3-65	1～6区	包含層	壺	櫛描連弧文を二枚目の腹縁による縦線群で切る	砂粒少量		灰黒色	
60	3-66	1～6区	包含層	壺	櫛描連弧文	砂粒少量	良好	灰褐色	
60	3-67	2区	包含層	壺	押引文を内蔵する重弧文と櫛描波文	砂粒少量		灰褐色	
60	3-68	1～6区	包含層	壺	櫛描連弧文	砂粒少量		灰黒色	
60	3-69	3区	包含層	壺	櫛描横線を縦の平行線で切り櫛描連弧文を配す	砂粒少量		灰褐色	
60	3-70	2区	包含層	壺	櫛描横線5段	砂粒多量		茶褐色	
60	3-71	3区	包含層	壺	口縁外角に連続押圧を加えて波状に作る	砂粒少量	良好	灰褐色	
61	3-72	10区	包含層	壺	受口の口縁外面に刻文状の櫛引突文	砂粒多し		暗褐色	
61	3-73	10区	包含層	壺	受口の口縁外面に櫛描連弧文を巡らし上下に刻目列	砂粒多し		灰褐色	
61	3-74	10区	包含層	壺	受口の口縁外面に櫛による斜線列	砂粒少量	良好	茶褐色	
61	3-75	2区	包含層	壺	頸部に櫛描横線	砂粒少量		茶褐色	
61	3-76	10区	包含層	壺	口縁外面に櫛描斜格子文	砂粒微量		暗褐色	
61	3-77	1～6区	包含層	壺	口縁に4条の横線	砂粒微量		灰褐色	
61	3-78	10区	包含層	壺	右下がりハケメに彫描横線帯	砂粒少量	良好	淡赤褐色	
61	3-79	11区	包含層	壺	半截竹管による横線6段	細砂粒微量	良好	灰褐色	

61	3-80	11区	包含層	変	埴摺横線3段	埴摺横線7段	細砂粒微量	良好	灰褐色
61	3-81	11区	包含層	変	半截竹管による横線2段の間に縦線で画した縦位の斜線文を配す		砂粒多量		灰褐色
61	3-82	1～6区	包含層	変			砂粒微量		灰褐色
61	3-83	11区	包含層	変	横線で画した竪溝斜格子文帯		砂粒多し		淡赤褐色
61	3-84	孤張区	包含層	変	埴摺波文		砂粒多量	良好	淡赤褐色
61	3-85	1～4区	包含層	変	半截竹管による横線で画した斜圧痕列		砂粒少量	良好	茶褐色
61	3-86	10区	包含層	変	埴摺横線の間に短斜線列と波文		砂粒多量		淡赤褐色
61	3-87	11区	包含層	変	埴摺横線の間に扇状文帯、埴摺横線間を縦線で切る		砂粒少量	良好	灰褐色
61	3-88	11区	包含層	変	埴摺波文		砂粒少量	良好	淡赤褐色
61	3-89	3区	包含層	変	埴摺の横線と波文		砂粒微量		黒褐色
61	3-90	11区	包含層	変	埴摺の横線と波文		砂粒少量		灰褐色
61	3-91	6区	包含層	変	口縁部に6条の浅い横線、円孔あり		細砂粒微量		淡赤褐色
61	3-92	11区	包含層	変	半截竹管による横線と埴摺波文		砂粒多量	良好	灰褐色
61	3-93	6区	包含層	変	2段の羽状文列		砂粒多し		淡赤褐色
61	3-94	11区	包含層	変	脚上端に凹線状圧痕列4条、全面円影		砂粒なし		灰白色
61	3-95	11区	包含層	変	口端に刻目列、口縁部内外面に横ハケメ		砂粒少量		灰褐色
61	3-96	孤SK-1	包含層	変	口端に刻目列		砂粒多量		淡赤褐色
61	3-97	11区	包含層	変	口縁部内外面に横ハケメ		砂粒少量	良好	灰褐色
61	3-98	孤張区	SK-1	変	口端外角に刻目列		細砂粒微量		赤褐色
61	3-99	3区	包含層	変			砂粒少量	良好	黒褐色
61	3-100	11区	包含層	変	口端に刻目列		砂粒少量		灰褐色
62	3-101	SD-1	濃緑埴土	変			砂粒少量	良好	灰褐色
62	3-102	10区	包含層	変	口端に横による斜線列、口縁上面に横による羽状文		砂粒微量	良好	灰褐色
62	3-103	8区	包含層	変	口端の内外に半截竹管による縦線状波文、口縁部上面に埴摺横線3段と波文2段		細砂粒微量	良好	灰褐色
62	3-104	11区	包含層	変	口端に埴摺横線、口縁部上面に横による羽状文		砂粒少量	良好	灰褐色
62	3-105	11区	包含層	変	口端に6条の横線、口縁部上面に斜位の横圧痕列		砂粒少量		灰褐色
62	3-106	11区	包含層	変	口端に埴摺横線、口縁部上面に横による扇状文		砂粒少量	良好	淡赤褐色
62	3-107	11区	包含層	変	口端に4条の横線		砂粒多量		淡赤褐色

検体No.	遺物No.	出土地点	層位	器種	文様・調整	胎土	焼成	色調	備考
62	3-108	11区	包含層	壺	口縁部上面に施による羽状文、口頸部に施上縁常	砂粒多し	良好	淡赤褐色	黒斑あり
62	3-109	2区	包含層	壺	口縁と口頸部上面に細条横	砂粒多し		淡赤褐色	
62	3-110	10区	包含層	壺	口縁部上面に施羽状文、口頸部外面に施上縁常、頸部に突帯1条、上頸部に施描横線	砂粒微量		灰褐色	口径18.3、頸径10.8
62	3-111	10区	包含層	壺	口縁上面に施描羽状文	砂粒少量	良好	灰褐色	
62	3-112	11区	包含層	壺		砂粒少量	良好	灰褐色	
62	3-113	10区	包含層	壺	頸部に横線	砂粒多し	良好	灰褐色	
62	3-114	11区	包含層	壺	口縁部上面に施描羽状文2段	細砂粒多し		淡赤褐色	
62	3-115	10区	包含層	壺	頸部に刻目列を加えた突帯を巡らす、上頸部に施描横線と波文、最下段に二枚貝の横線による斜線列	砂粒少量	良好	淡赤褐色	1107と1140接合、1103同一個体
62	3-116	6区	包含層	壺	口縁に5条の横線、口縁上面に斜位の圧痕列	砂粒少量	良好	灰褐色	
62	3-117	孤SK-1	遺構埋土	壺	口縁に刻目列	砂粒少量		赤褐色	
62	3-118	11区	包含層	壺	口縁に刻目列	砂粒少量		灰褐色	肌荒れ
63	3-119	11区	包含層	壺	口頸部に縦ハケメ	砂粒微量		灰褐色	
63	3-120	10区	包含層	壺	口縁上面に羽状文、口頸部内外に縦ハケメ	砂粒なし		灰褐色	
63	3-121	11区	包含層	壺	口頸部に施描横上縁常、頸部に1条の突帯を巡らし上辺に円形刻突文列、下辺に施描横線	砂粒少量	良好	灰褐色	
63	3-122	10区	包含層	壺?	刻目列を加えた突帯に縦位の棒状付文2本	砂粒少量	良好	灰褐色	黒斑あり、上腹部?
63	3-123	8~9区	包含層	壺	頸部に突帯1条、胴上部に施描横線と波文各3段	砂粒少量	良好	灰褐色	頸径4.0、胴径15.3、底径4.4
63	3-124	1~4区	包含層	壺	施描の横線と波文	砂粒微量		黄褐色	
63	3-125	11区	包含層	壺	施描の波文と横線	砂粒少量	良好	灰褐色	
63	3-126	11区	包含層	壺	施描の波文と横線	砂粒微量		淡赤褐色	
63	3-127	11区	包含層	壺	3本1組の半截竹管による横線と波文	砂粒少量	良好	灰褐色	
63	3-128	11区	包含層	壺	施描の波文と横線	砂粒微量	良好	赤褐色	
63	3-129	11区	包含層	壺	施描の波文と横線	砂粒微量		赤褐色	
63	3-130	11区	包含層	壺	施描の波文と横線	砂粒少量		灰褐色	
63	3-131	10区	包含層	壺	施描の波文と横線、右下がりハケメ	砂粒微量	良好	淡赤褐色	
63	3-132	9区	包含層	壺	施描の波文・横線	砂粒少量		灰褐色	
63	3-133	9区	包含層	壺	施描横線の下に短斜線列、右下がりハケメ	細砂粒微量	良好	灰褐色	
63	3-134	10区	包含層	壺	施描の波文と横線、最下段に施の圧痕列	砂粒少量		灰褐色	

63	3-135	9区	包含層	壺	壺	壺描の波文・横線の下に刺突文列	砂粒少量	良好	灰褐色	黒斑あり
63	3-136	9区	包含層	壺	壺	壺描の横線間に層状文3段を配し、最下段に短線列を加える	砂粒少量	良好	淡赤褐色	黒斑あり、頸径5.6、胴径18.4
63	3-137	10区	包含層	壺	壺	壺描横線の下に刺突文列で画された横線波文をおき、2個1組の円筒形貼付文を配す。胴部丹彩	細砂粒微量	良好	淡赤褐色	
63	3-138	4区	包含層	壺	壺	壺描横線の下に刺突文列で画された横線波文をおき、2個1組の円筒形貼付文を配す。胴部丹彩	細砂粒微量	良好	淡赤褐色	器表にミガキ
64	3-139	9区	包含層	壺	壺	壺描の波文・横線、下側に肩線跡による斜線列	砂粒少量	良好	淡赤褐色	117接合
64	3-140	10区	包含層	壺	壺	壺描横線の下に肩線跡による連弧文	砂粒少量	良好	淡赤褐色	
64	3-141	11区	包含層	壺	壺	壺描の波文と肩状文	砂粒少量	良好	淡赤褐色	
64	3-142	11区	包含層	壺	壺	壺描の波文と肩状文	砂粒少量	良好	淡赤褐色	
64	3-143	2区	包含層	壺	壺	頸部に突帯1条、胴部に斜線列を挟んで壺描横線	砂粒多し		灰褐色	
64	3-144	11区	包含層	壺	壺	壺描の波文と肩状文	砂粒少量	良好	淡赤褐色	
64	3-145	10区	包含層	壺	壺	壺描波文と肩の任意列	砂粒少量		灰褐色	
64	3-146	11区	包含層	壺	壺	壺描の横線と肩状文	砂粒微量		灰褐色	
64	3-147	10区	包含層	壺	壺	壺描波文	細砂粒微量		灰褐色	
64	3-148	9区	包含層	壺	壺	壺の刺突による斜線帯	細砂粒少量	良好	淡赤褐色	
64	3-149	11区	包含層	鉢	鉢	$L < R$ の横文地に3条の横線	細砂粒微量		灰褐色	黒斑あり
64	3-150	11区	包含層	鉢	鉢	口縁部に3条の横線	細砂粒微量		赤褐色	
64	3-151	11区	包含層	高坏	高坏	器表にミガキ	砂粒少量		灰褐色	
64	3-152	11区	包含層	高坏	高坏	3孔あり	細砂粒微量		灰褐色	
64	3-153	11区	包含層	甕	甕	口縁・口縁部内外面に横ハケメ	砂粒少量	良好	灰褐色	
64	3-154	10区	包含層	甕	甕	口縁に斜位の任意列、胴部にハケメ	砂粒少量	良好	灰褐色	口縁部に注口
64	3-155	11区	包含層	甕	甕	口縁に斜目列、口縁部内外面に横ハケメ	細砂粒少量		灰褐色	
64	3-156	11区	包含層	甕	甕	口縁に斜目列、口縁部の外面に横ハケメ、口縁部内外面に横ハケメ	砂粒少量		淡赤褐色	
64	3-157	11区	包含層	甕	甕	口縁部の外面に横ハケメ、口縁部内外面に横ハケメ	砂粒少量	良好	茶褐色	
64	3-158	10区	包含層	甕	甕	口縁部内外面に横ナデ、上胴部に下がりハケメ	砂粒少量	良好	灰褐色	
64	3-159	11区	包含層	甕	甕	口縁に3本1組の棒状貼付文、口頸部に縦位のハケメ、頸部に1条の突帯	細砂粒少量	良好	暗褐色	
64	3-160	11区	包含層	甕	甕	口頸部に縦位のハケメ	細砂粒少量	良好	暗灰色	
65	3-161	7～8区	包含層	甕	甕	口縁に斜目列、口縁部外面にハケメ	砂粒少量	良好	灰褐色	

押型No.	遺物No.	出土地点	層位	器種	文様・調整	胎土	焼成	色調	備考
65	3-162	10区	包含層	壺	口縁に刻目列、胴部から胴部にハケメ	砂粒少量		灰褐色	器高27.0、口径14.5、胴径26.4、底径5.8
65	3-163	10区	包含層	壺		砂粒少量		灰褐色	復元口径9.4、胴径6.8
65	3-164	6区	包含層	壺		細砂粒少量	良好	灰褐色	黒班あり
65	3-165	10区	包含層	壺	器表ミガキ	細砂粒微量	良好	灰褐色	
65	3-166	10区	包含層	壺	柳指模線と肩荷指線による連続文	細砂粒微量		灰褐色	
65	3-167	8区	包含層	壺	上胴部に一条の突帯、その下に柳指模線、丹彩	砂粒微量		灰褐色	肌荒れ、パレス
65	3-168	7～8区	包含層	壺	外面にハケメ	砂粒多し		灰褐色	黒班あり、底径7.1
65	3-169	8区	包含層	壺	器表、口縁部内面に右下がりのハケメ	細砂粒少量	良好	赤褐色	器高8.2、口径12、胴径11.5、底径3.2
65	3-170	10区	包含層	鉢	外面縦ミガキ	細砂粒微量		赤褐色	復元口径8.4、胴径8.7、底径2.5
65	3-171	8区	包含層	高坏	内外面縦ミガキ	細砂粒微量		赤褐色	
65	3-172	10区	包含層	高坏	内外面縦ミガキ、3孔あり	細砂粒微量	良好	灰褐色	黒班あり
65	3-173	6区	包含層	高坏	脚部面に柳指模線、3孔あり	砂粒微量		灰褐色	
65	3-174	7区	包含層	高坏	柳指模線3段、円孔あり	細砂粒微量		灰褐色	
65	3-175	1～6区	包含層	高坏	柳指模線6段、短斜線帯5段	砂粒少量	良好	灰褐色	
65	3-176	11区	包含層	高坏	脚部面に模線で画された短斜線列	砂粒少量		灰褐色	
65	3-177	7区	包含層	高坏	円孔あり	細砂粒微量		赤褐色	肌荒れ
65	3-178	10区	包含層	高坏	脚部面に柳指模線、縦ミガキ、3孔あり	砂粒少量	良好	灰褐色	
65	3-179	7区	包含層	高坏	柳指模線、縦ミガキ、円孔あり	細砂粒微量	良好	赤褐色	
66	3-180	8区	包含層	器台	器表にミガキ、3孔あり	砂粒少量	良好	灰褐色	
66	3-181	7区	包含層	壺	胴部と脚部にハケメ	砂粒微量		灰褐色	器高10.6、口径5.8、胴径大径8.3、台径6.5
66	3-182	7～8区	包含層	壺	外面ミガキ	細砂粒微量		灰褐色	
66	3-183	11区	包含層	壺	胴部に右下がりのハケメ	砂粒微量		灰白色	
66	3-184	10区	包含層	鉢	外面に右下がりのハケメ	細砂粒微量	良好	灰褐色	
66	3-185	10区	包含層	壺	口縁部外面に縦ハケメ、胴部に横ハケメ	細砂粒微量	良好	赤褐色	黒班あり
66	3-186	8区	包含層	壺	口縁が玉縁	砂粒多量		赤褐色	肌荒れ
66	3-187	11区	包含層	壺	口縁外角に刻目列	細砂粒微量	良好	赤褐色	
66	3-188	11区	包含層	壺	口縁部に横をくり斜位の圧痕列、胴部に横ハケメ	砂粒多量	良好	赤褐色	
66	3-189	7～8区	包含層	壺	口縁部に横	砂粒微量	良好	灰褐色	

66	3-190	11区	包含層	変	ハケメ後上胴部に斜位の圧痕列	細砂粒少量	良好	灰褐色	黒斑あり
66	3-191	11区	包含層	変	ハケメ後上胴部に斜位の圧痕列	砂粒少量		灰褐色	
66	3-192	11区	包含層	変	ハケメ後上胴部に斜位の圧痕列	砂粒少量		灰褐色	
66	3-193	8区	包含層	変	右下がりの荒いハケメ	砂粒微量	良好	灰褐色	
66	3-194	11区	包含層	変	右下がりのハケメ	砂粒少量		暗灰色	胴径22.8、台高4.2、底径7.5
67	3-195	10区	包含層	変	口縁に右下がりハケメ、胴部右下がりミガキ	砂粒少量	良好	灰褐色	口径17.8、胴径24.2、器高24.3
67	3-196	10区	包含層	変	口縁の内外面に羽状圧痕列、口縁部に縦ハケメ	砂粒微量	良好	赤褐色	
67	3-197	11区	包含層	変	口縁部に横あり、外面にハケメ、胴部に尖帯	砂粒少量		赤褐色	肌荒れ
67	3-198	11区	包含層	変	口縁に横ハケメ	砂粒少量		黄褐色	
67	3-199	11区	包含層	変	口縁部内外に横ミガキ	砂粒少量		灰褐色	
67	3-200	10区	包含層	変	口縁部内外縦ミガキ、胴部に横ハケメ	細砂粒微量		灰褐色	口径9.0、胴径7.3
67	3-201	10区	包含層	変		細砂粒微量		灰褐色	
67	3-202	10区	包含層	変		砂粒多量		灰褐色	
67	3-203	10区	包含層	変	外面縦ミガキ、内面横ミガキ	細砂粒微量		灰褐色	黒斑あり
67	3-204	11区	包含層	変	口縁部の内外面に丹彩	砂粒微量		灰褐色	口径14.0、胴径6.2
66	3-205	10区	包含層	変	細い縦ハケメ	砂粒なし		淡灰褐色	
67	3-206	7~8区	包含層	変		砂粒微量		灰褐色	
67	3-207	9区	包含層	短頸壺		細砂粒少量		灰褐色	
67	3-208	9区	包含層	短頸壺		細砂粒少量		灰褐色	
67	3-209	9区	包含層	短頸壺		細砂粒少量	良好	灰褐色	
67	3-210	4区	包含層	頸形壺		細砂粒少量		灰褐色	黒斑あり
67	3-211	10区	包含層	変	口縁に横溝による線痕、口縁上面に横溝による羽状文と頸部、上面の無文部に丹彩	砂粒少量		淡赤褐色	肌荒れ
67	3-212	10区	包含層	変	口縁に3本1組の棒状点付文	砂粒少量	良好	灰褐色	
67	3-213	10区	包含層	変	口縁に筒状文を施す、口縁部に2段、口縁部内外面に丹彩	砂粒少量	良好	灰褐色	
67	3-214	10区	包含層	変	口縁に筒状文を施す、口縁部に2段、口縁部内外面に丹彩	砂粒少量	良好	灰褐色	
67	3-215	10区	包含層	変	筒状文、赤彩	砂粒少量	良好	灰褐色	
67	3-216	10区	包含層	変	筒状文、赤彩	砂粒少量	良好	灰褐色	
67	3-217	10区	包含層	変	筒状文、赤彩	砂粒少量	良好	灰褐色	
67	3-218	10区	包含層	変	筒状文、赤彩	砂粒少量	良好	灰褐色	

押印No.	遺物No.	出土地点	層位	器種	文様・調整	胎土	焼成	色調	備考
68	3-219	11区	包含層	壺	樹掛模線帯3段の間に銀書文2段、文様帯の下端に刺突文列・赤彩	細砂粒少量		灰褐色	肌荒れ、胴径21.0、底径4.7
68	3-220	11区	包含層	壺		砂粒微量		淡赤褐色	黒斑あり
68	3-221	11区北	包含層	壺	口縁部外面に横ハケメ、胴部に右下がりハケメ	砂粒微量		灰褐色	復元口径3.8、復元胴径21.6
68	3-222	10区	包含層	壺	頸部銀書文と樹掛模線・赤彩	細砂粒少量	良好	灰褐色	
68	3-223	7区	包含層	鉢		砂粒少量		灰褐色	化植土の一部に紅色発色、復元口径14cm
68	3-224	9区	包含層	小瓶		砂粒多し		淡赤褐色	黒斑あり
68	3-225	10区	包含層	小瓶		細砂粒少量	良好	灰褐色	黒斑、器高6.7、口径7.8、胴径8.0、底径2.1
68	3-226	9区	包含層	小瓶		細砂粒少量		灰褐色	黒斑あり(内面全体が黒色)
68	3-227	10区	包含層	器台	口端を玉縁状に作る	砂粒少量		灰褐色	
68	3-228	10区	包含層	器台	口端を玉縁状に作る	細砂粒少量	良好	灰褐色	
68	3-229	10区	包含層	器台	坏部は安帯の上下に円孔各5、胴部は2条の安帯の上下に円孔各4、口端・胴部ともに玉縁状に作る	細砂粒微量		淡赤褐色	
68	3-230	8区	包含層	器台	外面縦ミガキ	砂粒微量		灰褐色	
68	3-231	9区	包含層	器台	外面縦ミガキ、3孔あり	細砂粒多量		灰褐色	
68	3-232	8区	包含層	高坏	外面・坏部内面縦ミガキ、胴に3孔	砂粒微量	良好	灰褐色	
68	3-233	11区	包含層	高坏		砂粒少量		淡赤褐色	
68	3-234	10区	包含層	高坏	樹掛模線で画された銀書文4段	砂粒少量		灰褐色	
69	3-235	10区	包含層	高坏	坏部内外面縦ミガキ	砂粒微量	良好	灰褐色	黒斑あり
69	3-236	7～8区	包含層	高坏		細砂粒微量		灰褐色	
69	3-237	10区	包含層	高坏		砂粒微量		灰褐色	口径22.6、坏部高7.8
69	3-238	10区	包含層	高坏	器表縦ミガキ	砂粒少量		淡赤褐色	肌荒れ
69	3-239	7～8区	包含層	高坏	内外面縦ミガキ	細砂粒微量		灰褐色	黒斑あり
69	3-240	10区	包含層	高坏	外面ミガキ	細砂粒微量	良好	灰褐色	
69	3-241	11区	包含層	高坏		砂粒微量		灰褐色	
69	3-242	10区	包含層	高坏	内外面縦ミガキ	砂粒微量	良好	淡赤褐色	黒斑あり
69	3-243	11区	包含層	高坏	3孔あり	砂粒微量	良好	灰褐色	243と同一個体
69	3-244	9区	包含層	高坏	脚部縦ミガキ、3孔あり	細砂粒微量	良好	灰褐色	
69	3-245	11区	包含層	器台	3孔あり	砂粒少量		灰褐色	

69	3-246	9区	包含層	高坏	胸部縦ミガキ、3孔あり	砂粒微量	良好	灰褐色	
69	3-247	11区北枕	包含層	高坏	ミガキ、3孔あり	砂粒多し		淡赤褐色	
69	3-248	10区	包含層	高坏	ハケミ後窪いミガキ、3孔あり	砂粒微量	良好	灰褐色	
69	3-249	11区	包含層	高坏	ハケミ後窪いミガキ、3孔あり	砂粒多し		灰褐色	
69	3-250	8区	包含層	高坏	縦ミガキ、2孔あり	砂粒微量	良好	灰褐色	
69	3-251	11区	包含層	高坏	3孔あり	砂粒多し		淡赤褐色	
69	3-252	7~8区	包含層	高坏	3孔あり	細砂粒微量		淡赤褐色	肌荒れ
69	3-253	11区	包含層	高坏		砂粒多し		灰褐色	
69	3-254	11区	包含層	高坏		砂粒多量		灰褐色	肌荒れ
70	3-255	10区	包含層	変	口縁部外面に右下がり条痕	砂粒少量		灰褐色	
70	3-256	11区	包含層	変	外面縦ハケミ	砂粒微量	良好	灰褐色	
70	3-257	10区	包含層	変	口縁部外面に右下がり条痕	砂粒微量	良好	灰褐色	
70	3-258	11区	包含層	変	外面右下がりハケミ、口縁部内面横ハケミ	砂粒少量	良好	明灰褐色	
70	3-259	10区	包含層	変	口縁部外面に右下がりハケミ	細砂粒少量		灰褐色	
70	3-260	10区	包含層	変	頸部〜上胸部縦ハケミ、胸中部横ハケミ	砂粒微量		灰褐色	黒斑あり
70	3-261	10区	包含層	変	頸部〜上胸部縦ハケミ、口縁部内面横ハケミ	砂粒微量	良好	灰褐色	黒斑あり
70	3-262	8~9区	包含層	変	右下がりハケミ	細砂粒微量		灰褐色	
70	3-263	11区	包含層	変	頸部から台までハケミ、外面に窪付量	砂粒微量		灰褐色	器高26.0、口径15.8、胴径20.5、底径8.3
70	3-264	11区北枕	包含層	変	口縁内面横ハケミ、頸部縦ハケミ、胸部横ハケミ	細砂粒少量	良好	灰褐色	
70	3-265	9区	包含層	変	口縁と上胸部横ハケミ、頸部縦ハケミ	細砂粒微量		灰褐色	
70	3-266	10区	包含層	変	頸部に横ハケミ、胸部に右下がりハケミ	細砂粒少量		灰褐色	黒斑あり
70	3-267	10区	包含層	変	胸部に横〜右下がりハケミ	砂粒なし		灰褐色	
71	3-268	11区	包含層	変	口縁内外面、胸部横ハケミ	細砂粒微量	良好	灰褐色	
71	3-269		包含層	変	胸部に右下がりハケミ	細砂粒少量		灰褐色	
71	3-270	10区	包含層	変	胸部に右下がり条痕	砂粒少量	良好	淡赤褐色	
71	3-271	11区	包含層	変	口縁内面横ハケミ、頸部縦ハケミ、胸部横ハケミ	細砂粒少量		灰褐色	
71	3-272	9区	包含層	変	胸部に右下がりハケミ	細砂粒少量		灰褐色	
71	3-273	10区	包含層	変	口縁部外面横ハケミ、胸部に横痕	砂粒少量		灰褐色	
71	3-274	10区	包含層	変	口縁部内面横ハケミ、胸部にハケミ	砂粒少量	良好	灰褐色	
71	3-275	8~9区	包含層	変	口縁部横ハケミ	細砂粒少量		淡赤褐色	黒斑あり
71	3-276	10区	包含層	変		細砂粒少量		灰褐色	肌荒れ

採回No.	遺物No.	出土地点	層位	器種	文様・調整	胎土	焼成	色調	備考
71	3-277	10区	包含層	甕	口縁部内面横ハケメ、頸部に縦ハケメ、胴部に横ハケメ	砂粒少量		灰褐色	
71	3-278	9区	包含層	甕	胴部に右下がりハケメ	砂粒少量		灰褐色	
71	3-279	10区	包含層	甕	胴部にハケメ	細砂粒微量		淡赤褐色	
71	3-280	10区	包含層	甕	口縁部内外面横ハケメ、胴部右下がり細条痕	砂粒少量		灰褐色	
71	3-281	10区	包含層	甕	口縁部外面右下がりハケメ	砂粒少量		灰褐色	
71	3-282	10区	包含層	甕	口縁部外面横ハケメ	細砂粒少量		灰褐色	外面に煤付着
71	3-283	11区	包含層	甕	口縁部内面、胴部外面にハケメ	砂粒少量		灰褐色	
72	3-284	10区	包含層	甕	胴部に左下がりハケメ	細砂粒微量		灰褐色	
72	3-285	11区	包含層	甕	胴部に右下がり条痕	砂粒少量		灰褐色	復元口径13.4
72	3-286	10区	包含層	甕	口縁外面横ハケメ、胴部右下がりハケメ	細砂粒微量		灰褐色	
72	3-287	10区	包含層	甕	口縁外面横ハケメ、頸部一胴部右下がりハケメ	砂粒微量		灰褐色	
72	3-288	9区	包含層	甕	口縁部に横、胴部にハケメ	砂粒多し	良好	灰褐色	外面に煤付着
72	3-289	11区	包含層	甕	口縁部に横、胴部にハケメ	砂粒多し		灰褐色	
72	3-290	11区	包含層	甕	口縁部に細条痕	細砂粒微量		灰褐色	
72	3-291	11区	包含層	甕	頸部・胴部に細条痕、口縁部内外面に横ハケメ	砂粒微量	良好	灰褐色	
72	3-292	10区	包含層	甕	口縁下半に横、口縁部内面に横ハケメ	砂粒微量		灰褐色	
72	3-293	10区	包含層	甕	口縁外面横ナデ、胴部右下がりハケメ	砂粒微量	良好	淡赤褐色	
72	3-294	8～9区	包含層	甕	胴部に縦ハケメ、台部に右下がりハケメ	細砂粒微量		灰褐色	
72	3-295	10区	包含層	甕	上胴部右下がりハケメ、胴部から胴に縦ハケメ	砂粒微量		灰褐色	
72	3-296	10区	包含層	甕	口縁部に横、上胴部に横条横線、胴部外面に右下がりハケメ、頸部内面に横ハケメ	砂粒多量	良好	灰褐色	黒斑あり
72	3-297	10区	包含層	甕	口縁部に横、上胴部に横条横線、胴部にハケメ	砂粒微量	良好	灰褐色	
72	3-298	9区	包含層	甕	口縁部に横、上胴部に横条横線、胴部にハケメ	砂粒微量	良好	灰褐色	
72	3-299	10区	包含層	甕	口縁部に横、上胴部に横条横線、胴部にハケメ	砂粒微量	良好	灰褐色	外面に煤付着
72	3-300	10区	包含層	甕	口縁部に横、上胴部に横条横線、胴部にハケメ	砂粒多し		灰褐色	
72	3-301	10区	包含層	甕	口縁部に横、上胴部に横条横線、胴部にハケメ	砂粒微量		灰褐色	
72	3-302	10区	包含層	甕	口縁部に横、上胴部に横条横線、胴部にハケメ	砂粒多し	良好	灰褐色	
72	3-303	11区	包含層	甕	口縁部に横、上胴部に横条横線、胴部にハケメ	砂粒少量	良好	灰褐色	黒斑あり

73	3-304	10区	包含層	変	口縁部に横、上唇部に歯槽横線、唇部にハケメ、頸部内面に横ハケメ	砂粒微量	良好	灰褐色	黒斑あり
73	3-305	10区	包含層	変	口縁部に横、上唇部に歯槽横線、唇部にハケメ	砂粒少量	良好	灰褐色	
73	3-306	9区	包含層	変	口縁部に横、頸部内面にハケメ、唇部に左下がりハケメ	細砂粒微量	良好	灰褐色	
73	3-307	10区	包含層	変	口縁部に横、上唇部に歯槽横線、唇部にハケメ	砂粒多し		灰褐色	
73	3-308	10区	包含層	変	口縁部に横、上唇部に歯槽横線、唇部にハケメ	細砂粒微量	良好	灰褐色	
73	3-309	10区	包含層	変	口縁部に横、頸部内面に横ハケメ、上唇部に歯槽横線、唇部にハケメ	細砂粒微量	良好	灰褐色	
73	3-310	10区	包含層	変	口縁部に横、頸部内面に横ハケメ、上唇部に歯槽横線、唇部にハケメ	細砂粒微量	良好	灰褐色	
73	3-311	8~9区	包含層	変	口縁部に横、上唇部に歯槽横線、唇部にハケメ	細砂粒微量	良好	灰褐色	
73	3-312	10区	包含層	変	口縁部に横、上唇部に歯槽横線、唇部にハケメ、頸部内面に横ハケメ	細砂粒少量	良好	灰褐色	
73	3-313	10区	包含層	変	口縁部に横	細砂粒微量	良好	灰褐色	
73	3-314	10区	包含層	変	口縁部に横、上唇部に歯槽横線、唇部にハケメ	細砂粒微量	良好	灰褐色	
73	3-315	10区	包含層	変	口縁部に横、上唇部に歯槽横線、唇部にハケメ	細砂粒微量	良好	灰褐色	
73	3-316	11区	包含層	変	口縁部に横、上唇部に歯槽横線、唇部にハケメ	細砂粒少量	良好	灰褐色	器高28.1、口径16.7、胴径23.6、底径9.8
73	3-317	11区	包含層	変	口縁部に横、上唇部に歯槽横線	細砂粒少量	良好	灰褐色	
73	3-318	10区	包含層	変	口縁部に横、上唇部に歯槽横線、唇部にハケメ	細砂粒多し	良好	暗褐色	
73	3-319	10区	包含層	変	口縁部に横、上唇部に歯槽横線、唇部にハケメ	細砂粒微量	良好	灰褐色	
73	3-320	10区	包含層	変	口縁部に横、頸部内面に横ハケメ、上唇部に歯槽横線、唇部にハケメ	細砂粒微量	良好	灰褐色	
73	3-321	10区	包含層	変	口縁部に横、上唇部に歯槽横線、唇部にハケメ、頸部内面に横ハケメ、唇部内面にハケメ	細砂粒微量	良好	淡赤褐色	
74	3-322	10区	包含層	変	口縁部に横、頸部内面に横ハケメ、上唇部に歯槽横線、唇部にハケメ	細砂粒微量		灰褐色	
74	3-323	9区	包含層	変	口縁部に横、上唇部に歯槽横線、唇部にハケメ、頸部内面に横ハケメ	砂粒微量	良好	灰褐色	
74	3-324	10区	包含層	変	口縁部に横、上唇部に歯槽横線、唇部にハケメ、頸部内面に横ハケメ	細砂粒微量		灰褐色	
74	3-325	10区	包含層	変	口縁部に横、上唇部に歯槽横線、唇部にハケメ、頸部内面に横ハケメ	細砂粒微量		灰褐色	
74	3-326	10区	包含層	変	口縁部に横、上唇部に歯槽横線、唇部にハケメ	細砂粒多量		灰褐色	
74	3-327		包含層	変	口縁部に横、上唇部に歯槽横線、唇部にハケメ	細砂粒微量	良好	灰褐色	黒斑あり

採図No.	遺物No.	出土地点	層位	器種	文様・調整	胎土	焼成	色調	備考
74	3-328	10区	包含層	甕	口縁部に縁、上胴部に帯描模線、胴部にハケメ	細砂粒微量		灰褐色	黒斑あり
74	3-329	10区	包含層	甕	口縁部に縁、胴部にハケメ	細砂粒少量	良好	灰褐色	
74	3-330	10区	包含層	甕	口縁部に縁、上胴部に帯描模線、胴部にハケメ	細砂粒少量	良好	灰褐色	
74	3-331	11区	包含層	甕	上部模ハケメ、中部右下がりハケメ、下部縦ハケメ	砂粒少量		灰褐色	黒斑あり
74	3-332	10区	包含層	甕	胴上部に帯描模線、外面全体にハケメ	砂粒多量	良好	灰褐色	
74	3-333	8区	包含層	甕	外面全体にハケメ、上胴部に2段の帯描模線	砂粒微量		灰褐色	脚台の下端を内側に曲げこむ
74	3-334	11区	包含層	甕	外面全体にハケメ	砂粒微量		灰褐色	
74	3-335		包含層	甕	縦ハケメ	砂粒微量		灰褐色	
74	3-336	10区	包含層	甕	胴下部から台上部に縦ハケメ	砂粒少量		灰褐色	
74	3-337	11区	包含層	甕	外面全体にハケメ、台内面にハケメ	砂粒多し		暗灰褐色	
75	3-338	10区	包含層	甕	外面全体にハケメ	砂粒少量		灰褐色	
75	3-339	10区	包含層	甕	外面に縦ハケメ	砂粒多し	良好	灰褐色	
75	3-340	10区	包含層	甕	外面に縦ハケメ	砂粒少量		灰褐色	
75	3-341	11区	包含層	甕	台部の横美須をナデ消し	砂粒少量	良好	灰褐色	
75	3-342	11区	包含層	甕	台部に右下がり条痕	砂粒少量		灰褐色	
75	3-343	11区	包含層	甕		砂粒微量	良好	淡赤褐色	
75	3-344	11区	包含層	甕	ハケメ後紫いミガキ	砂粒少量	良好	灰褐色	
75	3-345	10区	包含層	甕	外面に右下がりハケメ	砂粒少量	良好	灰褐色	黒斑あり
75	3-346	11区	包含層	甕	ハケメ後紫いミガキ	砂粒多し	良好	灰褐色	脚端内側に折り返し
75	3-347	11区	包含層	甕	強い縦ハケメ	砂粒微量	良好	淡赤褐色	
75	3-348	11区	包含層	甕	縦ハケメ	砂粒多し		暗褐色	
75	3-349	10区	包含層	甕	外面に右下がりハケメ	砂粒多し		暗褐色	
75	3-350	4区	ベース	碗		細砂粒微量	良好	青灰色	
75	3-351	4区	ベース	碗		細砂粒微量	良好	青灰色	
75	3-352	4区	ベース	山茶碗		細砂粒微量	良好	青灰色	高台に分離剤の痕跡なし

第12表 第1グリッド出土 土器観察表

検出No	遺物No	出土地点	層位	器種	文様・調整	胎土	焼成	色調	備考
76	1G-1	SK-1	遺構埋土 並	高坏	櫛描の横線と波文	砂粒少量		暗赤褐色	
76	1G-2	SK-1	遺構埋土 並	高坏		砂粒少量		赤褐色	肌荒れ
76	1G-3	SP-2	遺構埋土 並		口端に刻目列、口縁部内面に丹彩	砂粒少量		褐色	
76	1G-4	SP-3	遺構埋土 並		櫛描横線の面に斜位の圧痕列	砂粒微量		灰褐色	
76	1G-5	SB-5	遺構埋土 並		胴部に右下がりハケメ	砂粒多し	良好	暗赤褐色	
76	1G-6	SD-1	遺構埋土 並		口端に刻目列	砂粒少量		淡赤褐色	肌荒れ
76	1G-7	SD-1	遺構埋土 並		口端に櫛描波文	細砂粒少量		灰褐色	黒点あり
76	1G-8	SD-1	遺構埋土 並		櫛描の横線と波文	砂粒少量		淡赤褐色	
76	1G-9	SD-1	遺構埋土 並		櫛描の横線と波文	砂粒少量		灰黒色	肌荒れ
76	1G-10	SD-1	遺構埋土 高坏			砂粒少量		赤褐色	肌荒れ
76	1G-11		包含層 並		縦線帯を櫛描横線で切り、二ナ隅の圧痕を加える	砂粒少量		灰褐色	
76	1G-12		包含層 並		横線帯を櫛描横線で切る	砂粒多し	良好	灰褐色	
76	1G-13		包含層 並		下弦の櫛描蓮弧文	砂粒微量		灰褐色	
76	1G-14		包含層 並		細横線帯に刺突文列と荒描波文を加える	砂粒少量		黒褐色	
76	1G-15		包含層 並		突口の口縁部に太い横線と内文列	砂粒少量		淡褐色	
76	1G-16		包含層 並			細砂粒多し	良好	淡赤褐色	
76	1G-17		包含層 並		櫛描横線	細砂粒微量		黒褐色	肌荒れ
76	1G-18		包含層 並		櫛描波文	砂粒少量	良好	灰褐色	
76	1G-19		包含層 並		荒描斜格子文	砂粒多し		暗褐色	
76	1G-20	脚付段	包含層 並		口縁部に櫛描横線	細砂粒微量		黒褐色	
76	1G-21	包含層 高坏	包含層 並			砂粒少量		灰黒色	
76	1G-22	包含層 並	包含層 並		胴部に右下がりハケメ	砂粒多し		赤褐色	
76	1G-23	包含層 並	包含層 並		口端に櫛描波文	細砂粒少量		赤褐色	
76	1G-24	包含層 並	包含層 並		口端に櫛描横線、上面に羽状文	砂粒少量		淡赤褐色	肌荒れ
76	1G-25	包含層 並	包含層 並		平行横線の下に羽状文、赤彩	細砂粒微量		淡赤褐色	
76	1G-26	包含層 高坏	包含層 並			砂粒多し		淡赤褐色	肌荒れ
76	1G-27	包含層 高坏	包含層 並			細砂粒微量		灰褐色	
76	1G-28	包含層 並	包含層 並		口端外角に圧痕列、胴部内面に横ハケメ、胴部外面に横・右下がりハケメ	砂粒少量		淡赤褐色	

標本No.	遺物No.	出土地点	層位	器種	文様・調整	胎土	焼成	色調	備考
76	1G-29		包含層	高坏		砂粒少量		赤褐色	肌荒れ
76	1G-30		包含層	甕		砂粒少量		淡赤褐色	
76	1G-31		包含層	甕		砂粒少量		暗褐色	肌荒れ
76	1G-32		包含層	高坏		砂粒少量		赤褐色	
76	1G-33		包含層上	山菜碗	底面ナデ、高台つがれて砂粒微	砂粒少量	良好	灰色	

第13表 第2グリッド出土 土器観察表

検出No	遺物No	出土地点	層位	器種	文様・調整	胎土	焼成	色調	備考
77	2G-1	SB-1	連棟埴土	壺		砂粒少量		淡赤褐色	
77	2G-2	SK-5	連棟埴土	壺	樹描横線2段の間に並置縦線帯	砂粒少量	良好	灰黒色	
77	2G-3	SK-5	連棟埴土	壺	樹描横線と貝殻隙線による斜線列	砂粒少量		灰褐色	
77	2G-4	SK-2	連棟埴土	壺	口縁に刻目列	砂粒微量		暗褐色	外面に煤付着
77	2G-5	SK-3	連棟埴土	壺	口縁に刻目列	砂粒少量		淡赤褐色	
77	2G-6	SK-3	連棟埴土	壺	器表に右下がりハケメ	砂粒微量		灰黒色	
77	2G-7	SK-3	連棟埴土	壺		砂粒微量		暗褐色	
77	2G-8	SK-3	連棟埴土	壺	口縁部上面に円形貼付文2個	砂粒微量		赤褐色	
77	2G-9	SK-3	連棟埴土	壺		砂粒微量		灰褐色	口径18.0
77	2G-10	SK-5	連棟埴土	壺		砂粒少量	良好	灰黒色	
77	2G-11	SK-5	連棟埴土	壺	樹描横線の下に樹描縦線	砂粒多し	良好	灰黒色	
77	2G-12	SK-5	連棟埴土	壺	樹描横線と樹の押印による斜線弧文	砂粒多し	良好	灰褐色	
77	2G-13	SK-5	連棟埴土	壺	樹描横線3段の間に並置斜格子文2段	細砂粒微量	良好	灰褐色	
77	2G-14	SK-5	連棟埴土	壺	樹描の横線と波文、器表に左下がりハケメ	砂粒少量	良好	灰黒色	
77	2G-15	SK-5	連棟埴土	壺	口縁部に浅い横線4条	砂粒少量	良好	灰褐色	
77	2G-16	SK-5	連棟埴土	壺	頸部に樹描蓑状文を挟んだ2条の突帯、半截竹管による横線	砂粒微量	良好	淡赤褐色	
77	2G-17	SK-5	連棟埴土	壺	半截竹管による横線と波文、器表に縦ハケメ	砂粒少量		灰黒色	
77	2G-18	SK-5	連棟埴土	壺	樹描横線	砂粒微量	良好	灰褐色	
77	2G-19		包含層	壺	口縁に刻目列	砂粒微量		暗灰褐色	
77	2G-20		包含層	壺	口縁外角に刻目列	砂粒微量		暗灰褐色	
77	2G-21		包含層	壺	口縁部上面に羽状文	砂粒少量		赤褐色	
77	2G-22		包含層	壺	口縁に刻目列、器表に縦ハケメ	砂粒微量	良好	灰褐色	
77	2G-23		包含層	壺		砂粒微量		灰褐色	
77	2G-24		包含層	壺	器表に縦ハケメ	砂粒微量		灰黒色	肌荒れ
77	2G-25		包含層	鉢		砂粒多し		淡赤褐色	

第14表 第3グリップ出土 土器観察表

検出No.	遺物No.	出土地点	層位	器種	文様・調整	胎土	焼成	色調	備考
76	3G-1	SK-1	遺構埋土	壺	口端に梅の押染による斜線列、口縁部上面に羽状文、口頸部にハケメ、頸部に1条の突帯	砂粒少量		灰褐色	口径18.6、頸径12.0
76	3G-2	SK-1	遺構埋土	壺	口端に刻目列、頸部に左下がり条痕	細砂粒少量		灰褐色	器表に煤付着
76	3G-3	SK-1	遺構埋土	高坏	器表縦ミガキ、3孔あり	細砂粒少量		明灰褐色	脚高11.0、底径14.0
76	3G-4	SK-1	遺構埋土	高坏	頸部部に磨擦横線、3孔あり	細砂粒多量		明灰褐色	
76	3G-5	SK-3	遺構埋土	壺	磨擦横線、3孔あり	細砂粒多量		灰褐色	
76	3G-6	SK-3	遺構埋土	壺	磨擦の波文と横線、磨擦斜格子文	細砂粒多量		灰褐色	
76	3G-7	SK-3	遺構埋土	壺	口縁部上面に磨擦波文	細砂粒微量	良好	明灰褐色	
76	3G-8	SK-3	遺構埋土	壺	磨擦横線と梅による斜線列	砂粒微量		灰褐色	残存高15.5、脚径19.7、底径5.6
76	3G-9	SK-3	遺構埋土	壺	器表にハケメ	砂粒微量		灰褐色	底径5.5
76	3G-10	SK-3	遺構埋土	高坏		細砂粒微量		明灰褐色	
76	3G-11	SK-3	遺構埋土	高坏		細砂粒微量		灰褐色	
76	3G-12	SK-3	遺構埋土	壺	器表に縦ハケメ	細砂粒微量	良好	灰褐色	
76	3G-13	SK-3	遺構埋土	壺	口縁部外面に横ハケメ、胴部外面に縦ハケメ	細砂粒多量		淡赤褐色	器表に煤付着
76	3G-14	SK-3	遺構埋土	壺	器表にハケメ	砂粒微量		灰褐色	9と同一個体?
76	3G-15	SK-4	SD6上層	壺	器表に縦ハケメ	砂粒多量	良好	暗赤褐色	
76	3G-16	SK-4	SD6上層	壺	口端に刻目列	細砂粒少量		灰褐色	
76	3G-17	SK-4	SD6上層	壺	口端に刻目列	細砂粒少量		灰褐色	
76	3G-18	SK-4	SD6上層	壺	口端に4条の横線、口縁部上面に羽状文	砂粒多量		灰褐色	
76	3G-19	SK-4	SD6上層	壺	口端に3条の横線、口縁部上面に梅の刺突による羽状文	砂粒多量		灰褐色	
76	3G-20	SK-4	SD6上層	壺	ハケメ上に磨擦横線と磨擦波文と磨擦斜線列	細砂粒微量		灰褐色	
76	3G-21	SK-4	SD6上層	壺		細砂粒少量		灰褐色	黒斑あり、脚径22.2、底径5.8
76	3G-22	SK-4	SD6上層	甕形壺	器表縦ミガキ	細砂粒微量		赤褐色	
76	3G-23	SK-4	SD6上層	甕形壺		細砂粒微量		赤褐色	22と同一個体?
76	3G-24	SK-4	SD6上層	高坏	器表縦ミガキ	細砂粒少量		灰褐色	口径22.0、杯高12.0
76	3G-25	SK-4	SD6上層	高坏	器表縦ミガキ	細砂粒微量		灰褐色	
76	3G-26	SK-4	SD6上層	高坏	器表縦ミガキ	細砂粒少量		灰褐色	肌荒れ、口径21.4、杯高9.6
76	3G-27	SK-4	SD6上層	高坏	器表縦ミガキ、3孔あり	細砂粒微量		灰褐色	

79	3G-28	SK-4	変	胴部外面にハケメ	細砂粒少量	淡茶褐色	器表に煤付層
79	3G-29	SK-4	変	SD6上層	細砂粒少量	灰褐色	黒斑あり
79	3G-30	SK-4	変	胴部にハケメ	細砂粒少量	淡茶褐色	
79	3G-31	SK-4	変	SD6上層	細砂粒少量	灰褐色	
79	3G-32	SK-4	変	SD6上層	細砂粒少量	灰褐色	
79	3G-33	SK-4	変	SD6上層	砂粒少量	灰褐色	
79	3G-34	SK-4	変	SD6上層	細砂粒少量	灰褐色	
80	3G-35	SD-1	変	連構埋土	細砂粒微量	灰褐色	
80	3G-36	SD-1	変	連構埋土	砂粒多量	良好	
80	3G-37	SD-1	変	連構埋土	細砂粒少量	良好	
80	3G-38	SD-1	変	連構埋土	細砂粒少量	良好	
80	3G-39	SD-1	変	連構埋土	細砂粒少量	良好	
80	3G-40	SD-1	変	連構埋土	細砂粒多量	良好	
80	3G-41	SD-1	変	連構埋土	砂粒多量	灰褐色	
80	3G-42	SD-1	変	連構埋土	砂粒多量	灰褐色	
80	3G-43	SD-1	変	連構埋土	砂粒多量	良好	黒斑あり
80	3G-44	SD-1	変	連構埋土	細砂粒少量	茶褐色	
80	3G-45	SD-1	変	連構埋土	砂粒少量	灰褐色	
80	3G-46	SD-1	変	連構埋土	砂粒少量	良好	
80	3G-47	SD-1	変	連構埋土	砂粒少量	灰褐色	
80	3G-48	SD-1	変	連構埋土	砂粒多量	赤褐色	肌荒れ
80	3G-49	SD-1	変	連構埋土	砂粒多量	灰褐色	
80	3G-50	包含層	変	連構埋土	砂粒多量	灰褐色	同一個体の破片にSD-1出土あり
80	3G-51	包含層	変	連構埋土	細砂粒微量	灰褐色	肌荒れ
80	3G-52	SD-1	変	連構埋土	細砂粒少量	灰褐色	肌荒れ
80	3G-53	SD-1	変	連構埋土	砂粒少量	良好	
80	3G-54	SD-1	変	連構埋土	細砂粒多量	灰褐色	肌荒れ
80	3G-55	SD-1	変	連構埋土	細砂粒多量	赤褐色	残存高9.8、口径10.8、頸径7.8
81	3G-56	SD-1	変	連構埋土	砂粒少量	灰褐色	黒斑あり
81	3G-57	SD-1	変	連構埋土	細砂粒多量	良好	胴径13.3、底径4.5

棟号No.	遺物No.	出土地点	層位	器種	文様・調整	胎土	焼成	色調	備考
81	3G-58	SD-1	遺構埋土	甕形壺	二枚瓦の敷縁による下弦の透弧文2段	細砂粒少量		赤褐色	残存高12.3、胴径14.6、底径5.5
81	3G-59	SD-1	遺構埋土	壺	器表に右下がりハケメ	砂粒少量		灰褐色	黒斑あり
81	3G-60	SD-1	遺構埋土	埴		細砂粒微量		灰褐色	器高4.7、口径7.7、胴径8.8、底径3.1
81	3G-61	SD-1	遺構埋土	鉢	口縁部に施による斜圧痕列	砂粒微量		赤褐色	
81	3G-62	SD-1	遺構埋土	高坏	器表縦ミガキ、胴頭部に彫描横線、3孔あり	細砂粒微量		灰褐色	器高21.8、口径23.0、胴高10.6、底径12.8
81	3G-63	SD-1	遺構埋土	高坏		砂粒微量		赤褐色	肌荒れ、復元口径24.0
81	3G-64	SD-1	遺構埋土	高坏		砂粒微量		赤褐色	肌荒れ
81	3G-65	SD-1	遺構埋土	高坏	2孔あり(3孔?)	砂粒微量		淡赤褐色	肌荒れ
81	3G-66	SD-1	遺構埋土	高坏	縦ハケメをナデ消、2孔あり(3孔?)	砂粒微量		赤褐色	肌荒れ
81	3G-67	SD-1	遺構埋土	高坏	胴頭部に縦描の横線4条、円孔2対	砂粒微量		淡赤褐色	肌荒れ
81	3G-68	SD-1	遺構埋土	高坏		砂粒微量		赤褐色	肌荒れ
82	3G-69	SD-1	遺構埋土	高坏	胴頭部に彫描横線、円孔2段(上段4孔、下段2孔)	砂粒微量		淡赤褐色	肌荒れ、胴高10.0、底径13.3
82	3G-70	SD-1	遺構埋土	高坏	胴頭部に彫描横線、3孔あり	砂粒微量		赤褐色	
82	3G-71	SD-1	遺構埋土	高坏	3孔あり	砂粒微量		赤褐色	肌荒れ
82	3G-72	SD-1	遺構埋土	高坏	胴頭部に彫描横線、3孔あり	砂粒少量		赤褐色	
82	3G-73	SD-1	遺構埋土	甕		砂粒少量		暗赤褐色	
82	3G-74	SD-1	遺構埋土	甕		微砂粒少量		灰褐色	肌荒れ
82	3G-75	SD-1	遺構埋土	甕		砂粒少量		灰褐色	
82	3G-76	SD-1	遺構埋土	甕	口縁部内外面に横ハケメ	微砂粒少量		灰褐色	肌荒れ
82	3G-77	SD-1	遺構埋土	甕		砂粒少量		灰褐色	
82	3G-78	SD-1	遺構埋土	甕	器表に右下がりハケメ	砂粒多し		暗灰褐色	復元口径25.3、胴径28.4
82	3G-79	SD-1	遺構埋土	甕	器表に横ハケメ	微砂粒少量		灰褐色	
82	3G-80	SD-1	遺構埋土	甕	口縁部に横ハケメ、上胴部に彫描横線と圓の圧痕列、器表に右下がりハケメ	砂粒多し		暗灰褐色	口径18.5、胴径22.4
82	3G-81	SD-1	遺構埋土	甕	器表にハケメ	砂粒少量		灰褐色	台高4.0、底径7.6
82	3G-82	SD-1	遺構埋土	甕		砂粒多し		暗灰褐色	台高4.8
83	3G-83	SD-2	遺構埋土	甕	口縁に刻目列、口縁部に横	砂粒多し		良好 灰黒色	
83	3G-84	SD-2	遺構埋土	甕	口縁に圧痕列、彫描の横線と波文	砂粒少量		良好 灰褐色	黒斑あり
83	3G-85	SD-2	遺構埋土	甕	口縁部に3条の横線、口頸部にハケメ	細砂粒微量		良好 灰褐色	
83	3G-86	SD-2	遺構埋土	甕		砂粒多し		良好 暗灰色	

83	3G-87	SD-2	連構埋土	変	蛇体状の節理破面	砂粒少量	良好	暗灰褐色	黒斑あり
83	3G-88	SD-2	連構埋土	高坏	口縁部に5条の構線	砂粒多し		暗灰色	別変れ
83	3G-89	SD-2	連構埋土	変	口縁に斜目列、彫部縦ハケメ	砂粒少量	良好	灰褐色	
83	3G-90	SD-2	連構埋土	変	口縁に羽状文、口縁部内外面縦ミガキ	細砂粒少量	良好	灰褐色	黒斑あり
83	3G-91	SD-2	連構埋土	変	口縁に上面に斜線列、口縁部に縦位のハケメ	砂粒多量	良好	暗灰褐色	
83	3G-92	SD-2	連構埋土	変	口縁に1条の構線、口縁部に縦ハケメ	砂粒微量		灰褐色	
83	3G-93	SD-2	連構埋土	変	樹描の構線と樹による斜線列	細砂粒少量		灰褐色	
83	3G-94	SD-2	連構埋土	変	樹描の構線と樹による斜線列	砂粒微量		灰褐色	
83	3G-95	SD-2	連構埋土	変	樹描の構線と樹による斜線列	細砂粒微量		灰褐色	
83	3G-96	SD-2	連構埋土	変	樹描の構線と樹による斜線列	細砂粒微量		灰褐色	
83	3G-97	SD-2	連構埋土	変	樹描の構線と波文	細砂粒微量		灰褐色	
83	3G-98	SD-2	連構埋土	変	樹描の構線と波文、樹による斜線列	細砂粒微量		灰褐色	
83	3G-99	SD-2	連構埋土	変	樹描の構線と波文	砂粒少量		淡赤褐色	
83	3G-100	SD-2	連構埋土	変	具稜の腹縁による下弦連弧文4段	細砂粒微量		灰茶褐色	口縁部高11.0、口径13.4、
83	3G-101	SD-2	連構埋土	変	具稜の腹縁による下弦連弧文2段	細砂粒微量		灰褐色	101と同一個体？、調径12.2
83	3G-102	SD-2	連構埋土	変	口縁部に圧痕列を加えた量、縁の下にハケメ	砂粒少量		灰褐色	
83	3G-103	SD-2	連構埋土	変	口縁部縦ミガキ	砂粒少量		灰褐色	
83	3G-104	SD-2	連構埋土	高坏	器表縦ミガキ、4孔あり	砂粒微量		灰褐色	
83	3G-105	SD-2	連構埋土	変	胴部にハケメ	細砂粒微量		灰褐色	
84	3G-106		包含層	変	樹描波文と下弦の連弧文	砂粒多量	良好	灰黒色	
84	3G-107		包含層	変	樹描帯を樹描縦線で切り、下に樹描下弦連弧文	砂粒多し	良好	灰黒色	
84	3G-108		包含層	変	樹描連弧文	細砂粒少量		淡赤褐色	
84	3G-109		包含層	変	樹描の下弦連弧文と上弦連弧文の組合	砂粒多量	良好	灰褐色	黒斑あり
84	3G-110		包含層	変	樹描の下弦連弧文と構線	砂粒多量	良好	灰黒色	
84	3G-111		包含層	変	樹描の下弦連弧文と構線	砂粒多し	良好	灰褐色	
84	3G-112		包含層	変	樹描の下弦連弧文	細砂粒多量		灰褐色	
84	3G-113		包含層	変	樹描の下弦連弧文に縦位の樹刺突文列を加える	砂粒多量		灰褐色	
84	3G-114		包含層	変	樹描の下弦連弧文に縦位の樹刺突文列を加える	砂粒少量	良好	灰褐色	
84	3G-115		包含層	変	樹描の下弦連弧文	砂粒多量		灰黒色	
84	3G-116		包含層	変	樹描の下弦連弧文	砂粒少量	良好	灰褐色	
84	3G-117		包含層	変	樹描の縦波文と構線	砂粒多量		灰褐色	

持田No.	遺物No.	出土地点	層位	器種	文様・調整	胎土	焼成	色調	備考
84	3G-118		包含層	壺	平行横線と櫛描波文	砂粒少量		灰褐色	
84	3G-119		包含層	壺	虎槽上弦連弧文に縦位の短線列を加える	砂粒多量		灰褐色	
84	3G-120		包含層	壺	高槽横線	細砂粒少量		灰褐色	
84	3G-121		包含層	壺	櫛描波文帯の間に菱槽斜格子文帯	砂粒少量	良好	灰色	
84	3G-122		包含層	壺	櫛描波文状下弦連弧文	砂粒少量	良好	灰褐色	
84	3G-123		包含層	壺	櫛描波文状下弦連弧文	砂粒少量	良好	灰褐色	123と同一個体?
84	3G-124		包含層	壺	櫛描横線2段	砂粒少量		灰白色	
84	3G-125		包含層	高坏		砂粒少量	良好	灰褐色	
84	3G-126		包含層	壺	口縁外角に刻目列	砂粒多し	良好	暗灰褐色	
84	3G-127		包含層	壺	口縁外角に刻目列	砂粒多量		暗灰褐色	
85	3G-128		包含層	壺	口縁に刻目列	砂粒少量	良好	灰褐色	
85	3G-129		包含層	壺	口縁に浅い横線、口縁部上面に圧痕列	砂粒多量		灰褐色	肌荒れ
85	3G-130		包含層	高坏	口縁部に櫛描横線	細砂粒多量		明赤褐色	
85	3G-131		包含層	壺	口縁と口縁部上面に短斜線列	砂粒多量		灰褐色	
85	3G-132		包含層	壺	櫛描の横線と波文	細砂粒微量		淡赤褐色	
85	3G-133		包含層	壺	櫛描の横線と波文	細砂粒多量		灰褐色	
85	3G-134		包含層	鉢	器表にハケメ	細砂粒多量		灰褐色	
85	3G-135		包含層	高坏	胴部面に櫛描斜格子文帯2段と斜線帯2段	細砂粒微量		淡赤褐色	
85	3G-136		包含層	高坏	胴部面に櫛描横線	細砂粒微量		淡赤褐色	
85	3G-137		包含層	高坏	胴部面に櫛描横線	細砂粒微量		淡赤褐色	
85	3G-138		包含層	壺		細砂粒少量		灰褐色	肌荒れ
85	3G-139		包含層	高坏		細砂粒微量		淡赤褐色	肌荒れ
85	3G-140		包含層	高坏	胴部面に櫛描横線、3孔あり	細砂粒微量		淡赤褐色	肌荒れ
85	3G-141		包含層	高坏	胴部面に櫛描横線、3孔あり	細砂粒多量		赤褐色	肌荒れ
85	3G-142		包含層	高坏		細砂粒微量		淡赤褐色	肌荒れ
85	3G-143		包含層	高坏		細砂粒多量		灰褐色	
85	3G-144		連槽埋土	壺	口縁部上面に押引文列、頸部に突帯・条	砂粒少量	良好	灰褐色	黒斑ありSD-1?
85	3G-145		包含層	壺	口縁部内面・胴部外面にハケメ	細砂粒少量	良好	灰褐色	
85	3G-146		包含層	壺	口縁部に横・上胴部に櫛描横線、左下がりハケメ	細砂粒少量	良好	暗灰褐色	
85	3G-147		包含層	台付甕	器表にハケメ	砂粒少量	良好	灰褐色	

85	3G-148		包含層	台付蓋	器表にハケメ、台端部は横ナデ	砂粒多し	良好	暗褐色	
85	3G-149		包含層	碗	内外面に施釉	細砂粒少量	良好	淡青灰色	

第15表 第4グリッド出土 土器観察表

拝図No	遺物No	出土地点	層位	器種	文様・調整	胎土	地成	色調	備考
86	4G-1	SD-1	遺構埋土 壺	櫛歯の直線と弧文		砂粒少量		灰黒色	
86	4G-2	SD-1	遺構埋土 壺	櫛歯部に荒描垂弧文		砂粒少量		灰黒色	
86	4G-3	SD-1	遺構埋土 壺	頸部に円形刺突文列、上胴部に櫛歯の横線と波文		砂粒微量	良好	青灰褐色	
86	4G-4	SD-1	遺構埋土 壺	櫛歯の横線と波文		砂粒微量	良好	灰褐色	
86	4G-5	SD-1	遺構埋土 壺	櫛歯の横線と波文		砂粒少量		淡赤褐色	
86	4G-6	SD-1	遺構埋土 壺	櫛歯横線		砂粒少量	良好	灰黒色	
86	4G-7	SD-1	遺構埋土 壺	櫛歯横線		砂粒少量	良好	明灰褐色	
86	4G-8	SD-1	遺構埋土 壺	櫛歯波文		砂粒微量		灰褐色	
86	4G-9	SD-1	遺構埋土 壺			砂粒少量		灰褐色	肌荒れ
86	4G-10	SD-1	遺構埋土 壺	口部に3条の横線、口縁部上面に円形刺突文2列		砂粒多し	良好	青灰色	
86	4G-11	SD-1	遺構埋土 壺	口縁部上面に円錐形貼付文4個1組を4箇所、頸部に1条の突帯		砂粒少量	良好	淡赤褐色	
86	4G-12	SD-1	遺構埋土 壺	頸部に1条の突帯		砂粒少量	良好	赤褐色	
86	4G-13	SD-1	遺構埋土 壺	上下を刺突文列で画された管描羽状文		砂粒少量		明灰褐色	
86	4G-14	SD-1	遺構埋土 壺	頸部に円形刺突文3列の間に突帯2条、上胴部に櫛歯の横線と波文		砂粒少量	良好	灰褐色	黒斑あり
86	4G-15	SD-1	遺構埋土 高坏			砂粒少量		赤褐色	肌荒れ、復元口径19.4
86	4G-16	SD-1	遺構埋土 高坏	櫛歯横線		砂粒少量		灰褐色	肌荒れ
86	4G-17	SD-1	遺構埋土 壺			砂粒微量		暗灰褐色	
86	4G-18	SD-1	遺構埋土 附付蓋?	胴部面に櫛歯横線、器表縦ミガキ		砂粒微量		灰褐色	
86	4G-19	SD-1	遺構埋土 高坏	縦ミガキ、3孔あり		細砂粒少量		灰褐色	
86	4G-20	SD-1	遺構埋土 台付甕	器表にハケメ		砂粒多量	良好	暗灰褐色	台高5.6、底径10.8

第16表 表様土器観覧表

検出No.	遺物No.	出土地点	層位	器種	文様・調整	胎土	焼成	色調	備考
87	表-1	江川河床		壺	頸部に磨港模線	砂粒少量	良好	灰褐色	伊藤恵採集
87	表-2	太田家南		壺	磨港模線の下に曲刺突による点線状磨文が2段、全面に右下がりハケメ	砂粒少量	良好	灰褐色	
87	表-3	太田家南		高坏	口縁に短斜線列、口縁部に磨港の連文状波文、皿部外面に磨ハケメ	砂粒少量	良好	灰褐色	
87	表-4	太田家南		山茶碗	見込を除く内面全体に磨灰、底面ナデ	砂粒微量	良好	青灰色	高台に砂粒、磨高5.8、口径16.4、台径7.3
87	表-5	太田家南		山茶碗		砂粒微量	良好	青灰色	復元口径15.6
87	表-6	太田家南		山茶碗	底面ナデ	砂粒少量	良好	青灰色	高台に磨港模、台径6.9
87	表-7	太田家南		山茶碗	底面ナデ、見込を除く内面全体に磨灰	砂粒少量	良好	青灰色	高台に磨港模、台径8.2
87	表-8	太田家南		山茶碗	底面ナデ、見込を除く内面全体に磨灰	砂粒少量	良好	青灰色	高台に磨港模、磨高5.1、台径7.1
87	表-9	太田家南		山茶碗	底面ナデ	砂粒微量	良好	青灰色	高台に砂粒模、磨高5.8、台径7.5
87	表-10	太田家南		山茶碗	底面ナデ	砂粒微量	良好	青灰色	高台に砂粒模、台径7.4
87	表-11	太田家南		山茶碗	底面ナデ	砂粒少量	良好	青灰色	高台に砂粒模、台径7.1
87	表-12	太田家南		山茶碗	底面ナデ	細砂粒微量	良好	青灰色	高台に砂粒模、台径7.1
87	表-13	太田家南		山茶碗	底面ナデ	砂粒少量	良好	青灰色	高台に砂粒模、台径7.1
87	表-14	太田家南		山茶碗	底面ナデ、高台の薄れ少	砂粒微量	良好	青灰色	高台に砂粒模、台径7.6
87	表-15	太田家南		山茶碗	底面糸切、高台の薄れ少	砂粒微量	良好	青灰色	糸切順、高台に砂粒模、台径7.5
87	表-16	太田家南		壺		砂粒微量	良好	青灰色	
87	表-17	太田家南		甕	格子文	砂粒少量	良好	暗青灰色	
87	表-18	太田家南		甕	格子文	砂粒少量	良好	青灰色	
87	表-19	太田家南		支脚?		砂粒なし		灰白色	直径2.6、長さ5.9(露出部4.7)

第5章 土製品

1、土鍾（表第17、挿図第88）

3トレンチ・5グリッドの調査地点のうち、土鍾が出土したのは第1トレンチと第3トレンチである。出土総数は25個で、第1トレンチ9個、第3トレンチ16個である。25のみが土壌出土で、他は包含層出土である。

(1) 大型土鍾

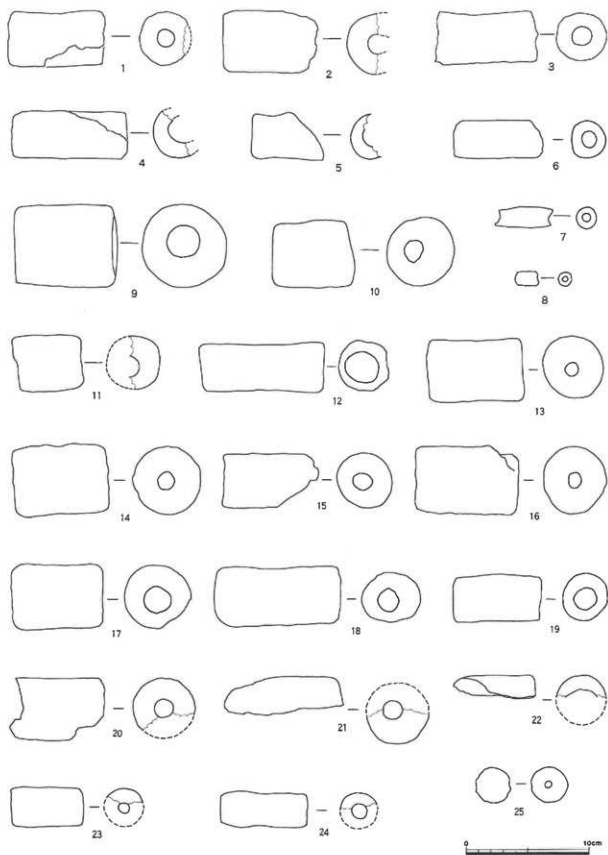
出土した土鍾25例のうち円筒状を呈する大型土鍾は22個で、比率は88%を占めている。長さは計測可能な17例について四捨五入して10mm単位で分布を見ると、60mmが2個で11.8%、70mmが6個で35.3%、80mmが5個で29.4%、90mmは1個で5.9%、100mmは3個で17.6%になる。

外径は計測が可能な21例について法量を四捨五入して10mm単位の分布をみると、10mmは1個で4.8

表第17 土鍾一覧表

(単位はmm・g)

遺物No	出土地点	層位	形状	長さ	外径	孔径	重量	備考
1	1T、160m	包含層	円筒形	65	45	13	101.1	
2	1T、16m	包含層	円筒形		49	17	111.5	
3	1T、161～185m	包含層	円筒形	79	40	16	157.0	完形・孔の一端歪み顕著
4	1T、30.5m	黄褐色シルト層	円筒形	93			81.0	
5	1T、10m	包含層	円筒形		35		38.2	
6	1T、165m	包含層	円筒形	68	32	13	71.0	
7	1T、30m	包含層	円筒形		17	7	10.4	
8	1T、29.7m	包含層	円筒形		12	5	2.7	
9	3T、11区	包含層	円筒形	80	67	20	411.0	
10	3T、11区	包含層	円筒形	67	54	14	238.0	完形
11	3T、11区	包含層	円筒形		42	15	68.5	
12	3T、8区	包含層	円筒形	97	40	26	146.2	
13	3T、10区	包含層	円筒形	76	51	13	269.0	完形
14	3T、10区	包含層	円筒形	77	54	14	312.0	完形
15	3T、10区	包含層	円筒形	74	43	15	145.4	
16	3T、10区	包含層	円筒形	82	54	13	285.0	
17	3T、10区	包含層	円筒形	73	54	20	220.0	完形
18	3T、10区	包含層	円筒形	100	47	17	220.0	完形
19	3T、10区	包含層	円筒形	69	35	19	91.5	完形
20	3T、9区	包含層	円筒形		55	18	101.0	
21	3T、10区	包含層	円筒形	95	57	16	116.0	
22	3T、10区	包含層	円筒形	58			39.2	
23	3T、9区	包含層	円筒形	57	29		38.8	
24	3T	包含層	円筒形					
25	1T、SK-69	包含層	円球形				22.4	完形



挿図第88 土製品実測図

%, 20mmは1個で4.8%, 30mmは2個で9.5%, 40mmは6個で28.6%, 50mmは8個で38.1%, 60mmは2個で9.5%, 70mmは1個で4.8%である。

重量は完形の7個のうち最も重いのが14の312.0g、最も軽いのが19の91.5g、平均が215.4gである。9は一部が欠失しているが411.0gを計ることが出来る。

孔は竹管状の器具に粘土を巻き付けることによって穿たれたようで面が滑らかである。中にはひしゃげたり、両端が拡大したものもある。径は最小13mmから最大26mmまでまちまちで、太さと孔径とは無関係のように観察される。

(2) 小型土錘

土錘25例中に7・8の2個が存在した。比率で見れば8%である。完形品は存在しないが、中央部が膨らんだ筒形をなす。太さが15mm前後、推定される長さは50mm～60mmである。

(3) 丸形土錘

25例中1個のみで、比率でいえば4%である。

第6章 木製品・木材

木質遺物は第1トレンチの東端部、第3トレンチ東端部、第2グリッドSK-5、第3グリッドSD-2、第4グリッドのSD-1から出土した。

第1節 木製品

1、木製品

樹脂の含浸を終えており、樹種の同定は肉眼観察によった（註1）。

（1）小形丸木船（挿図第89の1、巻頭図版第11、図版第57の1）

第4グリッドSD4G-1の溝底から出土した。ミニチュアの丸木船で、材質は針葉樹である。艀内の一部と舷の大部分を欠失している。舟内部は艀先側を鋭く艀側は緩やかに尖らせて40mm～45mmほど挟り、舷・舟底ともに10mm前後の厚さに仕上げている。艀先は横からみて上端に丸く、下部が弧上に作られており、先端に円孔が穿たれている。艀は下端を丸くして上部は垂直に作られていたようである。舟底はほぼ平で内部の扶拔きと同形であるが、艀先側の150mm・艀側で100mm前後が軽い上反りに作られている。舟の全面には木目が強く現われており、上面と底面では柁目が、側面では板目が鮮やかである。

（2）高坏（挿図第89の2、巻頭図版第9の4・5、図版第56の2）

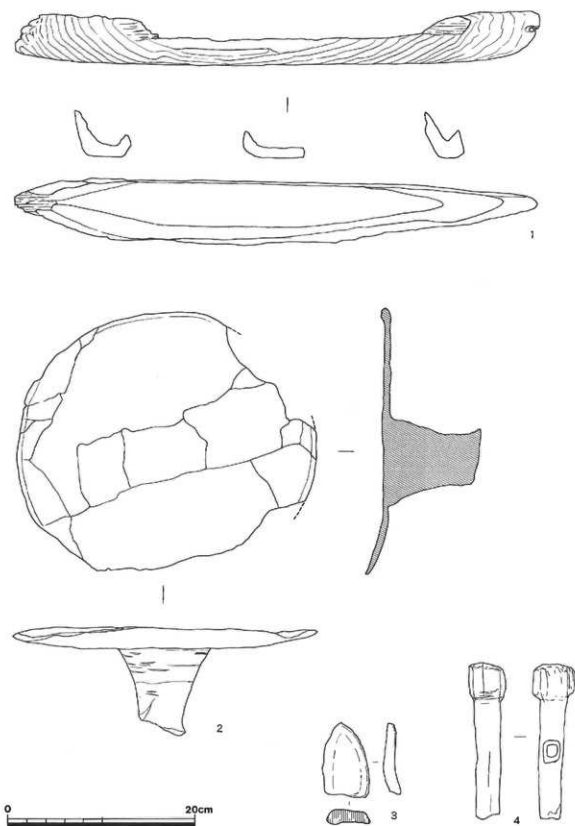
第4グリッドSD4G-1の溝底から出土した。材質は針葉樹？で盤状の坏部に脚が付いているが、脚の下半部は欠失している。脚の残存部は土製の高坏と異なり逆円錐台形を呈しており、鼓形の脚であったと推定される。くびれ部には2条の沈線が僅かに残存している。坏部は皿状に作られ現状で19mmほどの深さをもっており、口縁は内角が面取りされている。坏部の上面には直線状の木目がきれいに並び、脚部の側面には緩やかな弧状を呈する木目が見られる。木目の状態から原木は相当の大本と推定され、坏部の上面を柁目とするための計画的な木取りの存在が想定される。

（3）杏葉形木製品（挿図第89の3、図版第57の3）

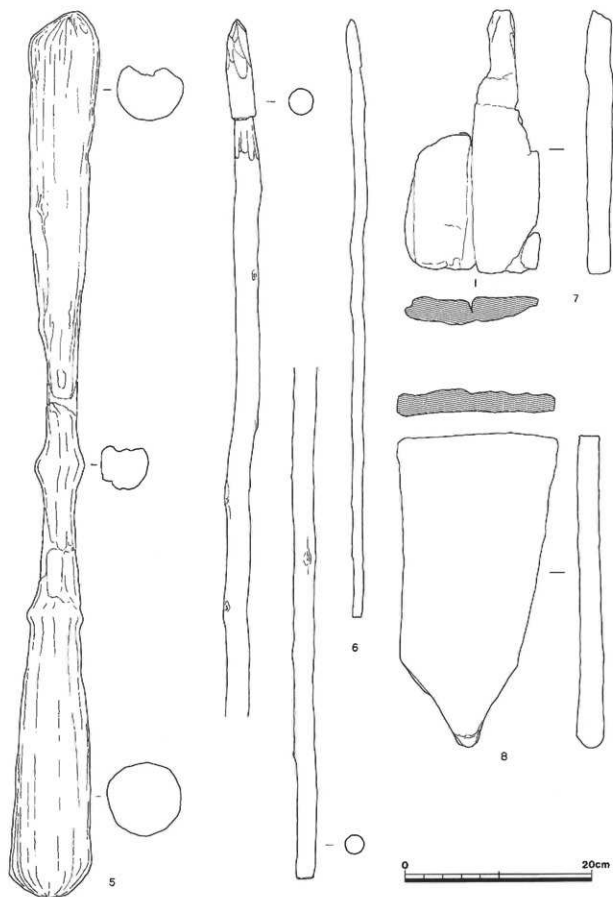
第4グリッドSD4G-1の溝底から出土した。針葉樹製で、胴丸型の杏葉に似た形状をもつ。内側に軽く彎曲して両側面は丸く面取りされている。柁目を呈するように木取りされており、直線状を呈する縁部では垂直に並ぶ木目が鮮明に観察できる。

（4）柄状木製品（挿図第89の4、巻頭図版第12の1、図版第57の2）

第2グリッドSK2G-5の底部から出土した。材質は広葉樹で、切損しているため全形は不明である。切断した丸木的一端30mm前後を柄頭状に残している。その一面には丸みをもつ木表が残っており、切断面では同心円状の木目が観察できる。身は角柱状に仕上げられており、端から87mm～105mmにかけて不整形の孔を穿っている。



挿図第89 木製品実測図 (1)



挿図第90 木製品実測図 (2)

表第18 木製品観察表

(単位mm)

遺物No.	出土地点	層位	器種	長さ	高さ	幅	厚さ	太さ	材質	備考
1	4G	溝底	船	555	59	74			針葉樹	
2	4G	溝底	高杯		125	327			針葉樹?	
3	4G	溝底	杏葉形 木製品	82		48	16		針葉樹?	
4	2GSK-5	埋土	柄?	171		45	40		針葉樹?	切損
5a	4G	溝底	杵頭	420		81	76		針葉樹?	発掘時の全長97cm
5b	4G	溝底	杵柄	181		51	41		針葉樹?	
5c	4G	溝底	杵頭	307		89	87		針葉樹?	
6	4G	溝底	楡形 木製品	1272		28	27		広葉樹?	
7	4G	溝底	未成品	215		108	20		針葉樹	
8	4G	溝底	未成品	256		129	22		クスノキ	
9	1T	汀線	曲物	?		?	30		ヒノキ?	XI層上面

(5) 堅杵(挿図第90の5、巻頭図版第10、図版第56の1)

第4グリッドSD4G-1の溝底から出土した。針葉樹製で、両頭で中央の握り部は3箇所の鐫状突帯によって二つに分割されている。杵頭部の5aは最大径42mm、鐫の頂部までの長さ340mm。5cは最大径87mm、鐫までの長さ307mmで、両者の規模が相異なることが注意される。頭面は何れも中央部が突出しており、使用角度が推測される。溝底に接していた部分は腐食が進行しており、取り上げ時に切損して3個体になり、保管中に断面が磨耗して現在は接合が困難になっている。出土時の実測図によると全長は970mmである。

(6) 楡形木製品(挿図第90の6、巻頭図版第9の1~3、図版第58)

第4グリッドSD4G-1の溝底から出土した。直径25mm前後の広葉樹?の丸木から、根元の方が穂先に、先端の方が石突きになるように木取りされている。穂先は鋭い刃物で7~8回のケズリを加えて作り、蟻蛄首は柄側からの細かな削りと穂側の垂直の切り込みによって作り出されている。柄は枝を除去したのみで、枝基部の影を残している。石突きは丸く面取りされているが、面が荒く使用による磨耗の可能性もある。

(7) 曲物(図版第59の1)

第1トレンチ東端部の165m付近においてXI層下面から出土した。断片であるため実測図を作製せず、写真で示すことにした。材質はヒノキ?で、柾目取りした板が使用されており、厚さは水漬けの状態で5mm程である。残存部の最大幅は82mmで、長さは不明である。一面には木目に直交した鋸目が6~12mmの間隔で加えられている。鋸目が部分的でなく全面に加えられている点から、円形の曲げ物の一部と推測される。層序から推定して古代以降の遺物であろう。

2、未完成品(挿図第90の7・8、巻頭図版第12の2・3 図版第60の2)

7・8ともに第4グリッドSD4G-1の溝底から出土した。7は厚さが20mmほどの板目の針葉樹

の板材から杓文字状に木取りされている。身にあたる部分の一部が欠失している。8は厚さが20mm前後の針葉樹の板目の板材から将棋の駒形に木取りされている。

第2節 木材等

1、加工木材（図版第59の2～66の1、表第19）

木材については実測図を作成せず、写真に番号を付けて示すことにした。

(1) 樹種の同定にあたって、プレオ・ラボに同定を依頼しプレバートを作製したものは次の7点である。

2の組織写真は図版68の4a～4cで、樹種はクリである。

9の組織写真は図版67の7b～7cで、樹種は針葉樹の一種である。

12の組織写真は図版61の2a～2cで、マツ属複雑管束亜属である。

16の組織写真は図版62の5a～5cで、樹種はクスノキである。

36の組織写真は図版65の3a～3cで、ヒノキ科の一種である。

42の組織写真は図版65の6aで、広葉樹の一種である。

44の組織写真は図版65の1a～1cで、イヌガヤの一種である。炭化部が存在する丸木材で、いわゆる薪の燃え残りである。

(2) 岩本が顕微鏡観察と肉眼観察によって樹種の同定を行なったものは表第19の残り46点のうち41点である。

8・10・28はクリ、11・13・15の樹種はクスノキである。6・17・18・19・22・23・24・25・27・52は広葉樹。1・14・37・39は広葉樹？である。3・21・29・33・34・35・43・47・48・49・53は針葉樹。4・5・7・20・40・41・45・46・50・51は針葉樹？である（註1）。(1)を加えた総検体48のうち広葉樹23(47.9%)、針葉樹25(52.1%)となる。

このうち43は炭化部が存在する丸木材で、薪の燃え残りである。45～51は43と同様で、薪の燃え残りである。52は板目取りされた厚さ14mm～35mm、幅90mm前後、長さ350mmほどの板材である。53は板目取りされた厚さ35mm前後、幅140mmほどで、折損のため長さ不明の板材である。表裏ともに細かな波形のひび割れが全面に生じている。

2、果実

54（図版第66の2）はヒョウタンの下半部である。出土したときには碗状をなしていたが、保管中に破損して樹脂含浸時には現状と化していた。

註1 同定にあたっては顕微鏡観察が可能な方法もあるが、特に保存処理済のものに関しては難しい状況であったため、肉眼観察によった。同定に際しプレオ・ラボ（横田弥生氏）の同定結果を参考とした。（岩本）

表第19 木材等観察表

(単位mm)

No.	地点	遺構	層位	材形	樹種	備考
1	2G	SK5	底部		広葉樹?	木口確認できず。
2	2G	SK5	底部		クリ	4a~4c
3	2G	SK5	底部	細角材	針葉樹	
4	2G	SK5	底部	細角材	針葉樹?	
5	2G	SK5	底部		針葉樹?	
6	2G	SK5	底部		広葉樹	
7	3G	SD2	溝底	細角材	針葉樹?	
8	3G	SD2	溝底	細角材	クリ	
9	3G	SD2	溝底	細角材	針葉樹	7a~7c
10	4G	SD1	溝底	厚板材	クリ	
11	4G	SD1	溝底	厚板材	クスノキ	
12	4G	SD1	溝底	厚板材	マツ属複維管束亜属	2a~2c
13	4G	SD1	溝底	厚板材	クスノキ	
14	4G	SD1	溝底	厚板材	広葉樹?	
15	4G	SD1	溝底	厚板材	クスノキ	
16	4G	SD1	溝底		クスノキ	5a~5c
17	4G	SD1	溝底		広葉樹	(クスノキ?)
18	4G	SD1	溝底		広葉樹	(クスノキ?)
19	4G	SD1	溝底		広葉樹	(クスノキ?)
20	4G	SD1	溝底		針葉樹?	
21	4G	SD1	溝底		針葉樹	
22	4G	SD1	溝底		広葉樹	(クスノキ?)
23	4G	SD1	溝底	細角材	広葉樹	
24	4G	SD1	溝底	細角材	広葉樹	(クリ?)
25	4G	SD1	溝底	細角材	広葉樹	
26	4G	SD1	溝底			遺物確定できず
27	4G	SD1	溝底	板材	広葉樹	
28	4G	SD1	溝底	細角材	クリ	
29	4G	SD1	溝底		針葉樹	炭化
30	4G	SD1	溝底			不明
31	4G	SD1	溝底			不明
32	4G	SD1	溝底			不明
33	4G	SD1	溝底		針葉樹	
34	4G	SD1	溝底	丸木材	針葉樹	一部炭化
35	4G	SD1	溝底	丸木材	針葉樹?	
36	4G	SD1	溝底	丸木材	ヒノキ科	3a~3c
37	4G	SD1	溝底	丸木材	広葉樹?	
38	4G	SD1	溝底			不明
39	4G	SD1	溝底	丸木材	広葉樹?	
40	4G	SD1	溝底		針葉樹?	
41	4G	SD1	溝底		針葉樹?	
42	4G	SD1	溝底	丸木材	広葉樹	6a
43	4G	SD1	溝底		針葉樹	44類似、イヌガヤ?
44	4G	SD1	溝底	丸木材	イヌガヤ	1a~1c
45	4G	SD1	溝底		針葉樹?	
46	4G	SD1	溝底		針葉樹?	一部炭化
47	4G	SD1	溝底		針葉樹	
48	4G	SD1	溝底		針葉樹	一部炭化
49	4G	SD1	溝底		針葉樹	
50	4G	SD1	溝底		針葉樹?	一部炭化
51	4G	SD1	溝底		針葉樹?	一部炭化
52	4G	SD1	溝底		広葉樹(クスノキ?)	保存処理
53	4G	SD1	溝底		針葉樹(マツ?)	保存処理
54	4G	SD1	溝底		ひょうたん	

第7章 石製品・骨角製品

第1節 石製品

1、石鏃（表第19、挿図第91の1～6、図版第67の1～6）

石鏃は5点出土しており、磨製石鏃3点・打製石鏃2点である。1が第2トレンチ（1次）、2～5が第1トレンチ出土である。2・3は同じ土壌1TSK-98から出土している。

（1）打製石鏃（1・2）

1は完形で、肩に膨らみをもつ三角形の身に短い茎が付いたものである。

2は無茎鏃の未完成品である。

（2）磨製石鏃（3～5）

3は肩に膨らみをもつ無柄の三角形鏃である。下辺を弧状にえぐり、中央に径3mmの円孔が穿たれている。刃は形式的に付けられており、一部は丸く実用的ではない。両側の逆刺は先端を欠失している。

4は5と同じ遺構から出土した有柄鏃である。鋒と茎尻を欠失している。表裏ともに中央に鑄が作り出されており、鋭い刃が付けられている。逆刺の外側に切り込みが付けられている。5は完存する柳葉形の有柄鏃である。鋒と両肩に付けられた刃は鋭い。

2、剥片石器（表第19、挿図第91の7～11、図版第67の7～11）

（1）刻器？

6は第3トレンチの包含層下面より出土した。打面・打点の残存する剥片を切断した左半分が用いられたようで、右辺に切断打点が存在する。切断によって鋭い先端部を作り出しており、刻器もしくはドリルと推測される。刃器としても使用されたようで、先端部の他に下辺にも刃こぼれが認められる。

（2）刃器

7は4・5とともに1TSK-98から出土した。剥片を切断し、右半分を用いたようで、左辺に切断打点が存在している。右辺の上半部にツブシを加え、下半部から下辺を刃部としている。主要剥離面の稜線部に斜位の擦過痕が認められる。

8は第3トレンチ東半部の包含層より出土した。左辺にツブシが加えられており、右辺を刃部として用いられたようである。

9は第2トレンチSK-14出土である。打面を有する剥片を切断し、右半分を用いているようで左辺に切断打点が存在する。右辺と下辺に細かな刃こぼれが認められる。

（3）石核

11は第2トレンチ（2次）の包含層出土である。自然礫から得た剥片を切断して石核としている。2箇所に小剥片の剥離痕が存在する。

(4) 剥片

10には打面・打点・加工痕・使用痕などが認められない。

3、石包丁（表第19、挿図第92の12～15、図版第68の1～4）

石包丁は4点出土しており、すべて第1トレンチである。精粗の差は存在するが全て磨製石包丁である。

12は下弦の半月形を呈しており、上辺が棟で滑らかに面取りされ下辺に刃が付けられている。表裏面ともに平らに仕上げられており、一面は身と刃の間に鑄が作り出され、反面の刃部はゆるい曲面に作られており、身と刃の間に鑄は見られない。刃先は全て欠け落ちている。身には表裏から円錐状に穿たれた孔が2箇並んで存在する。

13は上弦の半月形を呈する石包丁の残欠である。上辺は平らに面取りされ、下辺に刃が付けられている。身の表裏面は平面をなし、一面の身と刃の間に鑄が作り出されている。反面はゆるやかな曲面に作られ鑄は見られない。

14も13と同様の上弦の半月形を呈する石包丁の残欠である。上辺は平らに面取りされ、下辺には刃が付けられている。刃は表裏ともに緩やかな曲面をなしており、身との間に鑄は見られない。

15は12～14と異なり不定形な石包丁で、棟辺と一側辺を欠いている。身には軽い研磨を加えるのみで、広く自然面が残存している。刃部には丁寧な研磨が加えられて緩やかな曲面に作られており、一面には身との間に鑄が作られているが反面には鑄は見られない。残存する側面には三方から研磨を加えて角棟状に仕上げている。

4、石斧（表第19、挿図第92の16～19、図版第68の5～第69の1）

出土した4点のうち3点が第1トレンチ、18の1点が第3トレンチ出土である。

16は蛤刃の磨製石斧で、ほぼ完形である。鼓打によって形を整え、刃部や側面に研磨を加えて鋭利な刃を付けている。頭部には使用に伴う打撃痕が存在し、刃先は細かな歯こぼれや磨耗が顕著である。

17は大型石斧の頭部と胴部の一部である。鼓打によって形を整えてから研磨を加えている。頭部には使用による打撃痕が存在する。

18は石斧の頭部と胴部の一部である。鼓打によって形を整え、研磨を加えている。頭部に使用による打撃痕が存在する。

19は大型石斧の刃部に近い部分の残欠である。鼓打による整形後に表裏に研磨を加えて刃を付けている。

5、石錘（表第19、挿図第93の21、図版第67の12）

21は扁平な円礫の両端に表裏からの打ち欠きを加え、紐掛け部を作っている。

6、砥石（表第19、挿図第93の20、図版第71の2）

方柱形を呈する砥石の残欠である。残存する長さは76mmで、折断面を除く5面に研磨痕が残存して

表第20 石製品観察表

(単位mm・g、200g以上は重量計が異なる)

遺物No.	出土地点	層位	器種	長さ	幅	厚さ	重さ	材質	備考
1	1T.SK-138	埋土	石鏃	24.2	15.0	4.7	1.6	安山岩?	
2	1T.溝	包含層	石鏃	26.2	16.2	5.7	2.8	流紋岩?	
3	2T.SK2a-3	埋土	石鏃	19.5	17.5	2.0	1.2	チャート	
4	1T.SK-98	埋土	石鏃		7.1	3.9	1.5	黒色片岩?	鋒欠損
5	1T.SK-98	埋土	石鏃	51.4	7.9	3.8	3.2	黒色片岩?	
6	3T.7区	包含層	刻器?	32.5	36.4	6.5	8.6	チャート?	刃部もつ
7	1T.SK-98	埋土	刃器	49.8	41.0	12.2	16.6	チャート?	
8	3T.10区	包含層	刃器	36.0	45.0	10.2	12.2	黒色片岩?	
9	2T.SK2b-14	埋土	刃器	38.5	31.4	8.2	10.2	チャート?	
10	2T.SD2b-1	包含層	剥片	29.9	24.6	7.1	6.3	チャート?	
11	2T(2次)	包含層	石核	30.9	55.1	7.1	22.4	チャート?	
12	1T.SK-97	埋土	石包丁	52	134	11.0	93.3	黒色片岩	
13	1T	包含層	石包丁			6.6	25.6	黒色片岩	左半部切損
14	1T	灰層	石包丁			10.0	54.5	黒色片岩	左半部切損
15	1T	包含層	石包丁			10.5	176.2	黒色片岩	左端部欠損
16	1T	暗紫色シルト	石斧	108	57	31	365.0	塩基性岩?	
17	1T	包含層	石斧				435.0	塩基性岩?	刃部欠損
18	3T.SK3-1	包含層	石斧				95.0	塩基性岩?	刃部欠損
19	1T	包含層	石斧				195.1	砂岩?	欠損多し
20	1T.S2サブトレ	包含層	砥石		64	60	425.0	凝灰岩	切損
21	3T.拡張区	包含層	鐮石	60	65	17	101.4	砂岩	
22	1T.S2サブトレ	包含層	鼓石	106	59	37	326.0	砂岩?	擦痕左、打痕上下端
23	1T.SK-55	埋土	鼓石	110	65	27	261.1	石英	打痕上下端
24	2T(2次)	包含層	鼓石	149	83	39	548.0	チャート?	打痕下端
25	1T.SK-55	埋土	鼓石	129	66	26	411.0	塩基性岩?	打痕上下端
26	1T.SK-124	埋土	鼓石	146	63	43	567.0	砂岩	打痕下端
27	3T.11区	包含層	鼓石	101	71	52	468.0	石英	打痕上下端
28	1T.SK-82	包含層	鼓石	137	66	52	484.0	花崗岩	打痕上下端
29	1T	包含層	鼓石	102	54	45	231.0	砂岩	打痕下端
30	1T.SK-104	埋土	鼓石	111	65	24	162.8	安山岩	打痕下端
31	1T.SK-103	埋土	鼓石	105	62	22	189.2	砂岩	打痕下端
32	2T(2次),4区	包含層	鼓石	104	56	33	260.0	砂岩	打痕上下端
33	2T.SD2b-1	埋土	鼓石	109	56	24	221.0	砂岩	打痕左右下端
34	3T.3区	包含層	鼓石	98	74	34	368.0	砂岩	打痕上下端
35	3T.拡張区	包含層	鼓石	81	76	37	310.0	砂岩	打痕上下端
36	3G	包含層	鼓石	102	64	23	192.8	流紋岩	打痕下端
37	3T.2区	包含層	鼓石	86	62	28	210.0	砂岩	打痕上下端
38	3T.11区	包含層	鼓石	107	58	31	300.0	砂岩	打痕下端
39	3T.9区	包含層	鼓石	128	49	23	180.3	砂岩?	擦痕左、打痕下端

いる。研磨痕は図版71の2-1~2-5に見られるように平面・太い溝・細い溝・凸面など多様である。

7、鼓石(表第19、挿図第93の22~第94の39、図版第69の2~第71の1)

18例中第1トレンチ出土が8個、第2トレンチ出土が3個、第3トレンチ出土が6個、第3グリッ

ト出土が1個である。すべて自然礫を用いており、3～4 km上流の豊川河原で採集できる河原石を使用している。22は上下端が打撃によって自然面が欠失しており、下半部の一部は擦過によって自然面が摩耗している。

23は上下左右の4箇所打痕が残存している。24は上下が打撃によって自然面が失われており、上部には使用による剥離が存在している。25は上半部の両側に挟りを加えて紐掛けを作っている。上下端は打痕が顕著で、自然面が大きく消耗している。

26は上下端に打痕が存在する。下端の消耗が著しい。27は右下半部が欠失している。上下端と右側面に打痕が存在するが、上端部の消耗が著しい。28は上下端に打痕が残存している。上端部には使用による剥離が存在する。

29は下端部と右側中央部に打痕が存在する。30は下端にのみ打痕が存在している。31は下端部に打撃による消耗が存在し、上半部に擦過によって自然面が磨耗した部分がある。32は上下端に顕著な鼓打痕が存在する。33は横位で使用されたと推測される。上辺に1箇所、下辺の2箇所に鼓打痕が存在する。

34は上下両端に鼓打痕がみられ、いずれも消耗が顕著である。35は上下端ともに打痕が存在し、ともに消耗が著しい。また上下ともに使用による剥離が存在する。

36は下端にのみ打痕が存在している。37は上下端ともに打痕が存在する。下端は消耗が著しく、使用による剥離も見られる。

38は上下端に打痕が見られるが、下端は消耗が著しい。39は上半部右側と下端に打痕が存在する。いずれも消耗が著しいが、下端には使用による剥離も見られる。

第2節 骨角製品

1、骨針（挿図第94の2、図版第71の4）

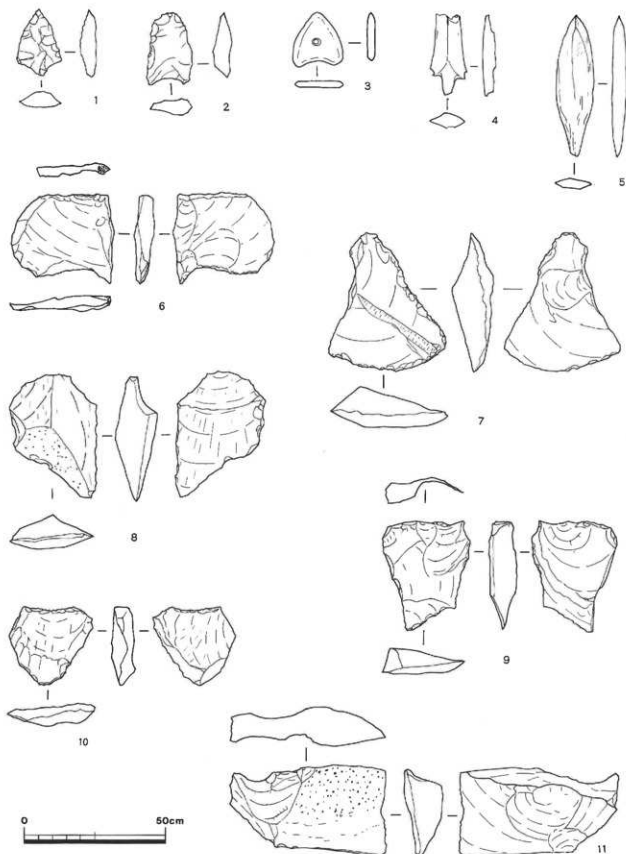
第1トレンチSK-55の貝層より出土した。鹿骨製で両端を欠失しているので全長は不明である。先端は次第に細まって鋭く尖り、基部は短くて丸くなるようである。全体に丁寧に研かれ、肌が光沢を保っている。最大径が5.5mm、残存重量が39g、残存長は106mmである。

2、鹿角製品（挿図第94の1、図版第71の3）

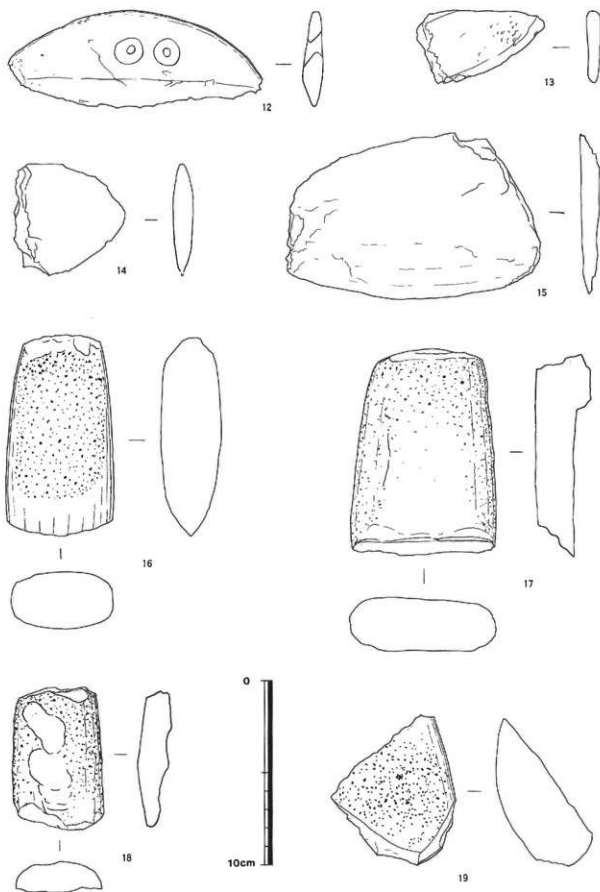
第1トレンチの包含層から出土した。切断した先端に近い鹿角で、一端が欠失しているため全形は不明である。切断面には鋭い刃物による8回の切り込みが認められる。

3、猪の頭骨（図版第72）

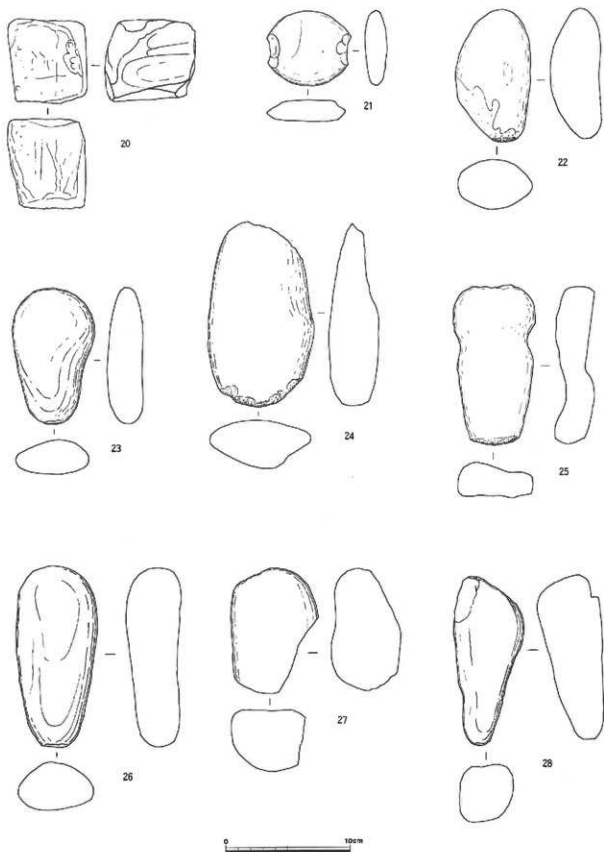
第1トレンチSK-93より出土した。前頭部に打撃による円形の欠損が存在する他は完全である。たんなる食料残滓か、なんらかの目的をもつのか不明である。鹿（若獣）の大腿骨右側遠位部1片が伴出している。詳細な検討は付載に譲りたい。



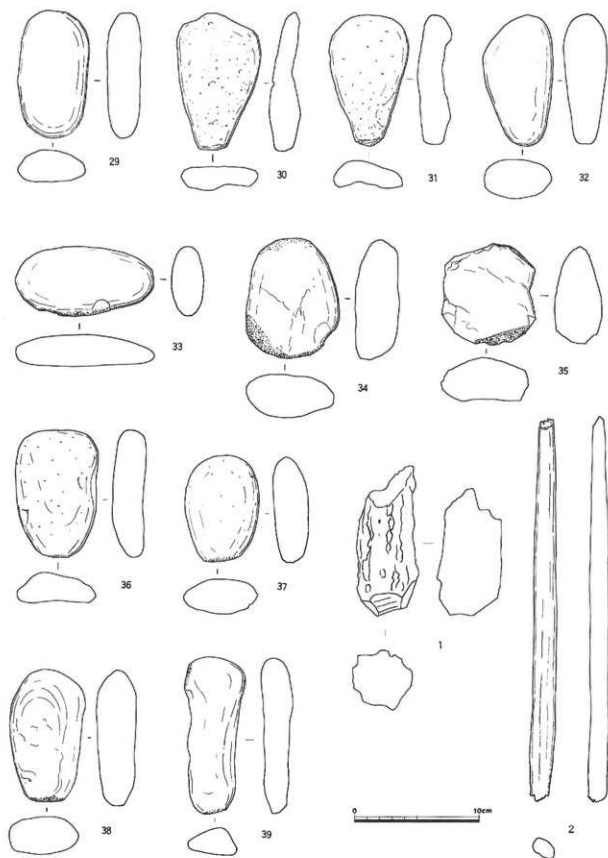
插图第91 石製品実測図 (1)



挿図第92 石製品実測図 (2)



挿図第93 石製品実測図 (3)



插图第94 石製品実測図 (4)、骨角製品実測図

第8章 結 語

第1節 瓜郷遺跡の土器

1、概 括

今回の調査によって発掘された土器は弥生式土器・土師器・平安朝瓷器・行基焼に分類される。このうち弥生式土器は第1回～第5回調査で出土し『瓜郷』において分類されている3層6様式(註1)と同じ様相をもっているが、新に下層第1様式に先行す二反地式系土器である表1(挿図第87の1)の存在が明らかになり、遺跡の始原が遡ることになった。

下層第1様式土器は瓜郷遺跡下層の遺構・包含層出土土器を標識とする。第1トレンチSK1-51・53・73・78・98・116、第2トレンチSK2a-1・2b-22等から出土している。下層第1様式垂式土器は瓜郷遺跡江川d層・e層出土土器を標識とする。第1トレンチSK1-67から出土している。

中層第1様式土器は瓜郷第2貝塚の遺構・生活面出土土器を標識とし、始めて紹介された土器が出土した豊川市下長山遺跡(愛知県遺跡地図80111)の名称を付して下長山式土器と呼ばれている(註2)。第1トレンチSK1-110・136その他から出土している。

中層第2様式土器は瓜郷第2貝塚の遺構出土土器を標識として、完形土器が多数出土した宝飯郡御津町長床遺跡(愛知県遺跡地図85028)を標識遺跡として長床式土器と呼ばれている。第1トレンチSK1-65・87・105・111、第2トレンチSK2b-2、第3トレンチSK3-13、第1グリッドSK1G-2等から出土している。

上層第1様式土器は瓜郷第2貝塚中央貝層と遺構出土土器を標識とし、瓜郷遺跡の存在する字名を取って寄道式土器と呼ばれている(註3)。第1トレンチSK1-8・25・27、第2トレンチSK2b-1・13・17等から出土している。

上層第2様式土器は瓜郷第2貝塚の遺構出土土器を標識とし、良好な資料が出土している小坂井町欠山貝塚(愛知県遺跡地図84012)の名称を取って欠山式土器と呼ばれている(註4)。第1トレンチSK1-29・47・49、第2トレンチSK2b-9・2b-12、第1グリッドSP1G-3等から出土している。

上層第3様式土器は今回新たに第3トレンチにおいて土壌SK3-9を中心に、8～10区の土壌と土器溜り出土土器から混入が明らかな先行諸様式土器を除いた土器を標識とする古式土師器である。三河地方で最初に注意された高浜市王江遺跡(愛知県遺跡地図57007)の名称を取って王江式土器(註5)と呼ばれている。第3トレンチのみでなく第1トレンチや第3グリッドからも出土している。

平安朝瓷器は越州窯瓷器に学んで平安時代にわが国で生産が開始されたもので、第1型式～第4型式に編年されている(註6)。第1トレンチSK1-56・57や包含層から第2型式の長頸壺や碗が出土している。

行基焼は山茶碗とも呼ばれていた中世陶器である。豊橋市の南西部から渥美半島にかけて生産地が

分布しており、第1型式～第3型式に編年されている(註7)。第1トレンチ・第2トレンチ・第3トレンチの包含層から第2～第3型式の碗・小皿などが出土している。

2、瓜郷上層第3様式土器

瓜郷下層第1様式期から連続として継続されてきた瓜郷遺跡における弥生系人の営みの終末期を示す土器様式でもある。

壺形土器

第1類は口縁部に装飾を加えないもので、3-221のように直口の口縁部が頸部でくの字形に折れて外反するものである。口頸部から胴部の外面にハケメ調整を加えたもの(A類)、3-195のように頸部が短い円筒状につくられて口縁部が強く開き、口端部にミガキを加え、外面にハケメ調整を加えたもの(B類)などがある。

第2類は装飾を加えたもので、3-196のように口端を肥厚させた口縁部の内外面に羽状の圧痕列を巡らせ、頸部外面に縦位のハケメを加えている。1-603は口端が肥厚せず上面の羽状文も省かれているが同類であろう(註8)。

赤彩壺形土器

いわゆるパレス壺で、第1類) 3-10のように下垂口縁に棒状貼付文を配したものの、第2類) 3-212のように鐮状の口縁部を持つものがある。頸部に突帯を巡らせ、上胴部に櫛描横線・鋸歯文・斜位圧痕列を配し、口縁部・鋸歯文・下胴部に赤彩を施している(註9)。

複合口縁赤彩土器

口縁部が段を成して外反するもので、第1類) 3-197のように口縁部が無文のもの、第2類) 1-605のように口縁部外面に円形貼付文を配したものや1-605のように稜部に短斜線列を加えたものの、第3類) 口縁の内外面に羽状圧痕列を巡らした柳ヶ坪形壺などがある(註10)。

小型壺形土器

第1類) 3-199～3-201のようにハの字に開いた口頸部をもつものである。3-203のようにやや長い口頸部をもつものもある。

第2類) 3-202・3-206のように口頸部が内彎するものである。3-204のように彎曲が少なく内外面に赤彩を施したものもある。

小型短頸壺形土器

球形に近い胴部に直立する短い口縁部が付くものである。3-209のように体部にハケメ調整を加えたもの、3-206・3-208のように粗面のものもある。

小型碗形土器

第1類) 3-225のように立ちが高い深鉢形のものである。

第2類) 3-226のような碗形を呈したものである。

高坏形土器

第1類) 3-251・3-253のように碗形の坏部をもち、脚台が脚端に向かって朝顔状に外反する高坏である。脚部に円孔が穿たれないものもある。脚頭部の櫛描横線は省略される。

第2類、3-11・3-232・3-233のように有稜高坏系のものである。坏部が浅くなり、口端が丸く仕上げられている。脚台は影らみを失って円錐台状を呈し、脚頭部の櫛描横線が省略されたものが多く、円孔が穿たれないものもある。3-11は3-10と同一遺構から伴出した。

第3類は3-242のように、椀形の体部から伸びる口縁部が大きく外反し、端部が朝顔状に開く脚が付くものである(註11)。

第4類は第1類に似た器形で、坏部に対する脚部の比率をさらに大きくしたものである。3-234のように坏部や脚部を櫛描横線と篋描鋸歯文で装飾したものである(註12)。

器台形土器

第1類は3-230・3-231のように小さな受部と裾が外反する脚部をそなえた器台である。脚に円孔を穿たものと円孔の無いものがあり、受部と脚内部の間は通じていない。

第2類は3-229のように受部の径が脚端の径よりも大きな大型器台である。有段の受部には1条の突帯と1段5個の円孔を2段に配し、脚には2条の突帯と1段4個の円孔を2段配している。

甕形土器

有台と無台の2種が存在するようであるが、台付甕形土器が主流をなしており、無台の例は口縁から底部まで図示できる資料に恵まれなかった。

第1類は3-260・3-263・3-270・3-277・3G-78のようにくの字状口縁の甕形土器である。器表に斜位のハケメ調整を加えている。口縁部内面に横位のハケメ調整、胴部内面に粗いハケメ調整を施したものもある。

第2類は3-285・3-288・3-289のように、口縁部が内彎した受口口縁の甕形土器である。口縁部を除く器表に斜位のハケメ調整を加え、胴部内面にも粗いハケメ調整が施されている。3G-80の胴部上端部には櫛描横線が巡らされている。3-289は口径と胴の最大径が等しく、鉢形土器である可能性もある。

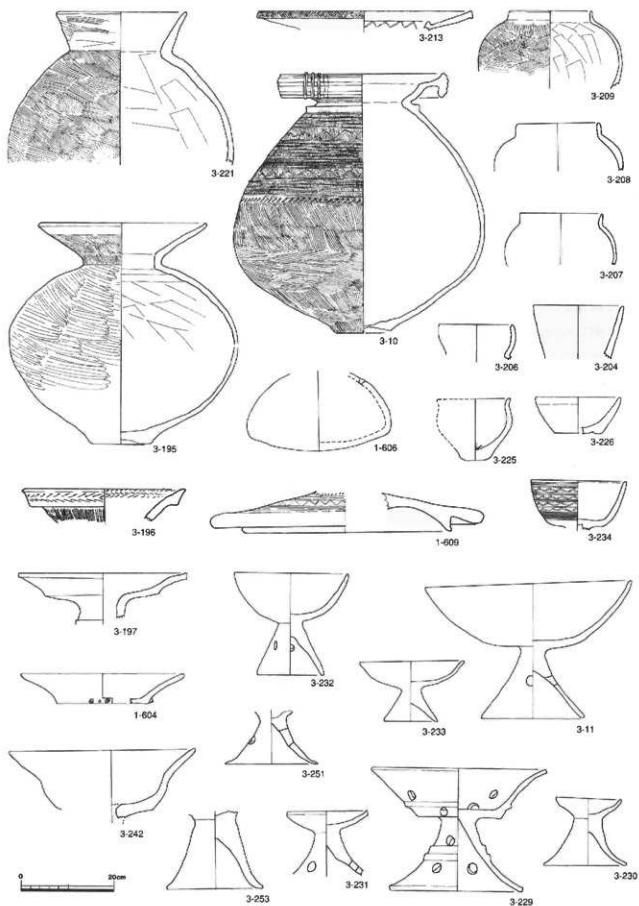
第3類は3-296・3-298はS字状口縁の甕形土器のうち口端部が上方に立ち上がって受口状をなすものである。胴部の器表に斜位のハケメ調整を加え、胴上部に櫛描横線をめぐらす。口縁段部や上胴部の圧痕列は省略されている。頸部内面や胴部内面にハケメ調整が施されたものもある。

第4類は3-306・3-316・3-320・3-321・3-324のようにS字口縁甕のうち口端部が外反したものである。口縁部以外の胴部・脚台部にハケメ調整を加え、上胴部に櫛描横線を巡らす。口縁段部や上胴部の圧痕列は省略されている。頸部内面や胴部内面にハケメを施したものもある。3-216の脚台端は内側に折り返して丸く仕上げている。

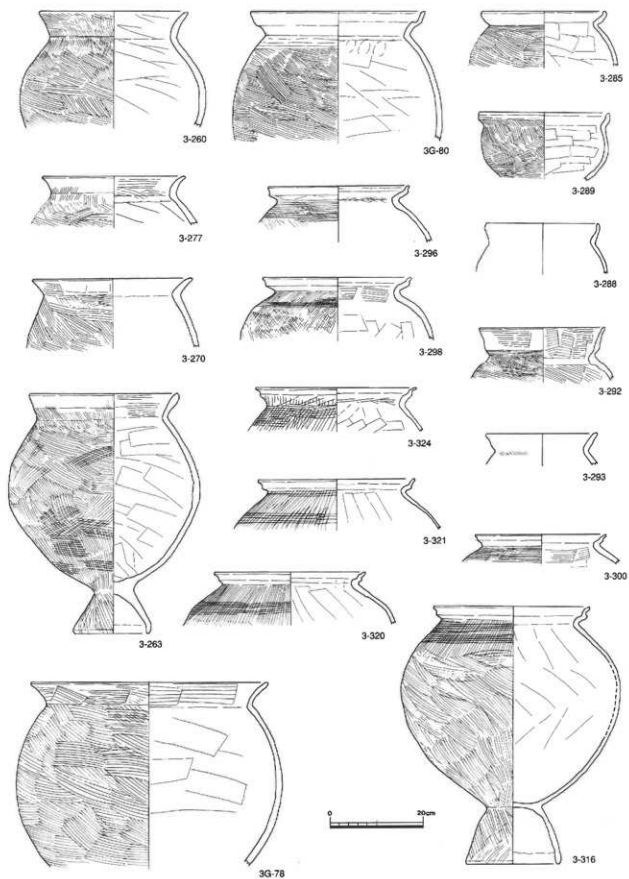
第5類は3-292・3-293のように口端が頸部との境に段を作って上方に伸び、幅広い口縁部を作り出している。内外面ともに口縁部には横位の、胴部には斜位のハケメ調整を加えている(註13)。

これらの土器は上層第2様式(欠山式土器)につづく古式土師器で、王江式土器と呼称されている(註14)。量的に主体をなしているのは先行形式の伝統をとどめる在地系土器である。壺形土器第1類のA類、小型壺形土器の第1類・第2類、小型短頸壺、椀形土器、高坏形土器第1類・第2類、器台形土器第1類、甕形土器の第1類・第2類・第3類などである。

先行形式には見られない新しい様相をもつものもあり、周辺地域に類例が求められる外来系土器と



挿図第95 瓜郷上層第3様式土器 (1)



插图第96 瓜瓞上層第3樣式土器 (2)

推測されるものには壺形土器第1類のB類、壺形土器第2類、丹彩壺形土器、複合口縁壺形土器などである。高環形土器では第3類の有段高環・第4類の加飾高環。器台形土器では第2類の加飾多孔器台。甕形土器では第4類などが存在する。新様相をもつものは何れも量的にきわめて少ない。

全体として先行型式の面影がつよく残存し、複合口縁壺形土器第3類とした柳ヶ坪形壺が含まれていないことから、その出現前すなわち王江式土器の前半期に位置付けられよう。

SK3-9出土の3-10・3-11以外は、第3トレンチの土器溜りから出土した土器が中心であるため、提示した資料には時間的な幅の存在も推測される。報告書刊行（2008年度）に向けて準備が進行中の豊橋市牛川町浪の上遺跡（愛知県遺跡地図79-278）は弥生後期から古墳時代にかけての集落址で、住居跡100余・土坑50余りが検出されている。その中にはこの時期の遺構が多く含まれており、資料の増加・充実は当然として、遺構・層序による同伴関係や前後関係などにもとづく形式内推移の解明が期待される。

第2節 遺跡の立地と範囲

1、瓜郷遺跡の立地

瓜郷遺跡は豊川沖積平野の中心に近い左岸台地から2km、右岸台地から1.5km・河口から4kmほどの地点に位置しており、標高は海拔2m前後である。

瓜郷遺跡につづいて、北方1.5kmほどに存在する篠東遺跡（84027）や吉添遺跡（84026）など豊川沖積低地の地学的調査を行なった井岡幸太郎氏はその成果を次の3点にまとめている（註15）。

1）遺跡の基盤は縄文海進の高頂期頃の豊川の堆積面であるが、その後（縄文中・後期）の3m内外に及ぶ海面の低下（弥生の小海退）により生まれた河流のために蚕食され、小段丘状に残った海拔1.5m内外の砂質層の高まりであり、瓜郷・篠東・吉添の遺構群はその上に乗っている。

2）縄文中～弥生前期の海面低下時に形成された深さ3m内外の谷状地の谷底は、弥生中・後期の海面上昇に際して、当初は海水の浸入をみたが、次第に砂泥の埋積が進み、弥生中期ごろには淡水性湿地に変わった。その淡水面こそ豊川沖積低地における弥生中期の生産基盤であった。

3）弥生後期の頃から、豊川の堆積作用は激しくなり、搬出土砂は弥生時代の遺構の基盤である台状地の上面をも被って堆積し、現在の豊川平野面を形成した。吉添遺跡では厚さ30～50cm内外の暗灰色粘土層となって弥生遺構面を被っており、その上面は古墳時代前期の耕作面と考えられている。

瓜郷遺跡の北西側には大蚊里集落の東側から下五井集落の東側にかけて幅400m～500m、深さ3～4mの前項1）による灰色粗砂層を侵食してできた谷が存在し、縄文晩期の太蚊里貝塚（79271）・五貫森遺跡（79270）や瓜郷下層第1様式期の瓜郷遺跡などが、谷にそった微高地上に分布する黄褐色～暗灰色淤泥層上に立地している。また別の谷に属する微高地には、瓜郷下層第1様式期の篠東遺跡（註16）や吉添遺跡・栗穴遺跡（84029）が存在している（註17）。前項2）のように谷底に形成された淡水性湿地が瓜郷下層期の生産基盤と考えられている。瓜郷遺跡の住居面は海拔60～110cmで湿地面との比高差が140～160cmであり、比高差が30～50cmであった篠東遺跡は堆積進行の影響を早く受け

たことが註15文献で指摘されている。

瓜郷下層期末における河川堆積の前進は、瓜郷では微高地にそった湿地に青色砂層・褐色砂層を形成して下層と中層を画し、中層期の居住面を拡大させた。また比高差の小さい篠東遺跡・吉添遺跡・栗穴遺跡などを埋没させた。

瓜郷遺跡が上層期の居住地であった頃、前項3)による堆積の前進は各所に自然堤防状地形を出現させた。大村方面から大蚊貝貝塚・五貫森遺跡を覆って瓜郷本郷にいたる自然堤防状の茶褐色淤泥層上には瓜郷上層第2様式期の大塚遺跡(79272)が出現した。別の自然堤防状微高地では上流に瓜郷上層第1様式期の行明遺跡(80114、註18)が出現し、下流の吉添遺跡では瓜郷上層期の、栗穴地点では瓜郷上層第1様式期の居住面が復活したが、何れも単型式の期間で埋没した。その後も居住地としての条件を維持し続けた瓜郷遺跡も、今回の調査で瓜郷上層第3様式期をもって埋没したことが確かめられた。

弥生式時代以後も海水面の変動と激しい豊川の堆積作用は継続され、自然堤防状地形や低湿地の形成・消滅を繰り返させた。居住地もこうした状況を反映して南田遺跡(79359、註19)では古墳時代中期の青山式期の、吉添遺跡では古墳時代須恵器第1型式期の居住地が出現したが、1型式期で消滅した。古代では瓜郷遺跡や南田遺跡などで平安朝瓷器第2型式期の居住地が復活し、1型式期で埋没したことが確かめられており、この辺りと推定されている東海道の「鹿苔の渡し」が歌枕となった難所ぶりを彷彿させている。中世においても瓜郷遺跡・南田遺跡・吉添遺跡などで行基焼第3型式期の居住地が復活し、南屋敷遺跡(挿図第4)では中世内耳鍋期の居住地が出現し、何れも1型式期で埋



挿図第97 瓜郷遺跡の調査地点と遺跡の範囲(下図は旧地籍図)、A～Dは後の調査地点

没している。このような短期間の居住地が出現しては消滅・移動する状態は治水対策が確立する近世に至るまで続いたのであろう。

2、瓜郷遺跡の広がり

今回の調査で発掘したのは、挿図第97に示したように道路と堤防に設定したトレンチ3本とグリッド5箇所である。そのうちで遺構が検出されなかったのは第5グリッドのみである。

第1トレンチは遺跡を貫通する178mのトレンチで、今回の調査で出土した全時期の土器が出土している。検出された遺構のうち瓜郷下層第1様式の遺構は6例、瓜郷中層第1様式土器を下限とする遺構は6例、瓜郷中層第2様式土器を下限とするもの6例、瓜郷上層第1様式土器を下限とするもの11例、瓜郷上層第2様式土器を下限とするもの18例、瓜郷上層第3様式土器を下限とするもの4例、平安朝変器を下限とするもの2例、瓜郷下層第1様式甕式と行基焼の遺構は検出されていない。

これらの竪穴式住居跡や土壇群は40m地点～150m地点に集中していたが、遺構群を中に挟んで、151m付近とトレンチ西端の+6m付近には幅が2～3mの深い濠状遺構が存在した。両者の時期などについては湧き水のため確かめることは出来なかったが、集落を取り巻く環濠の一部であろうと推測された。またトレンチ東端部の157m～171mにおいて、遺跡が存在している微高地の東斜面が検出された。地表下230cm前後では層面に木の葉が散布しており、水辺であった様子が看取された。

第2トレンチでは瓜郷下層第1様式土器の散布は見られるものの遺構は検出されなかった。検出された遺構は瓜郷中層第1様式土器を下限とするもの3例、瓜郷中層第2様式土器を下限とするもの2例、瓜郷上層第1様式土器を下限とするもの5例、瓜郷上層第2様式土器を下限とするもの7例、瓜郷上層第3様式土器を下限とするもの2例である。

第3トレンチでは瓜郷下層第1様式土器の分布は希薄で、遺構埋土に瓜郷中層式土器や瓜郷上層式土器と共に包含されていたものも2例のみである。瓜郷中層第2様式土器のみを包含していた土壇は2例、瓜郷上層第1様式土器を下限とするもの2例、瓜郷上層第2様式土器を下限とするもの4例、瓜郷上層第3様式土器を下限とするもの5例である。

第2トレンチと第3トレンチより上流の江川河底は、第1次～第4次調査において瓜郷下層第1様式期には湿地の縁辺部であり、瓜郷中層第1様式期・瓜郷中層第2様式期、瓜郷上層第2様式期の居住地であったことが確かめられている。

第1グリッドでは瓜郷下層第1様式土器の分布は薄い。瓜郷中層第2様式土器を下限とする遺構は2例、瓜郷上層第2様式土器を下限とするもの2例、瓜郷上層第3様式土器を下限とするもの1例である。

第2グリッドでは瓜郷上層第1様式土器を下限とする遺構が4例、瓜郷上層第2様式土器を下限とするもの1例である。全てに瓜郷中層式土器を包含しているが、瓜郷下層第1様式土器も含むものが1例ある。

第3グリッドでは瓜郷下層第1様式土器の分布は極めて希薄である。全ての遺構埋土に瓜郷中層第2様式土器が混在するが、瓜郷上層第1様式土器を下限とするもの3例、瓜郷上層第2様式土器を下限とするもの2例、瓜郷上層第3様式土器を下限とするもの1例である。

第4グリッドでは瓜郷中層第1様式土器～瓜郷上層第3様式土器が出土しているが、出土状態からみて瓜郷上層第1様式土器が中心であろう。

以上のことから遺跡の範囲は瓜郷下層第1様式期には第1トレンチを中心として分布し、瓜郷中層第1様式期には第1トレンチから第2トレンチに広がり、瓜郷中層第2様式期には江川をこえて第3トレンチにまで拡大し、瓜郷上層第1様式期には第2グリッド～第4グリッドを含む範囲にまで拡大している。第2グリッドの遺構や第3・第4グリッドにおける濠の在り方などから、県道白鳥・豊橋線をこえて西側の横須賀町玄宗地内に拡大していることは確実である。

第5グリッドでは遺構・遺物とも検出されなかったが、のちに調査された隣接するA地区（前川13番地）の調査で瓜郷中層第2様式を主とした土器が流れこみ状態で検出されている。2筆ほど東のC地点（前川32の1・2）では土壇や溝などの遺構が検出され、瓜郷中層第2様式土器・瓜郷上層第1様式土器等が出土している。第3トレンチに現れていた瓜郷中層期における北西への広がりが、さらに拡大されると共にA地点との関連が推察される。遺跡東方のB地点（前川51の2）は完全に遺跡を外されていた。南方のD地点（寄道33の1）では遺構が検出され、瓜郷中層第2様式土器が出土して分布の広がりが大きく拡大された（註20）。挿図第87の2～18が採集されたのはD地点北側の水路の改修工事の際で、瓜郷中層第2様式に加えて中世の遺構分布地域である可能性が高い。

第3節 おわりに

瓜郷遺跡が史蹟の指定を受けたのは1953年11月14日で、指定地内に6戸の住民が居住しているという状況をふまえた異例の指定であった。1947年から1952年にかけての発掘調査の成果と、地域住民の理解と協力による民有地指定の承諾、第2貝塚地点の公有地化と遺跡公園の設置など瓜郷遺跡調査会の運動の成果であった。

指定範囲は遺跡の中心部と推定された第Ⅰ貝塚から第Ⅳ貝塚までを含む地域であり、遺跡公園には後藤守一博士設計の堅穴式住居が復元建設されるなど、遺跡の保存・活用面で登呂遺跡と並ぶ出色の成果であって、現在でも高く評価されている。

豊橋市における都市部の膨張に伴う市街化の波は、旧東海道と国道1号に沿った瓜郷遺跡周辺にも押しよせ、1960年代から1980年代にかけて、水田であった遺跡の周辺は住宅や店舗・工場などに姿を変えていった。指定地内でも住宅の立て替え・増改築・新築など現状変更が実施されてきた。また上水道や下水道の整備も住民が居住しているかぎり不可欠な工事であった。

遺跡にとって幸いであったことは、厚さが1m前後の堆積層で大半が被われていたこと、高層建築に不向きな沖積地で基礎工事が深くないことなどから大きな破壊から免れてきたのであろう。

今後の課題は、住民の要望と調和させながら、如何にして遺跡の保護・活用を計っていくかと云うことであろう。第2節で触れたように、指定地の東側は第1トレンチとB地点の調査で江川を越えなことが確かめられた。北側は第5グリッドとC地点の調査で、遺跡の広がりがほぼ推定できるようになった。遺跡の広がりが確実な、県道白鳥豊橋線の西側に沿った横須賀町玄宗地内における遺跡範

圃の確認、指定地の南側で遺跡の存在が確かめられているD地区周辺の横須賀町組替に接する地域における遺跡の範囲確認などが急務であろう。

註1 久永春男「弥生式土器」『瓜郷』豊橋市教育委員会 1963

註2 註1文献

註3 註1文献

註4 註1文献

註5 久永春男他「王江遺跡」『愛知県碧海郡高浜町の先史古代の遺跡』高浜町誌編纂委員会1966

註6 久永春男「尾張・三河地方における古墳時代以後の須恵器」『乗鞍第1号窯址』白菊古文化研究所 1961

註7 伊藤恵・芳賀陽「豊橋南西部古窯址群」豊橋市教育委員会 2005

註8 瓜郷第2貝塚・東町田遺跡S Z-10・元屋敷遺跡・柳原遺跡・浪の上遺跡S Z 2-1に類例がある。

鈴木元他『東町田遺跡』岐阜県大垣市教育委員会 2004

土本典生『元屋敷遺跡発掘調査報告書3』一宮市教育委員会 2004

森田勝三「山崎遺跡付近の遺跡」『山崎遺跡』田原町教育委員会 1991

住吉政浩他『浪の上』豊橋市教育委員会 2008予定

註9 東町田遺跡S Z-10、柳原遺跡に類例がある。

鈴木元、森田勝三『前掲書』

註10 複合口縁壺第1類は塔の越遺跡S X-01では複合口縁壺第3類と伴出。複合口縁壺第2類は東町田S Z 10では壺形土器第2類と伴出。複合口縁壺第3類はV-20（瓜郷埴図第97の31）から出土している。形式的には壺形土器第2類と複合口縁壺形土器第3類の前後関係が指摘されている。

鈴木元他『前掲書』

日野幸治『塔の越遺跡発掘調査報告書』塔の越遺跡発掘調査団・株式会社アクト 1988

北村和宏「柳ヶ坪型土器について」『古代86号』早稲田大学考古学会 1988

註11 欠山遺跡S D-3に類例がある。

中村文哉他『欠山遺跡』小坂井町教育委員会 1994

註12 川崎みどり他『中狭間遺跡』安城市教育委員会 1999

土本典生『前掲書』

註13 塔の越遺跡S X-02に類例がある。

日野幸治『前掲書』

註14 王江式土器は海岸文化土器と内陸文化土器の存在や浪ノ上期（前半）と門前期（後半）の2分割などが提唱されている。

斎藤嘉彦「高橋遺跡の弥生式土器と土師器の編年」『高橋遺跡』豊田市教育委員会 1969

斎藤嘉彦「王江式土器土器について」『於御所遺跡』岡崎市教育委員会 1974

斎藤嘉彦「伊保遺跡出土の王江式土器」『伊保遺跡』豊田市教育委員会 1974

森田勝三「愛知県における4・5世紀の土師器」『日本考古学協会第51回総会研究発表要旨』1985

- 註15 井関弘太郎「吉添遺跡の自然環境」『篠東遺跡群』小坂井町教育委員会 1998
- 註16 紅村弘他「篠東第1次調査報告」愛知県小坂井町教育委員会 1960
- 註17 中村文哉他「篠東遺跡群」小坂井町教育委員会 1998
- 註18 中村文哉「行明遺跡」『篠東篠東第2次・樫王・行明調査報告』愛知県小坂井町教育委員会 1961
- 註19 小林久彦・岩瀬彰利「南田遺跡」『南田遺跡・瓜郷遺跡〈Ⅲ〉』豊橋市教育委員会 1996
- 註20 小林久彦・岩瀬彰利「瓜郷遺跡〈Ⅲ〉」『南田遺跡・瓜郷遺跡〈Ⅲ〉』豊橋市教育委員会 1996

参考文献

- 『瓜郷』豊橋市教育委員会 1963
- 久永春男「東海地方」『新版考古学講座4』1969
- 都築みどり「元屋敷土器の再検討」『南山考古2』1983
- 『古式土師器の年代学』大阪府文化財センター 2006

